DI-CZ211
PTZ ネットワークカメラ WEB 設定ツール
取扱説明書

このたびは本ソフトウェアをご使用いただき、
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

QR82743
2013/6/27

目　次

目　次 2

はじめに 6

ログイン画面 7

ログイン画面からの起動 7

ログイン成功時の画面 8

ログイン失敗時の画面 8

WEB設定ツール画面 9

WEB設定ツール画面の構成 9

１．メニュー 10

２．メインエリア 13

３．ライブ映像操作パネル 15

設定情報を表示・確認する 18

操作 18

表示項目 19

１．［ネット（１）］ 19

２．［ネット（２）］ 20

３．［カメラ（１）］ 21

４．［カメラ（２）］ 22

５．［カメラ（３）］ 23

６．［アプリ（１）］ 24

７．［アプリ（２）］ 25

８．［アプリ（３）］ 26

ネットワークの設定をする 27

操作 27

設定項目 28

基本設定 28

ユーザ認証の設定をする 32

操作 32

設定項目 33

ユーザ認証 33

ユーザ設定 34

帯域制御の設定をする 37
操作 37
設定項目 38
1．設定ロック 38
2．H.264 ライブ帯域制御 39
3．H.264 記録帯域制御 40
映像画質を調整する 41
操作 41
設定項目 42
画像調整 42
映像配信を設定する 47
操作 47
設定項目 48
1．ストリーム設定 49
2．プリ・ポスト記録設定 53
音声配信を設定する 55
操作 55
設定項目 56
音声設定 56
PTZ（パン・チルト・ズーム）を設定する 58
操作 58
設定項目 59
1．［共通］ 59
2．［プリセット］ 61
3．［オート］ 64
4．［ツアー］ 67
5．［タイマー］ 69
6．［アラーム］ 72
7．［リフレッシュ］ 75
アラーム端子を設定する 77
操作 77
設定項目 78
ポート設定 78
アラーム通知を設定する 80
操作 80
設定項目 81
ホスト通知設定 81

メール送信を設定する 83
操作 83
設定項目 84
1．［メール］ 84
2．［内容］ 87
FTPサーバ転送を設定する 88
操作 88
設定項目 89
1．FTP転送 89
2．転送先FTPサーバ 90
アラーム蓄積・FTP転送を設定する 92
操作 92
設定項目 93
蓄積・FTP 93
SNMPを設定する 94
操作 94
設定項目 95
SNMP 95
日時を設定する 97
操作 97
設定項目 98
時刻設定 98
動き検知を設定する 100
操作 100
設定項目 101
1．［領域］ 101
2．［詳細］ 104
プライバシーマスクを設定する 107
操作 107
設定項目 108
プライバシーマスク設定 109

PTZカメラを操作する 111
操作 111
設定項目 112
メンテナンス 115
主なエラーメッセージ 116
ActiveXコンポーネントがインストールされていない場合 116
ブラウザが対応していない場合 116
情報取得に失敗した場合 116
メンテナンス用パスワードを誤って入力／キャンセルした場合 117
その他ダイアログボックスのメッセージ 117

はじめに

PTZネットワークカメラWEB設定ツール（以下、「本ソフトウェア」）は、PTZネットワークカメラ（以下、「PTZカメラ」）の各種機能の設定、および設定情報を確認するためのソフトウェアです。
本ソフトウェアは、以下の環境でご利用になれます。

■対応製品

シリーズ名	対応製品名	備考
PTZネットワークカメラ	DI-CZ211	－

■画面の解像度

- 推奨解像度は、XGA（1024 × 768）以上です。
- DPIを通常の96DPI以外に設定している場合、正しく表示されないことがあります。

■対応ブラウザ

- Internet Explorer 32bit版のバージョン７／８／９に対応しています。（その他バージョンは動作を保障していません。）
  ※ Internet Explorer以外のブラウザには対応していません。Internet Explorer以外でログイン画面を表示すると、対応していない旨のメッセージが表示されます。
- 同一のPC上で、同時に複数のブラウザ（画面／タブ）を起動して操作することはできません。
  ※ 設定はできますが、ライブ映像を出力するブラウザ（画面／タブ）は1つのみとなります。
- ブラウザ画面の拡大／縮小機能は使用せず、100%でご使用ください。拡大／縮小画面では、正しく表示されないことがあります。

■ライブ映像表示用 ActiveX コンポーネント

- PTZカメラのライブ映像機能を利用するには、パソコンにライブ映像表示用のActiveXコンポーネントをインストールする必要があります。
- ライブ映像表示用のActiveXコンポーネント「dsjplayer」は、同梱のCD-ROMの「dsjplayer」フォルダに収納されています（X：はCD-ROMドライブ、***はバージョン）。

  X：￥Fine Vision XD Viewer￥XD VIEWER *￥ActiveX￥dsjplayer￥**

  setup.exeをダブルクリックするとインストーラが起動します。画面の指示に従ってインストールしてください。
- ライブ映像表示用ActiveXコンポーネントをインストールしていない場合は、警告画面が表示され、映像関連のメニューは利用できません。

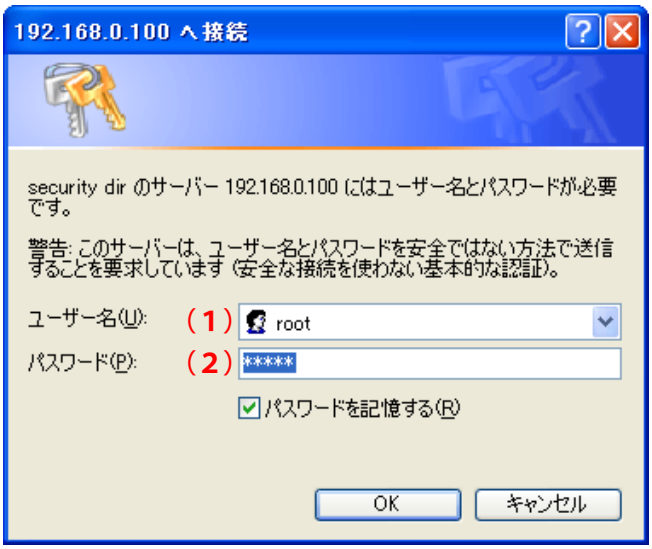
ログイン画面

ログイン画面からの起動

Internet Explorer（以下「IE」）のアドレスバーにPTZカメラのIPアドレスを含むURL（例：**http://192.168.0.100**）を入力すると、次の認証画面が表示されます。

お知らせ

- IPアドレスに関しては、PTZカメラの取扱説明書をご覧になるか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

（1）ユーザー名（U）

PTZカメラに接続するためのユーザー名（ユーザID ➔P. 34）を入力します。本ソフトウェア初回起動時は、空白となっています。PTZカメラの出荷時の設定は、「**root**」となっています。

（2）パスワード（P）

PTZカメラに接続するためのパスワードを入力します。本ソフトウェア初回起動時は、空白となっています。PTZカメラの出荷時の設定は、「**admin**」となっています。

■ご注意■

- **本ソフトウェアは、指定したIPアドレスのPTZカメラに対してのみ設定・確認ができます。PTZカメラを変更する場合には、設定・確認するPTZカメラのURL（IPアドレスを含む）をIEのアドレスバーに入力し、ログインしなおしてください。**
- **通常は管理者権限（＝ユーザ番号１）でログインしてください。モニタ権限（＝ユーザ番号２～20）でログインすると、各画面で設定・変更するときにログイン画面が表示され、すべての項目が設定・変更できなくなります。（➔P. 34 「ユーザ権限」）**
- **「ユーザ認証」（➔P. 33）を「OFF」に設定していると、認証画面は表示されません。**

ログイン成功時の画面

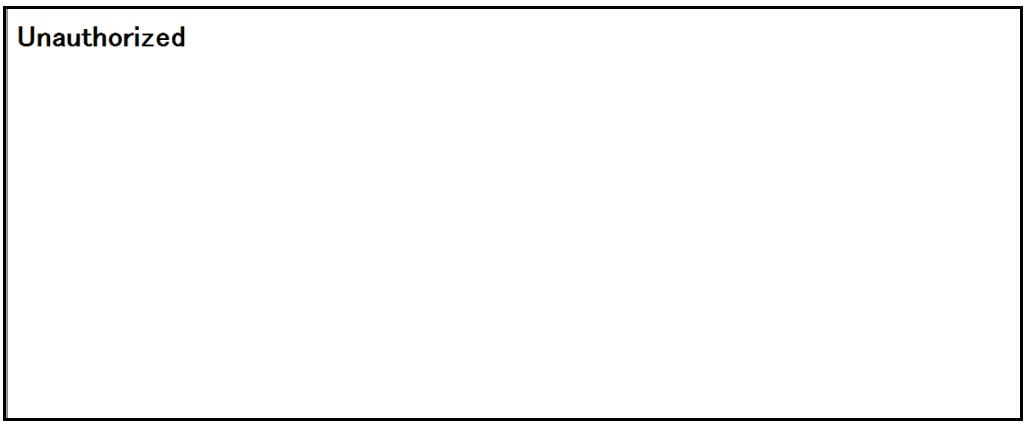
認証に成功すると、次のWEB設定ツール画面が表示されます。

ログイン失敗時の画面

接続に失敗した場合には、次のエラーメッセージが表示されます。PTZカメラがネットワークに接続されて電源が入っているか確認し、正しいURLを指定してログインしなおしてください。

お知らせ

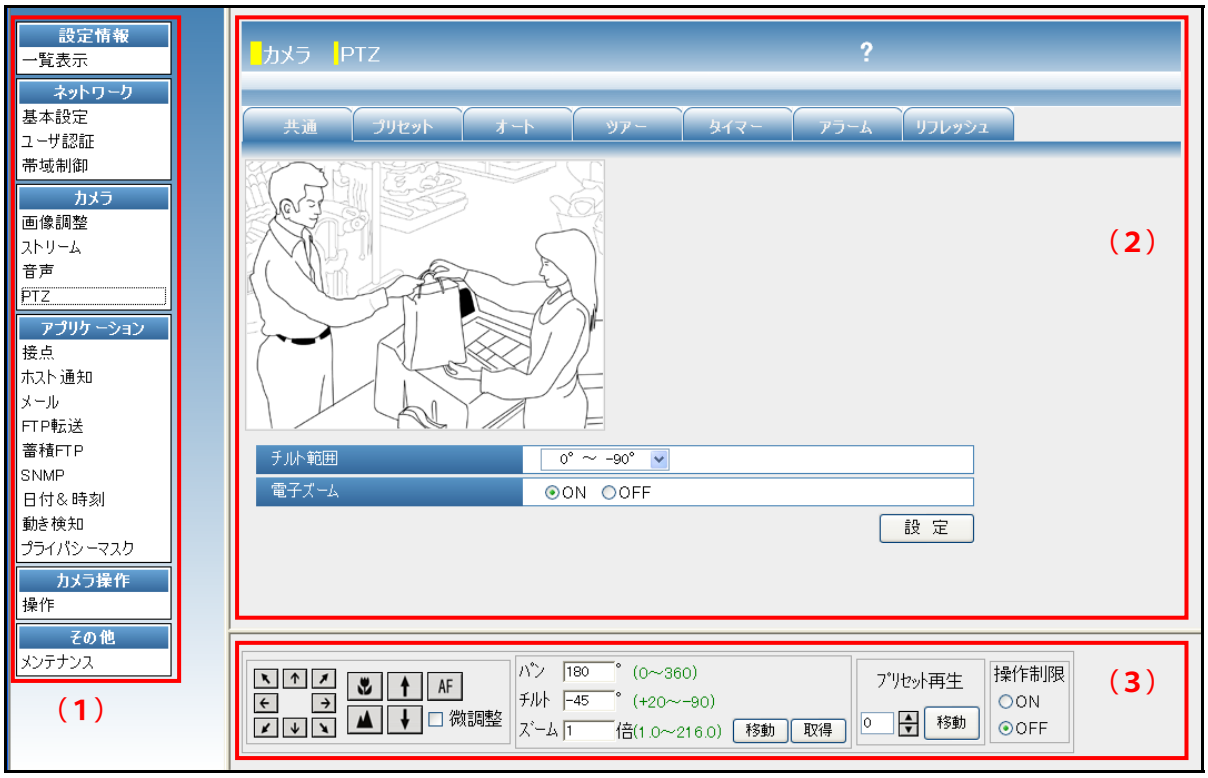
- 認証画面で、ユーザー名とパスワードを3回続けて間違えた場合も、この画面が表示されます。正しいユーザー名とパスワードを入力してログインしなおしてください。
- URLには、正しいIPアドレスとポート番号（80以外に変更した場合）を指定してください。



WEB設定ツール画面

WEB設定ツール画面の構成

起動画面にてPTZカメラへのログインが成功すると、以下の**WEB設定ツール画面**が表示されます。
WEB設定ツール画面は、次の3つのブロックで構成されています。



（1）メニュー

確認・設定する項目を選択します。（➔P.10）

（2）メインエリア

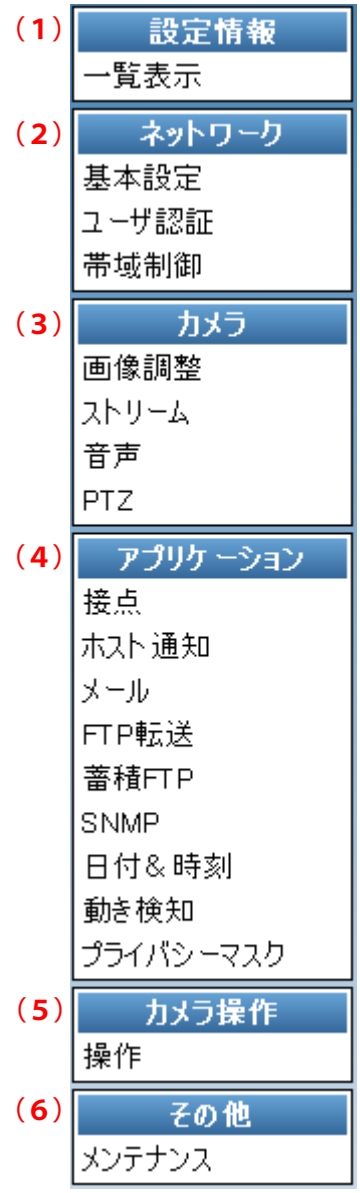
選択したメニューの設定内容が表示されます。（➔P.13）

（3）ライブ映像操作パネル

ライブ映像が表示される設定画面（動き検知設定画面を除く）の下部に表示されます。PTZカメラをリモート操作することができます。（➔P.15）

1．メニュー

メニューは、次のように6つの機能グループに分かれています。



（1）設定情報

① 一覧表示

PTZカメラに設定されている情報が一覧表示されます。
詳しくは、「**設定情報を表示・確認する**」（➔P.18）をご参照ください。

（2）ネットワーク

① 基本設定

PTZカメラに接続するための通信条件を設定します。
詳しくは、「**ネットワークの設定をする**」（➔P.27）をご参照ください。

② **ユーザ認証**

PTZカメラに接続するための認証情報をユーザ番号ごとに設定します。
接続できる機器・ソフトウェアを限定することができます。
詳しくは、「**ユーザ認証の設定をする**」（➔P.32）をご参照ください。

③ **帯域制御**

ライブ・記録用ストリームの上限送信量などの制御情報を設定します。カメラの使用帯域を制限することができます。
詳しくは、「**帯域制御の設定をする**」（➔P.37）をご参照ください。

（3）カメラ

① **画像調整**

PTZカメラに入力される映像の画質を調整します。
設置場所や撮影条件に合わせて、映像の画質を調整することができます。
詳しくは、「**映像画質を調整する**」（➔P.41）をご参照ください。

② **ストリーム**

PTZカメラから配信される映像ストリームの設定をします。
映像の圧縮方式、フレームレート、画質などを設定することができます。
詳しくは、「**映像配信を設定する**」（➔P.47）をご参照ください。

③ **音声**

PTZカメラから配信される音声ストリームの設定をします。
音声の圧縮方式、音量、入力される音声信号を調整することができます。
詳しくは、「**音声配信を設定する**」（➔P.55）をご参照ください。

④ **PTZ**

PTZカメラのPTZ関連の設定をします。
パン・チルト・ズームを調整することができます。
詳しくは、「**PTZ（パン・チルト・ズーム）を設定する**」（➔P.58）をご参照ください。

（4）アプリケーション

① **接点**

PTZカメラのアラーム端子の入出力や極性を設定します。
詳しくは、「**アラーム端子を設定する**」（➔P.77）をご参照ください。

② **ホスト通知**

PTZカメラのアラーム通知先の情報などを設定します。
詳しくは、「**アラーム通知を設定する**」（➔P.80）をご参照ください。

③ **メール**

PTZカメラからのEメール送信の設定をします。
詳しくは、「**メール送信を設定する**」（➔P.83）をご参照ください。

④ **FTP 転送**

PTZカメラからのFTPサーバへの転送の設定をします。
詳しくは、「**FTPサーバ転送を設定する**」（➔P.88）をご参照ください。

⑤ **蓄積 FTP**

PTZカメラのアラームの蓄積、およびFTP動作に関する設定をします。
詳しくは、「**アラーム蓄積・FTP転送を設定する**」（➔P.92）をご参照ください。

⑥ **SNMP**

PTZカメラからのSNMP送信に関する設定をします。
詳しくは、「**SNMPを設定する**」（➔P.94）をご参照ください。

⑦ **日付＆時刻**

PTZカメラの日付・時刻を設定します。
詳しくは、「**日時を設定する**」（➔P.97）をご参照ください。

⑧ **動き検知**

PTZカメラの動き検知に関する設定をします。
詳しくは、「**動き検知を設定する**」（➔P.100）をご参照ください。

⑨ **プライバシーマスク**

PTZカメラのプライバシーマスクに関する設定をします。
詳しくは、「**プライバシーマスクを設定する**」（➔P.107）をご参照ください。

（5）カメラ操作

① **操作**

PTZカメラをリモート操作します。
詳しくは、「**PTZカメラを操作する**」（➔P.111）をご参照ください。

（6）その他

① **メンテナンス**

本メニューは、保守員がメンテナンスをするためのメニューです。使用しないでください。

2．メインエリア

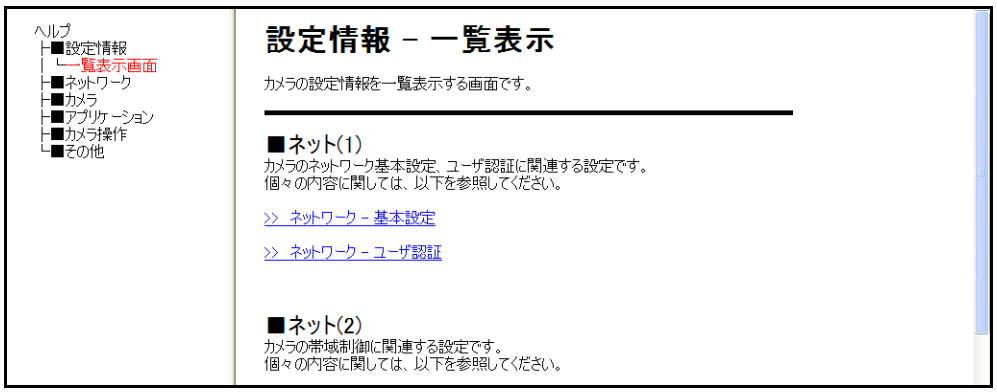
メニューを選択すると、対応する設定項目・設定情報やボタンが、画面の右側に表示されます。

（1）タイトル表示

選択したメニューに従って、タイトル（メニューグループ｜メニュー名）が表示されます。

（2）ヘルプアイコン（[？]）

［？］をクリックすると、次のようなヘルプ画面が表示されます。表示中の画面に応じた説明を読むことができます。



- ヘルプ画面の表示中は、WEB設定ツール画面の操作はできません。WEB設定ツール画面で設定操作をするときは、必ずヘルプ画面を閉じてください。

（3）タブ

メニューによっては、設定項目がタブで分類されています。タブをクリックして設定内容を切り換えます。

（4）設定内容

選択したメニュー／タブの内容が表示されます。

■メインエリアでの入力について：

- **数値入力部**：数値の前後にスペースを入力しても、前後の半角スペースは無視されます。
- **文字列入力部（ID、名称などIPアドレス部分は除く）**：前後の半角スペースも含めて、入力されたそのままが登録されます。ただし、一部の項目では前後に半角スペースを入力すると、エラーになることがあります。詳しくは、各項目の説明をご参照ください。
- 数値入力部／文字列入力部には、文字数・桁数の制限があります。コピー＆ペーストで入力した場合、制限を超えた分の文字・数値は入力されません。

■応答文字列フォーマットの禁止について：

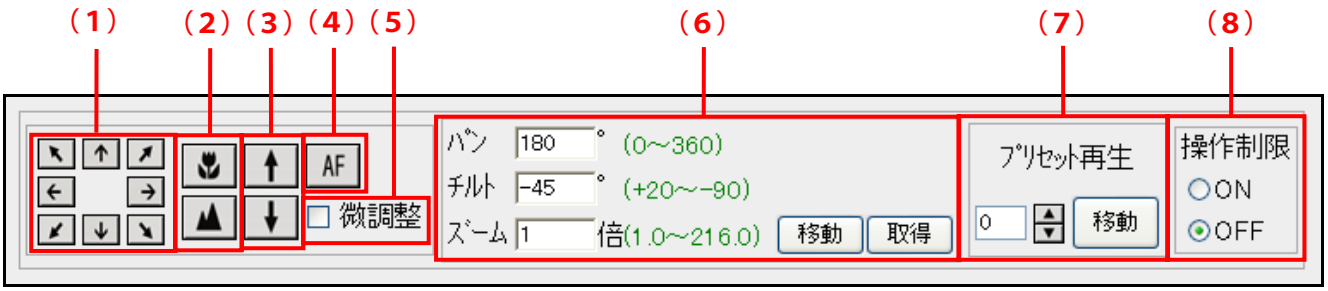
- 文字列入力部分に、カメラパラメータの応答文字列フォーマットを入力することはできません。万一入力した場合には、正常に動作しないことがあります。
- 応答文字列フォーマットとは、次の形式を指します。
  パラメータ名：**value:￥r￥n** →末尾のCRLF（改行）の有無に関わらず入力できません。

■警告画面やノイズが表示されたときは：

- メニューを開いたタイミングなどでPTZカメラから情報を取得して表示しますが、PTZカメラとの通信エラーなどで正しい情報が取得できないことがあります。この場合は、警告画面が表示されます。再度メニューを選択して開きなおすか、画面を更新してください。
- ライブ映像操作パネル（➔P.15）が表示されている場合、メインエリアをスクロールすると、画面の上部がノイズ状に乱れて表示されることがあります。この場合は、IEのリサイズや表示の更新などを行うとノイズが消えます。

3．ライブ映像操作パネル

ライブ映像が表示される設定画面（動き検知設定画面を除く）の下部には、次のような操作パネルが表示されます。



■ご注意■

- **映像を表示中にパン・チルト動作を行った場合、映像に横引きのノイズが入る場合があります。特に縦線被写体ではこのノイズが目立つ場合があります。**
- **パン／チルト／ズーム動作の停止後に、1度だけフォーカスを合わせます（ストップAF機能）。**

（1）方向キーボタン

ボタンの方向にPTZカメラの向き（レンズ）を移動させます。マウスボタンを押し続けると連続して移動します。マウスのボタンを離すと停止します。

お知らせ

- ボタンを押している状態で、他のボタンなどにマウスを移動させないでください。
- 「微調整」チェックボックスにチェックが付いているときは、動作速度が遅くなります。

（2）テレ（望遠）／ワイド（広角）ボタン（ ／ ）

クリックしたボタンの方向にPTZカメラのズーム位置を移動させます。マウスボタンを押し続けると連続して移動します。マウスボタンを離すと停止します。

お知らせ

- 「プライバシーマスク」メニュー（➔P.107）では、このボタンはクリックできません。
- 「微調整」チェックボックスにチェックが付いているときは、動作速度が遅くなります。

（3）フォーカス調整［↑］（FAR）／［↓］（NEAR）ボタン（ ／ ）

ボタンの方向にPTZカメラのフォーカスを移動させ、手動で調整できます。

［↑］（FAR）ボタンを押すと、フォーカスが画面奥側に移動します。

［↓］（NEAR）ボタンを押すと、フォーカスが画面手前側に移動します。

マウスボタンを押し続けると連続して移動します。マウスボタンを離すと停止します。

お知らせ

- **フォーカスを手動で調整した場合でも、方向キーボタンでPTZカメラの向き（レンズ）をパン／チルト方向に移動させると、自動でフォーカスが合うようになっています（ストップAF機能）。**
- **「微調整」チェックボックスにチェックが付いているときは、動作速度が遅くなります。**

（4）［AF］（オートフォーカス）ボタン

［AF］ボタンをクリックすると、PTZカメラのフォーカスを自動で調整します。

マウスボタンを押し続けたり、離したりしても、変わりません。

（5）「微調整」チェックボックス

設定値：チェックなし（初期値）／チェックあり

PTZカメラを微調整する場合にチェックを付けます。

チェックを付けると、方向キーボタン、テレ／ワイドボタン、フォーカス調整ボタンを押したときの動作速度が遅くなり、目的位置への移動などのカメラ制御がしやすくなります。

（6）パン・チルト・ズーム指定／位置［移動］ボタン／位置［取得］ボタン

設定値（パン）：0°～360°

設定値（チルト）：+20°～-90°（［移動］ボタンで移動可能な範囲）

+20°～-200°（［取得］ボタンで取得可能な範囲）

設定値（ズーム）：1.0倍～216.0倍

PTZカメラの向き／角度／ズームを直接指定してPTZカメラを移動させたり、カメラの現在位置を取得したりします。

［移動］ボタンをクリックすると、各入力ボックスに入力されている位置にカメラを動かします。

［取得］ボタンをクリックすると、カメラの現在位置を取得し、各入力ボックスに反映されます。

お知らせ

- **パンは、カメラが左右方向に旋回する機能です。**
- **チルトは、カメラが上下方向に旋回する機能です。**
- **ズームは、カメラの倍率を変更する機能です。**
- **カメラを移動した場合は、少し待ってから［取得］ボタンをクリックしてください。移動直後に［取得］ボタンをクリックすると、正しい位置情報が表示されないことがあります。**
- **電子ズーム（➔P. 60）の状態で、ズーム倍率を変更して［移動］ボタンをクリックすると、電子ズーム機能は一時的に無効（「OFF」）になります。**
- **光学ズーム（1倍～18倍）が高倍率の場合は、ズーム倍率を「0.1」倍単位で変更できないことがあります。その場合は、「0.2」倍単位で指定してください。**
- **プライバシーマスク（➔P. 107）を設定している場合、チルト範囲は0°～-90°となります。**

（7）プリセット再生（[移動]）ボタン

設定値：0～64

プリセット番号を選択して［移動］をクリックすると、プリセット再生を行います。

お知らせ

- プリセット（➔P. 62）は、任意のカメラ位置（パン・チルト・ズーム）を登録する機能です。最大64まで登録することができます。
- 登録されていないプリセット番号を選択した場合は、「プリセット登録されていません」と表示され、カメラは動作しません。
- 「ホーム」（➔P. 62）を登録していない状態でプリセット番号「0」を指定した場合、警告が表示されカメラは移動しません。

（8）操作制限

設定値：ON／OFF

ライブ映像操作パネルを使用するパソコンを制限するかどうかを設定します。

ON：「ON」に設定したパソコンからのみライブ映像操作パネルでの操作を可能とし、それ以外のパソコンからは操作できなくなります。

OFF：どのパソコンからでもライブ映像操作パネルの操作ができます。

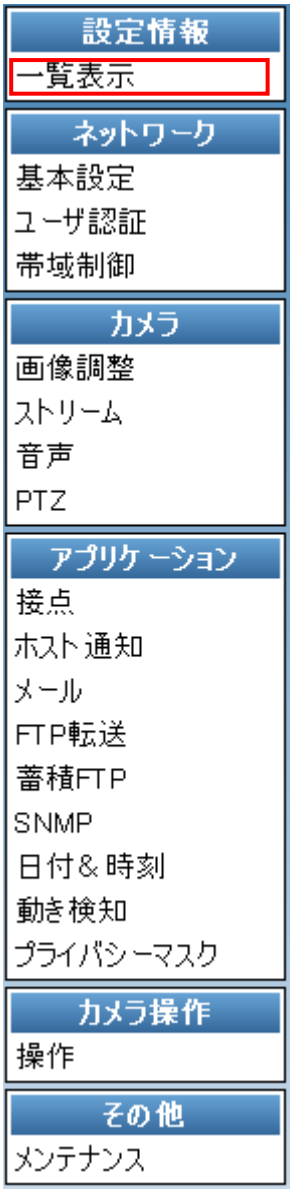
お知らせ

- 「ON」に設定後、3分以内にライブ映像操作パネルを操作してください。3分間何も操作しなかった場合は、自動的に「OFF」に戻ります。
- 操作制限が「ON」の状態でブラウザを終了させても、操作制限は「OFF」になりません。3分間のタイムアウト後に「OFF」になります。
- 他のユーザが操作制限をしている状態では、操作制限を「ON」にすることはできません。

設定情報を表示・確認する

操作

「設定情報」の「一覧表示」メニューをクリックすると、PTZカメラに設定されている情報が一覧表示されます。



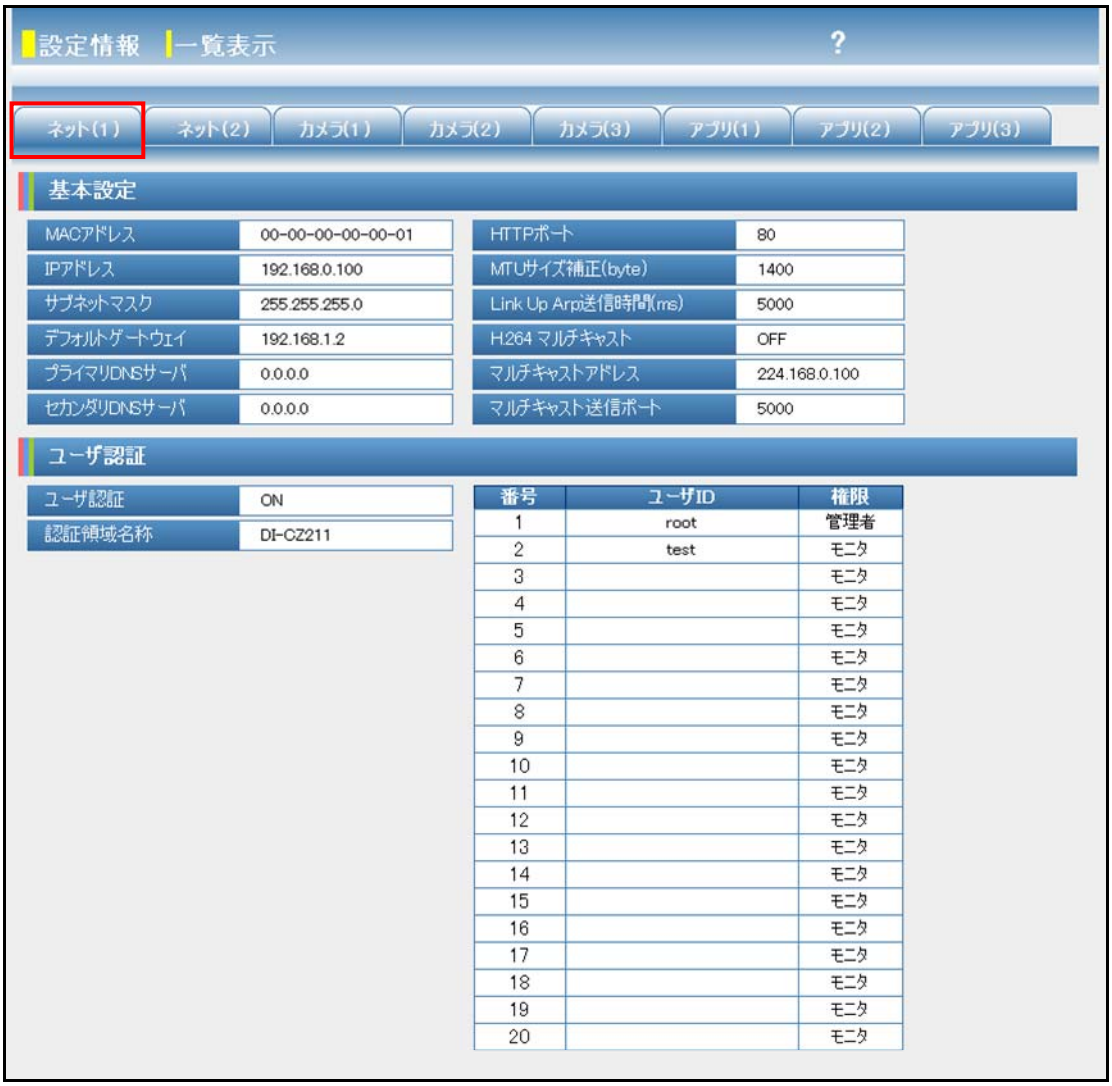
表示項目

「一覧表示」メニューには、PTZカメラの設定情報がタブごとに分類されて表示されます。

1．［ネット（1）］

ネットワークの基本的な設定／ユーザ認証の設定が表示されます。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

➔P.27 「**ネットワークの設定をする**」
➔P.32 「**ユーザ認証の設定をする**」



2．［ネット（2）］

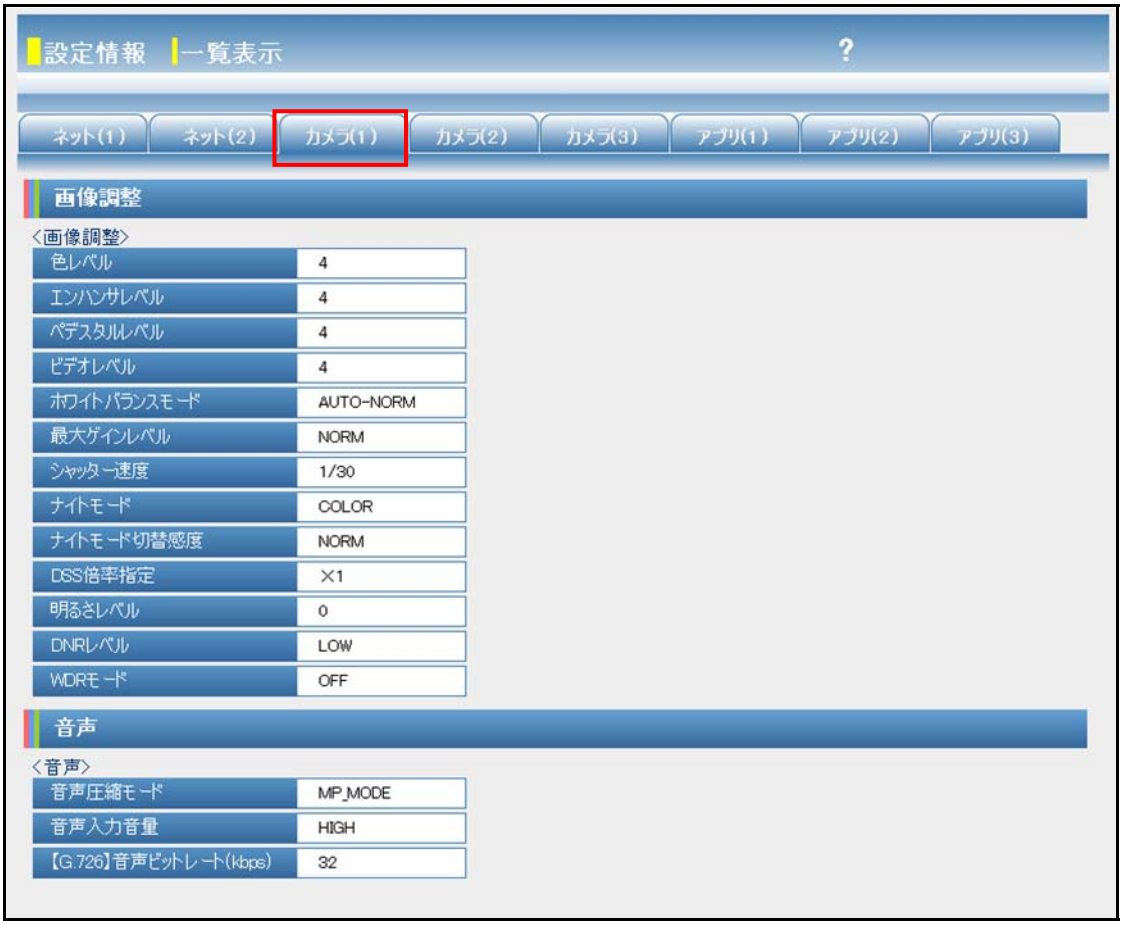
外部からの帯域制御設定のロック、ライブ映像／記録映像配信時の帯域制御の設定が表示されます。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

➔P.37 「**帯域制御の設定をする**」

3．[カメラ（1）]

画像調整の設定／音声配信の設定が表示されます。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

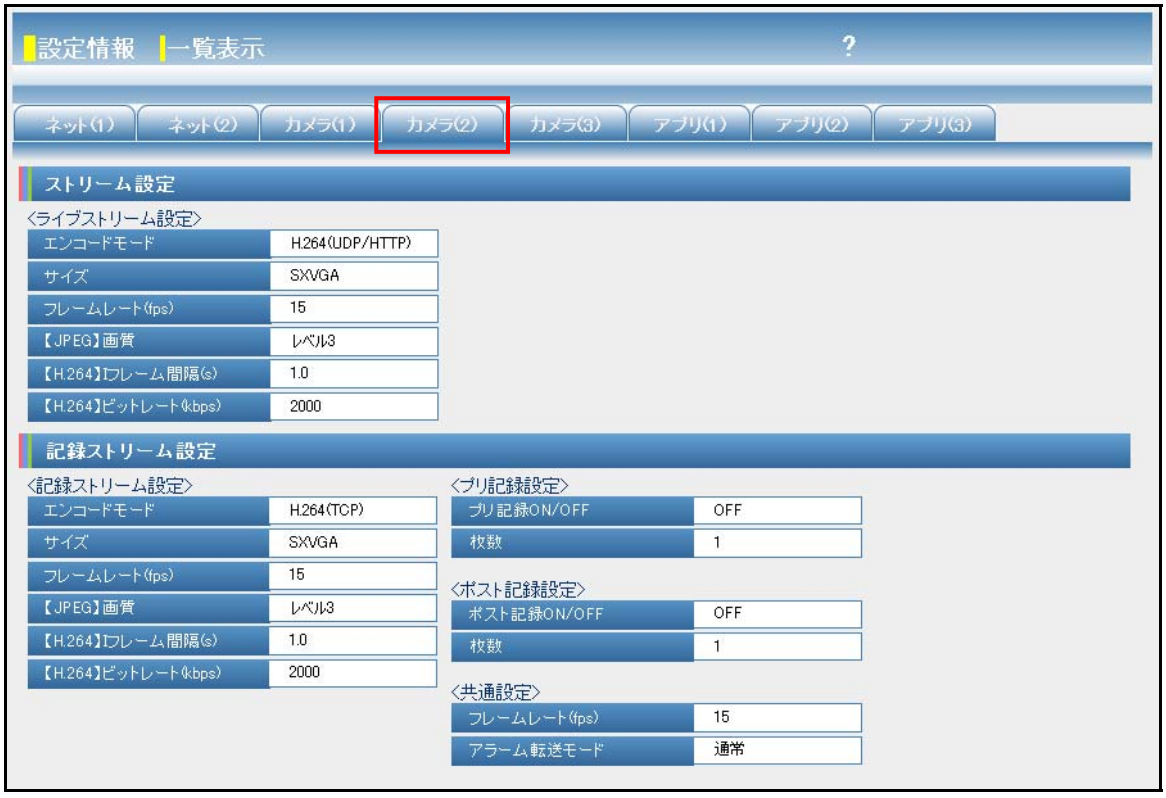
➔P.41 「**映像画質を調整する**」
➔P.55 「**音声配信を設定する**」



4.［カメラ（2）］

映像配信（ライブストリーム／記録ストリーム）の設定が表示されます。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

➔P.47 「**映像配信を設定する**」

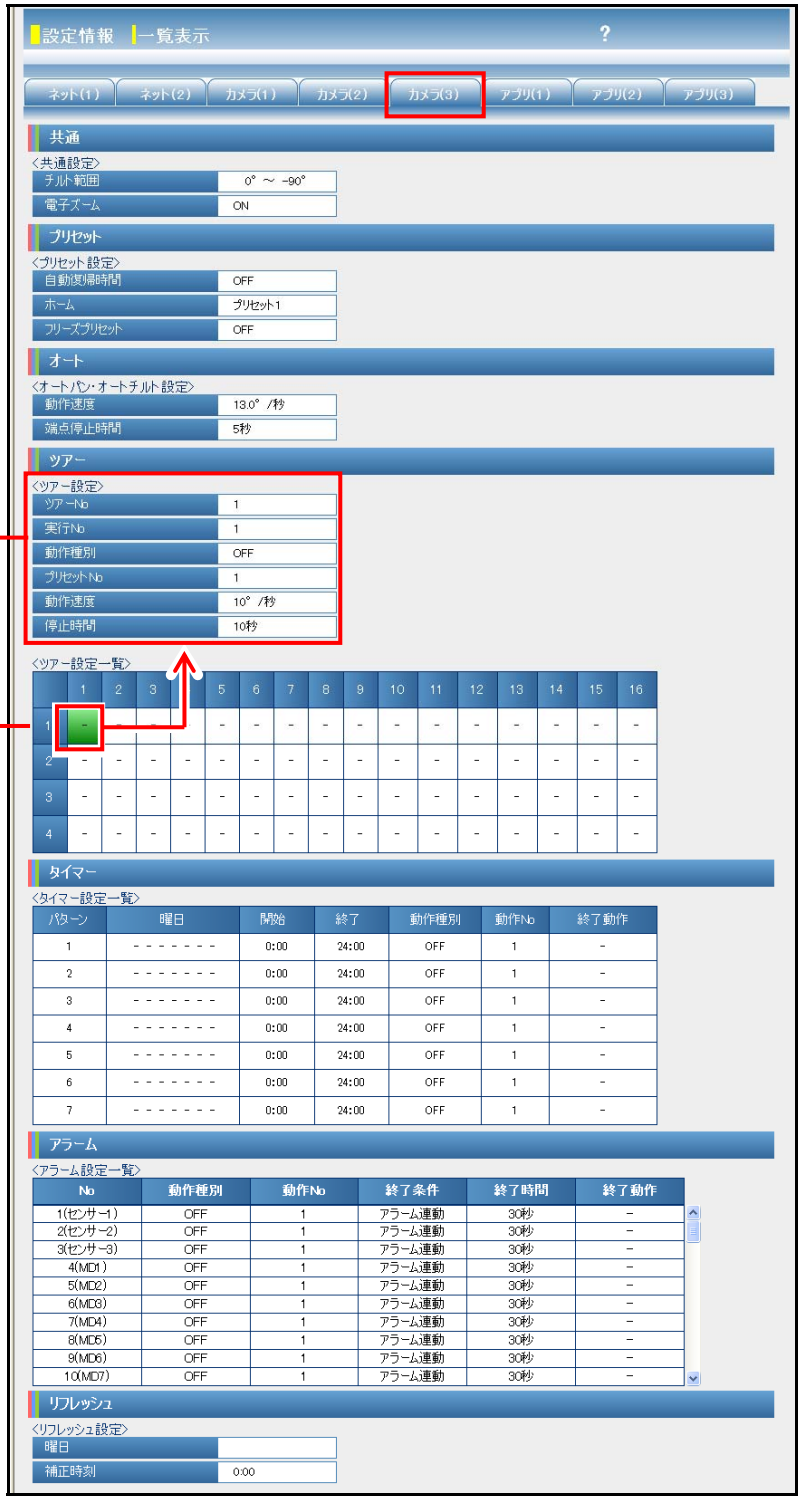


5．［カメラ（3）］

「PTZ」メニュー（➔P.58 「**PTZ（パン・チルト・ズーム）を設定する**」）の各タブの設定が表示されます。詳しくは、以下の項目をご参照ください。

➔P.59 「**1．［共通］**」
➔P.61 「**2．［プリセット］**」
➔P.64 「**3．［オート］**」
➔P.67 「**4．［ツアー］**」
➔P.69 「**5．［タイマー］**」
➔P.72 「**6．［アラーム］**」
➔P.75 「**7．［リフレッシュ］**」

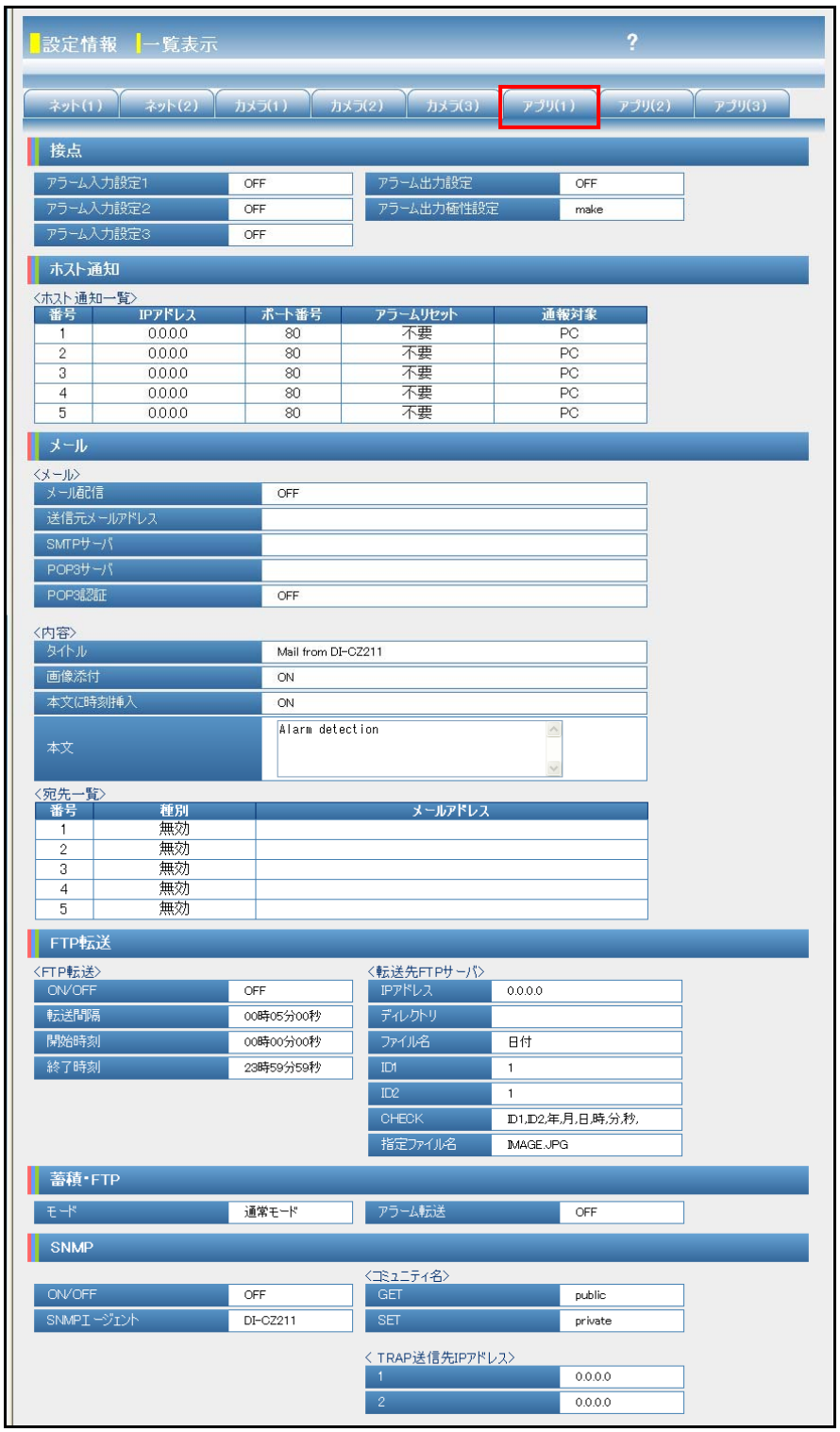
＜ツアー設定一覧＞でツアー設定欄をクリックすると、上の＜ツアー設定＞欄に設定内容が表示されます。



6．[アプリ（1）]

アラーム端子／アラーム通知／メールの送信／FTPサーバへの画像・アラームの転送／SNMP（ネットワーク監視）の設定が表示されます。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

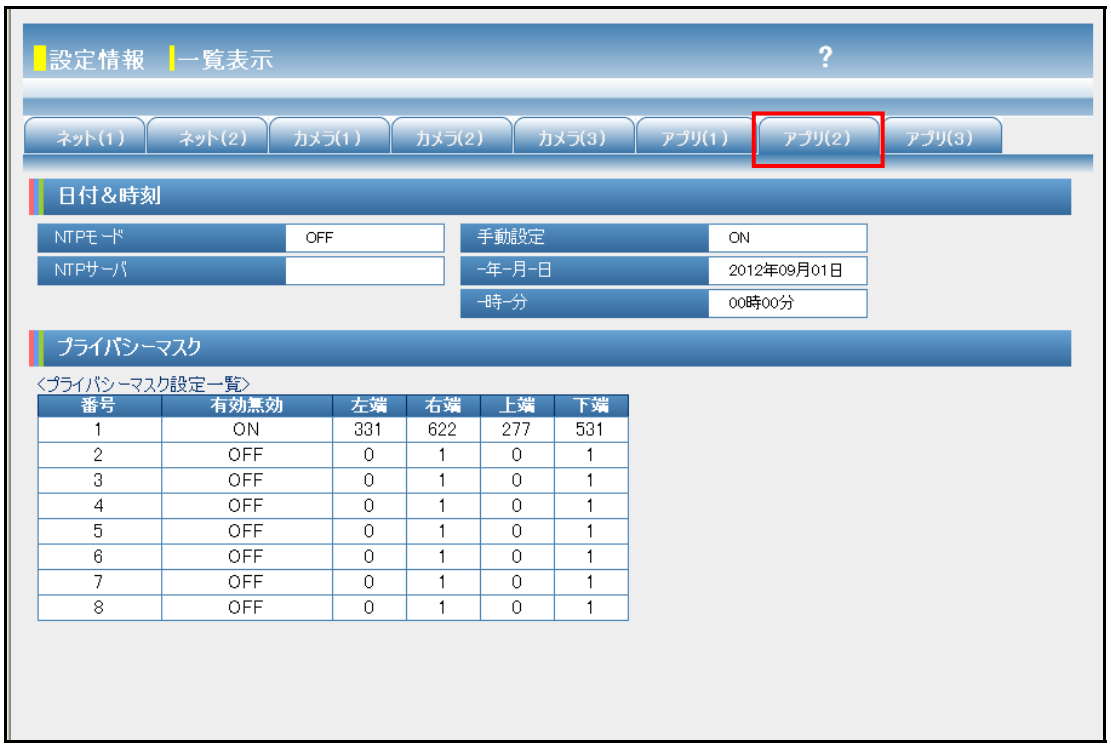
➔P.77 「**アラーム端子を設定する**」
➔P.80 「**アラーム通知を設定する**」
➔P.83 「**メール送信を設定する**」
➔P.88 「**FTPサーバ転送を設定する**」
➔P.92 「**アラーム蓄積・FTP転送を設定する**」
➔P.94 「**SNMPを設定する**」



7．[アプリ（2）]

日時／プライバシーマスクの設定が表示されます。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

➔P.97 「**日時を設定する**」
➔P.107 「**プライバシーマスクを設定する**」



番号	有効無効	左端	右端	上端	下端
1	ON	331	622	277	531
2	OFF	0	1	0	1
3	OFF	0	1	0	1
4	OFF	0	1	0	1
5	OFF	0	1	0	1
6	OFF	0	1	0	1
7	OFF	0	1	0	1
8	OFF	0	1	0	1

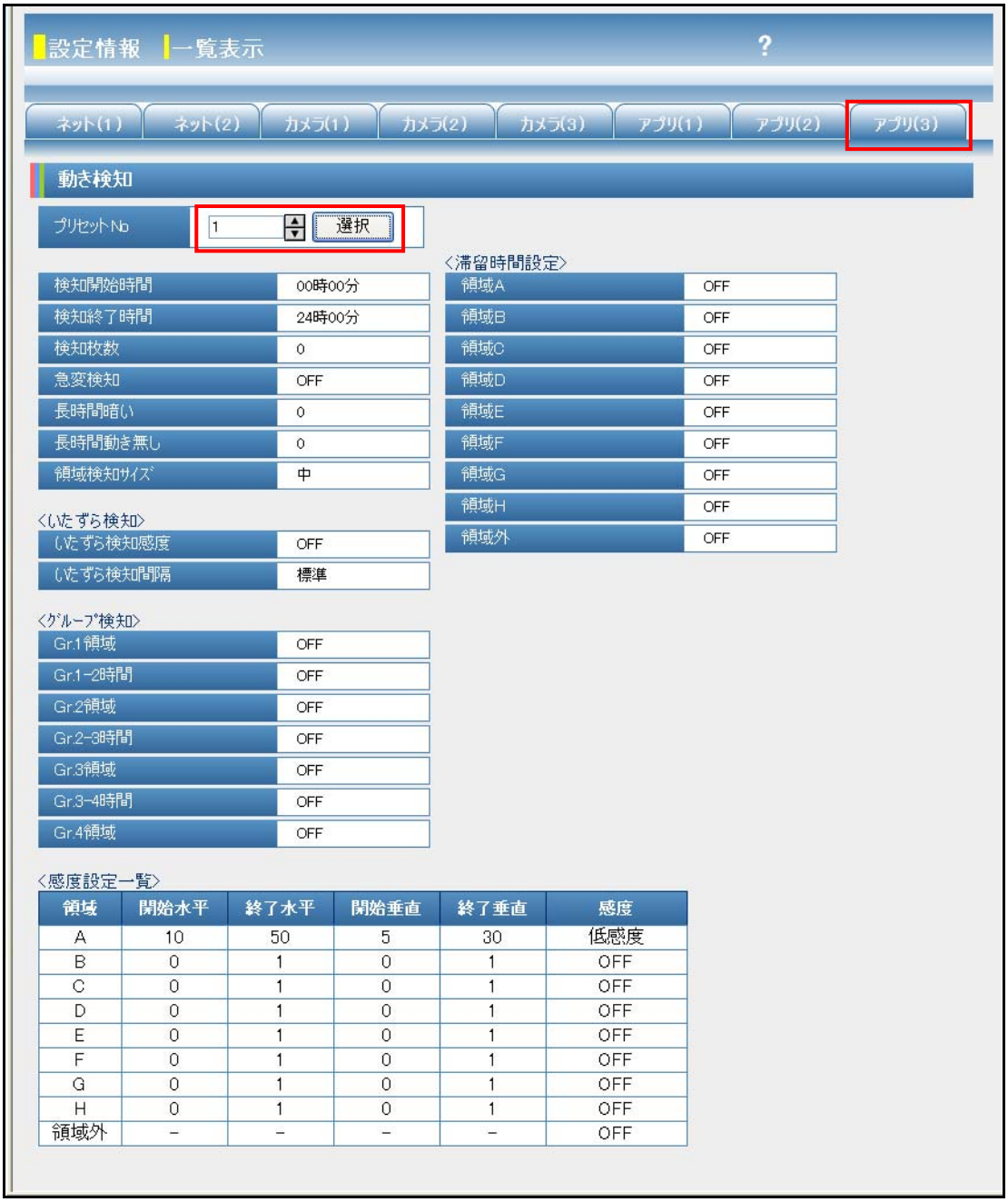
8．［アプリ（3）］

指定したプリセット番号の動き検知設定が表示されます。
詳しくは、以下の項目をご参照ください。

➔P.100 「**動き検知を設定する**」

お知らせ

- プリセット番号を指定して［選択］をクリックすると、設定内容が表示されます。

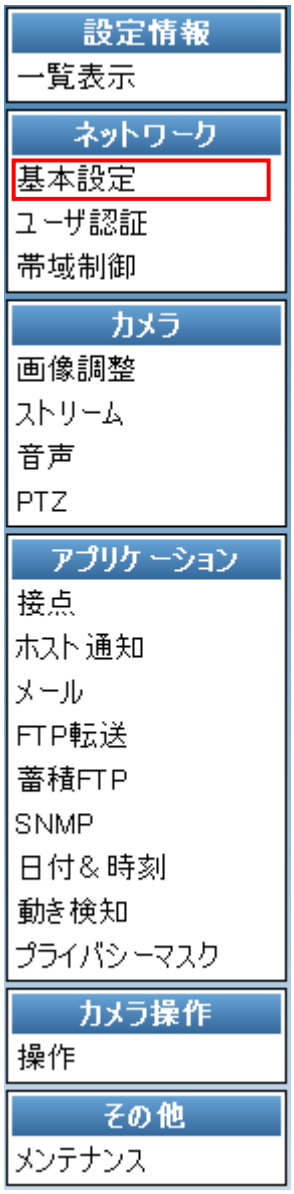


領域	開始水平	終了水平	開始垂直	終了垂直	感度
A	10	50	5	30	低感度
B	0	1	0	1	OFF
C	0	1	0	1	OFF
D	0	1	0	1	OFF
E	0	1	0	1	OFF
F	0	1	0	1	OFF
G	0	1	0	1	OFF
H	0	1	0	1	OFF
領域外	－	－	－	－	OFF

ネットワークの設定をする

操作

「ネットワーク」の「基本設定」メニューをクリックすると、PTZカメラのIPアドレスやHTTP通信ポートなど、ネットワークの基本設定をすることができます。



設定項目

■ご注意■

- **PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせて使用する場合には、以下の設定項目は変更しないでください。**
  IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ／プライマリDNSサーバ／セカンダリDNSサーバ／HTTPポート
- **IPアドレスなど一部の設定項目を変更した場合、カメラは再起動します。同時にWEB設定ツール画面（IE）も終了します。**

基本設定

（1）MAC アドレス

ネットワーク上の機器を識別するために割り当てられている固有のアドレス値です。出荷時に固定値が設定されており、変更することはできません。

（2）IP アドレス

設定値：1.0.0.0～192.168.0.100（初期値）～223.255.255.255
PTZカメラのIPアドレスを設定できます。

お知らせ

- IPアドレスとは、ネットワーク内の機器を識別するためのアドレス値で、データの送受信をするために必要な番号です。

以下のIPアドレスは、設定できません。

- 第１オクテット（アドレスの先頭の数値）が0、127、224～255の場合
  例：
  0.0.0.0、127.0.0.1、224.0.0.1、255.255.255.255などは設定できません。
- サブネットマスク設定によりホストアドレスのビットがすべて0になる場合（ネットワークアドレス）
  例：
  サブネットマスク：255.255.255.0のとき192.168.0.0は設定できません
- サブネットマスク設定によりホストアドレスのビットがすべて1になる場合（ブロードキャストアドレス）
  例：
  サブネットマスク：255.255.255.0のとき192.168.0.255は設定できません

（3）サブネットマスク

設定値：128.0.0.0～255.255.255.0（初期値）～255.255.255.252
PTZカメラのサブネットマスクを設定できます。
サブネットマスクは最上位ビットが1でネットワークアドレス部のビットがすべて1、ホストアドレス部のビットがすべて0の値が設定できます。
ただし、**以下の値は設定できません。**
0.0.0.0、255.255.255.254、255.255.255.255

お知らせ

- IPアドレスの内、ネットワークアドレスとホストアドレスを識別するためのアドレス値です。
- ネットワークアドレスとは、巨大なネットワークを多数のネットワーク（サブネット）に分けて管理するときに、識別するためのアドレスです。ホストアドレスとは、IPアドレスの内、ネットワークアドレス部分以外を指します。

（4）デフォルトゲートウェイ

設定値：0.0.0.0～192.168.0.254（初期値）～255.255.255.255
PTZカメラのデフォルトゲートウェイを設定できます。

お知らせ

- 所属するネットワークの外のネットワークにアクセスする際に使用するネットワーク機器のIPアドレスです。

（5）プライマリ DNS サーバ

設定値：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255
PTZカメラのプライマリDNS（ドメインネームシステム）サーバのアドレスを設定できます。

お知らせ

- ドメインネームとは、ネットワーク上のネットワーク機器を利用者が分かりやすい形式（ドメインネーム）で表現したものです。DNSサーバによって、ドメインとIPアドレスを対応付けて使用されます。

（6）セカンダリ DNS サーバ

設定値：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255
PTZカメラのセカンダリDNSサーバのアドレスを設定できます。

お知らせ

- 「（5）プライマリDNSサーバ」の２番目（サブ）のDNSサーバアドレスとなります。

（7）HTTP ポート

設定値：80（初期値）、1024～65535
PTZカメラとHTTPで通信する際のポート番号を設定できます。
ポート番号を変更した場合は、WEB設定ツールを再起動（またはログオフ）し、変更後のポート番号をアドレスの末尾に「:」付きで指定（**htttp://IPアドレス:ポート番号**）してログインしなおしてください。指定したポート番号が正しいときのみカメラとの通信ができます。
例： http://192.168.0.100:8080（**ポート番号が8080の場合**）

お知らせ

- 10000,10002,10004,10008,15000～15999は設定できません。
- 通常は「80」（初期値）で使用してください。この場合、ポート番号の指定は不要です。

（8）MTU サイズ補正

設定値：800／900／1000／1100／1200／1300／1400（初期値）／1500
PTZカメラのMTUサイズを設定できます。
使用中のネットワーク回線でエラーが発生しやすい場合などに、数字を小さくすることで通信速度が安定します。
ネットワーク回線が安定している場合は、数字を大きくすると通信速度が安定します。

お知らせ

- 通常は「1400」（初期値）でご使用ください。
- MTUは、ネットワークにおいて１回に送信できるデータの最大値を指します。

（9）Link Up Arp 送信時間（ms）

設定値：1000～5000（初期値）～20000
PTZカメラのLink Up Arp送信時間を設定できます。

お知らせ

- EthernetケーブルのLink Upを検出してから、ARP（通信状態を監視するためのデータ）を送信するまでの時間です。

（10）H.264 マルチキャスト

設定値： ON／OFF（初期値）
PTZカメラのH.264マルチキャストを選択できます。
H.264をマルチキャスト配信するときには、「ON」にしてご使用ください。
マルチキャストを「ON」にすると、H.264のマルチキャスト配信が始まります。「OFF」から「ON」にした場合、ライブストリームのエンコードモードがH.264であれば再起動後にH.264のマルチキャスト配信が始まります。

お知らせ

- 「映像配信を設定する」（➔P. 47）で、ライブストリームのエンコードモードが「H.264」のとき有効な設定です。
- ライブストリームのエンコードモード（➔P.49）が「JPEG」の場合はエラーとなります。ライブストリームのエンコードモードを「H.264」に設定してください。

（11）マルチキャストアドレス

設定値：0.0.0.0～224.168.0.100（初期値）～255.255.255.255
PTZカメラのマルチキャストアドレスを設定できます。
マルチキャストルータに設定したマルチキャストアドレスを設定してご使用ください。

お知らせ

- 「（10）H.264マルチキャスト」が「ON」のとき有効な設定です。

（12）マルチキャスト送信ポート

設定値：1～5000（初期値）～65535
PTZカメラのマルチキャスト送信ポートを設定できます。
マルチキャストルータに設定したマルチキャストポートを設定してご使用ください。

お知らせ

- 「（10）H.264マルチキャスト」が「ON」のとき有効な設定です。

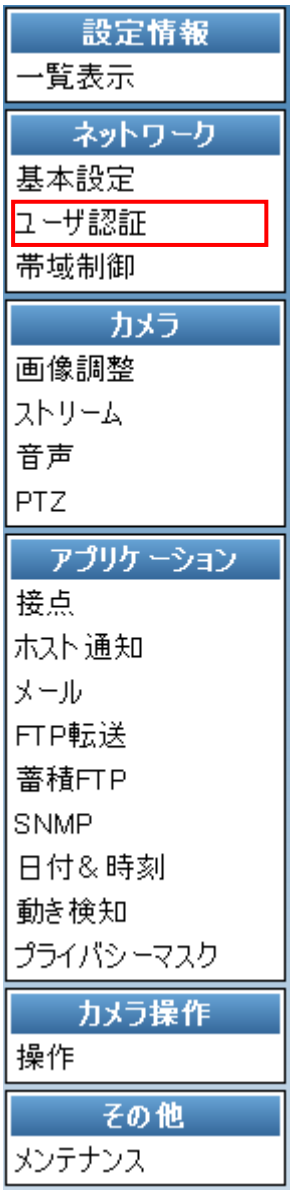
（13）［設定］ボタン

設定内容がPTZカメラに設定されます。
設定後、PTZカメラは再起動します。同時にWEB設定ツール画面（IE）も終了します。

ユーザ認証の設定をする

操作

「ネットワーク」の「ユーザ認証」メニューをクリックすると、PTZカメラのユーザ認証の設定をすることができます。



設定項目

■ご注意■

PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせて使用する場合には、以下の設定項目は変更しないでください。

ユーザ認証／ユーザ設定

ユーザ認証

（1）ユーザ認証

設定値：ON（初期値）／OFF

PTZカメラのユーザ認証の有無を選択できます。

ユーザ認証には、Basic認証を使用します。「ON」に設定すると、設定された「ユーザID」「パスワード」のみ接続を受け付けます。

お知らせ

- ユーザ認証を「OFF」から「ON」に切り換えた場合は、認証画面（➔P. 7）が表示されます。正しいユーザIDとパスワードを入力してください。

（2）認証領域名称

設定値：半角文字30文字以内／DI-CZ211（初期値）
PTZカメラの認証領域情報を設定できます。

（3）［設定］ボタン

設定内容がPTZカメラに設定されます。

ユーザ設定

（4）番号

設定値：1（初期値）～20
PTZカメラのユーザ番号を選択できます。
選択したユーザ番号ごとに、「（6）ユーザID」「（7）パスワード」を設定できます。
右側のユーザ一覧で該当ユーザをクリックしても番号を選択できます。

（5）ユーザ権限

表示値：管理者／モニタ
「（4）番号」で選択したユーザ番号に対応するユーザ権限が表示されます。

お知らせ

- **ユーザ番号1が管理者権限、ユーザ番号2～20がモニタ権限となります。**

（6）ユーザ ID

設定値：半角英数字12文字以内（半角スペース不可）
「（4）番号」（ユーザ番号）が「1」のときの初期値：「root」
「（4）番号」（ユーザ番号）が「1」以外のときの初期値：空白
PTZカメラの認証ユーザIDを設定できます。

お知らせ

- **ユーザIDを登録・変更する場合は、ユーザIDを必ず入力してください。空白は設定できません。**
- **登録済みのユーザIDと同じユーザIDは登録できません。**

（7）パスワード

設定値：半角英数字12文字以内（半角スペース不可）
「（4）番号」（ユーザ番号）が「1」のときの初期値：「admin」
「（4）番号」（ユーザ番号）が「1」以外のときの初期値：空白
PTZカメラの認証パスワードを設定できます。

お知らせ

- **選択したユーザに設定済みのパスワードは表示されません。**
- **「（4）番号」（ユーザ番号）で「1」以外を選択したときは、パスワードに空白（パスワードなし）を設定できます。**

（8）パスワード（確認）

設定値：半角英数字12文字以内（半角スペース不可）
パスワードを確認用に入力します。

お知らせ

- 「（7）パスワード」と違うパスワードを入力すると、エラーとなります。

（9）［ユーザ登録］ボタン

設定したユーザ番号・ユーザID・パスワードで、PTZカメラにユーザを登録します。
ユーザ登録が完了すると、「ユーザ登録しました。」と表示され、「ユーザ一覧」にユーザが登録されます。

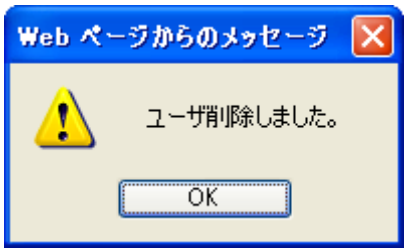
お知らせ

- 現在ログイン中のユーザ情報を変更した場合には、ログインが無効となり、再度ログイン認証画面（➔P.7）が表示されます。
- 管理者権限（ユーザ番号１）ユーザの「（６）ユーザID」「（７）パスワード」を変更した場合は、［ユーザ登録］ボタンをクリックすると認証画面（➔P. 7）が表示されます。変更後のユーザIDとパスワードを入力してください。

（10）［ユーザ削除］ボタン

ユーザ番号を指定して、PTZカメラに登録されたユーザを削除できます。

［ユーザ削除］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

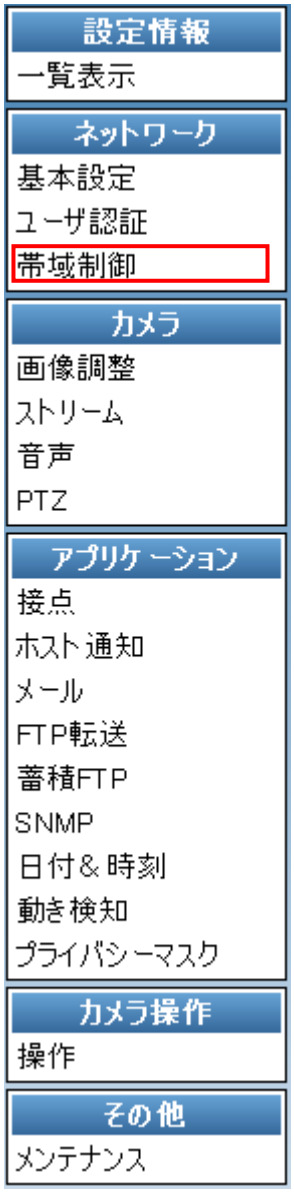


［OK］をクリックすると、ユーザ削除が実行され、次のように「ユーザー覧」からユーザが削除されます。

帯域制御の設定をする

操作

「ネットワーク」の「帯域制御」メニューをクリックすると、PTZカメラの帯域制御の設定ができます。



設定項目

■ご注意■

PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせて使用する場合には、基本的に本設定項目は変更しないでください。ただし、本ツールで設定した値をどうしても使用したい場合は、「帯域制御設定ロック」を使用してください。レコーダーを含む外部からの設定要求を無効にすることができます。

1．設定ロック

（1）帯域制御設定ロック

設定値：ON／OFF（初期値）

外部からの帯域制御設定要求の有効（OFF）／無効（ON）設定します。

（2）［設定］ボタン

設定内容がPTZカメラに設定されます。

2．H.264 ライブ帯域制御

（3）ライブ配信 AUTO

設定値：ON／OFF（初期値）

RTCP情報を基に帯域制御を自動で行うかどうかを設定します。「ON」の場合、パケット欠落が発生すると、自動で送信レートを制御します。

（4）ライブ帯域制御

設定値：ON（初期値）／OFF

H.264ライブ配信の帯域制御を行うかどうかを設定します。

お知らせ

- **本項目が「ON」の場合のみ、以降の「（5）ライブ配信上限（Mbps）」「（6）ライブ配信間隔（msec）」「（7）ライブフレーム送信時間優先」の設定が可能となります。**

（5）ライブ配信上限（Mbps）

設定値：0～8（初期値）～100

H.264ライブ配信の送信レートの上限を設定できます。「（6）ライブ配信間隔（msec）」で設定した時間の平均ビットレートの指定になります。

（6）ライブ配信間隔（msec）

設定値：0～10（初期値）～1000

ライブ配信時の帯域制御する時間を設定します。本設定により、送信間隔が決定します。

（7）ライブフレーム送信時間優先

設定値：ON（初期値）／OFF

「ON」の場合は、各フレームを250ms以内に送信するように制御します。この場合、「（5）ライブ配信上限（Mbps）」で設定した配信上限を超えることがあります。

「OFF」の場合、「（5）ライブ配信上限（Mbps）」の配信上限を超えないよう制御します。

お知らせ

- **「OFF」の場合、配信上限、配信間隔の設定値によっては、Pフレームを間引くことがあります。**

3．H.264 記録帯域制御

（8）記録帯域制御

設定値：ON（初期値）／OFF
H.264記録配信の送信制御を行います。

お知らせ

- **本項目が「ON」の場合のみ、以降の「（9）記録配信上限（Mbps）」「（10）記録配信間隔（msec）」「（11）記録フレーム間隔優先」の設定が可能となります。**

（9）記録配信上限（Mbps）

設定値：0～8（初期値）～100
H.264記録配信の送信レートの上限を設定できます。「（10）記録配信間隔（msec）」で設定した時間の平均ビットレートの指定になります。

（10）記録配信間隔（msec）

設定値：0～10（初期値）～1000
記録配信時の帯域制御する時間を設定します。本設定により、送信間隔が決定します。

（11）記録フレーム間隔優先

設定値：ON（初期値）／OFF
フレームレート設定により決められるフレーム間隔で各フレームデータを送信します。このとき各フレーム間隔内でデータ量を平準化して送信を行います。
「ON」の場合、フレーム間隔を守るために「（9）記録配信上限（Mbps）」で設定した配信上限を超えることがあります。
「OFF」の場合は「（9）記録配信上限（Mbps）」で設定した配信上限を超えないよう制御します。

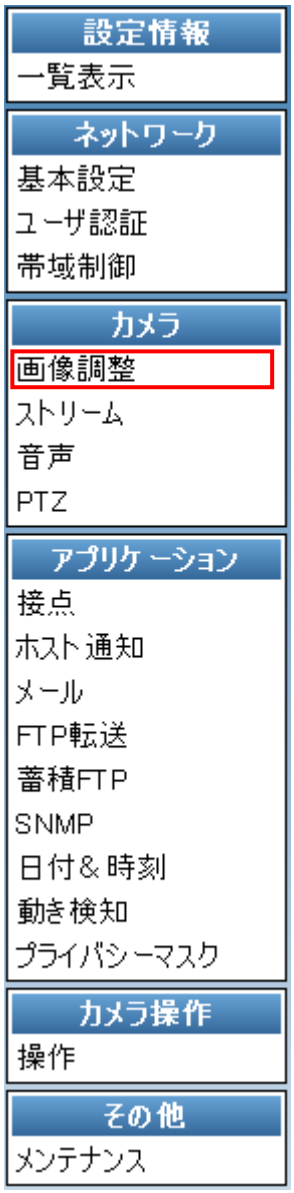
（12）［設定］ボタン

設定内容がPTZカメラに設定されます。

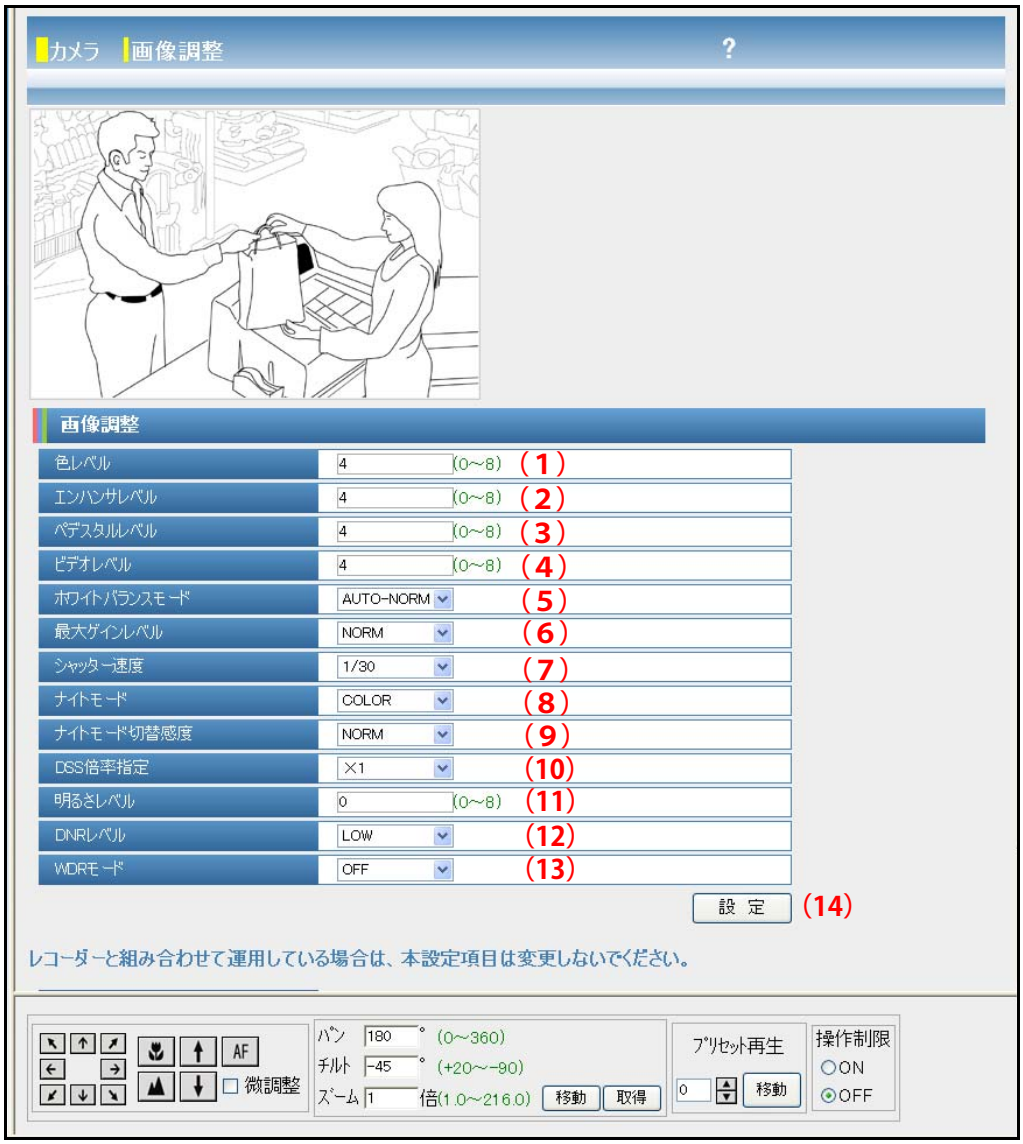
映像画質を調整する

操作

「カメラ」の「画像調整」メニューをクリックすると、PTZカメラから出力される映像の画質を調整することができます。



設定項目



■ご注意■

- **PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせて使用する場合には、本設定項目は変更しないでください。**
- **オート動作（オートパン／オートチルト／ツアー）中に設定を変更すると、オート動作が停止します。**

画像調整

（1）色レベル

設定値：0～4（初期値）～8
色の濃さ（彩度）を調整できます。
数字が小さいほど淡く、大きいほど濃くなります。

お知らせ

- **通常は「4」（初期値）でご使用ください。**

（2）エンハンサレベル

設定値：0～4（初期値）～8
映像信号の水平方向と垂直方向の輪郭の見え方を調整できます。
数字が小さいほど弱く、大きいほど強くなります。

お知らせ

- **通常は「4」（初期値）でご使用ください。**

（3）ペデスタルレベル

設定値：0～4（初期値）～8
映像信号のペデスタルレベル（黒の基準）を調整できます。
数字が小さいほど低く（黒く）、大きいほど高く（白く）できます。

お知らせ

- **通常は「4」（初期値）でご使用ください。**

（4）ビデオレベル

設定値：0～4（初期値）～8
映像信号の出力レベル（明るさ）を調整できます。
数字が小さいほど狭く（暗く）、大きいほど広く（明るく）できます。

お知らせ

- **通常は「4」（初期値）でご使用ください。**

（5）ホワイトバランスモード

設定値：AUTO-NORM（初期値）／AUTO-HG／AUTO-NA／AUTO-R／AUTO-B／ワンプッシュ
・AUTO-NORM：オートホワイトバランスモード
・AUTO-HG：　水銀灯モード
・AUTO-NA：　ナトリウムランプ灯モード
・AUTO-R：　オートホワイトバランスモード(赤み強調)
・AUTO-B：　オートホワイトバランスモード(青み強調)
・ワンプッシュ：設定時のホワイトバランスで常に動作します。
被写体を照らす光源（色調）に合わせて、ホワイトバランスを選択できます。
通常は「AUTO-NORM」に設定することをおすすめします。
光源が水銀灯の場合には「AUTO-HG」に、光源がナトリウムランプ灯の場合には「AUTO-NA」に設定します。
赤み／青みを強調したい場合には、「AUTO-R」／「AUTO-B」に設定してください。

お知らせ

- **ワンプッシュは、画面上の色と実際の色の違いが気になるときや、被写体の色温度が頻繁に変化して、画面上の色バランスの変化が気になるときに使用してください。**

（6）最大ゲインレベル

設定値：LOW／NORM（初期値）／HIGH

夕暮れ、夜間や倉庫など照明の暗い環境下で映像を明るくする程度（ゲイン）を３種類から選択できます。暗くてもノイズを抑えたい場合には「LOW」を、ノイズが多くても明るく見たい場合には「HIGH」を選択してください。

お知らせ

- **通常は「NORM」をご使用ください。**

（7）シャッター速度

設定値：1/30／1/60／1/100／1/250／1/500／1/1000／1/2000／1/4000／1/10000／AE（初期値）

被写体の動きや設置場所・照明環境などに合わせて、シャッター速度を変更できます。

■ 動きの速いものを撮影する場合：

速めのシャッター速度を設定すると、ぶれが少ない映像が撮影できます。ただし、シャッター速度を速くすればするほど画面が暗くなります。照明が不足しないように注意してください。逆に、シャッター速度を遅くすると、画面を明るく保つことができますが、動きのある被写体で残像が出るようになります。

■ スメア（画面の明るい部分から縦線が出る現象）が強く発生する場合：

シャッター速度を遅くしてください。

■ フリッカー（画面がちらつく現象）が発生する場合：

蛍光灯など電源周波数に同期して発光している照明下では、1/250秒以上にすると、フリッカー（画面がちらつく現象）が強調されやすくなりますので、1/100秒以下でご使用ください。

■ ナイトモードとの関係について：

「シャッター速度」が「AE」の場合のみ、「（8）ナイトモード」の「AUTO」を選択できます。また、「（8）ナイトモード」が「AUTO」のときは、「シャッター速度」を「1/30～1/10000」に設定することはできません。

（8）ナイトモード

設定値：AUTO／COLOR（初期値）／MONO

本機には、赤外線光によるナイトモード機能が搭載されています。

人間の目では見えない赤外線光を利用することで、暗い環境下でも明るさを補います。ただし、明るくなる代わりに、映像は白黒になります。

次の表を参考に、ナイトモードを設定してください。

表：ナイトモードの設定

AUTO	明るさを自動で判定し、暗くなるとナイトモードをMONOに、明るくなるとナイトモードをCOLORに切り換えます。
COLOR（初期値）	常にナイトモードをCOLORにします。暗い環境下で、常にカラー映像で撮影したい場合にご使用ください。
MONO	常にナイトモードをMONOにします。映像は白黒になります。常に暗い環境で、明るい映像を撮影したい場合にご使用ください。

お知らせ

- ナイトモードは、赤外線光をあまり含まない蛍光灯などの光源では、思ったように明るくならないことがあります。その場合、赤外線投光器を設置するなどの対応をしてください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 「AUTO」に設定するためには、「（7）シャッター速度」を「AE」にしておく必要があります。
- 「（7）シャッター速度」が「AE」の状態で「AUTO」を選択すると、自動的に「COLOR」に設定されます。

（9）ナイトモード切替感度

設定値：LOW／NORM（初期値）／HIGH

「（8）ナイトモード」で「AUTO」を選択した場合の切替感度（明るさ）を指定できます。

「LOW」は暗め、「HIGH」は明るめ、「NORM」は中間の明るさで切り換わります。

お知らせ

- 「（8）ナイトモード」が「AUTO」の場合のみ有効です。

（10）DSS 倍率指定

設定値：×1（初期値）／×2／×4

DSS（デジタル・スロー・シャッター）は、CCDセンサの露光時間を長くして、暗い環境下での映像を明るくする機能です。倍率を高くするほど、暗い環境下で明るく撮影できますが、動きのある物体はぶれて映ります。

お知らせ

- 倍率を高くした状態で、動きの速い被写体を撮影した場合、動きが多少不自然に見えることがありますが、故障ではありません。
- 「（7）シャッター速度」が「AE」設定のときのみ動作します。

（11）明るさレベル

設定値：0～4（初期値）～8

数値が大きいほど明るく、小さいほど暗くなります。

（12）DNR レベル

設定値：OFF／LOW（初期値）／MID／HIGH

暗い環境下でゲインやDSSによる明るさ補正を行うと、映像は明るくなりますが、ノイズも増加します。DNR（デジタル・ノイズ・リダクション）は、このノイズを低減することができます。また、明るい環境下でもノイズを軽減することができます。

「LOW」→「MID」→「HIGH」の順で、この機能の効果が強くなります。「OFF」はこの機能が動作しません。

お知らせ

- DNRレベルを設定した状態で、動きの速い被写体を撮影した場合、動きが多少不自然に見えることがありますが、故障ではありません。

（13）WDR モード

設定値：OFF（初期値）／WDR／逆光補正1／逆光補正2／逆光補正3

コントラストの差が大きい被写体を撮影する場合、WDR（ワイド・ダイナミック・レンジ）モードによって、一部が暗すぎたり明るすぎたりしないように明るさを補正することができます。

WDR：画面全体に対して明るさが最適になるように調整します。

逆光補正1：画面中心部、および下部の明るさが最適になるように調整します。

逆光補正2：画面下部から上方向に、画面全体の2/3程度の範囲に対して、明るさが最適になるように調整します。

逆光補正3：画面中心部の明るさが最適になるように調整します。

お知らせ

- 「（7）シャッター速度」が「AE」の場合のみ、WDRモードは有効となります。

（14）［設定］ボタン

設定内容がPTZカメラに設定されます。

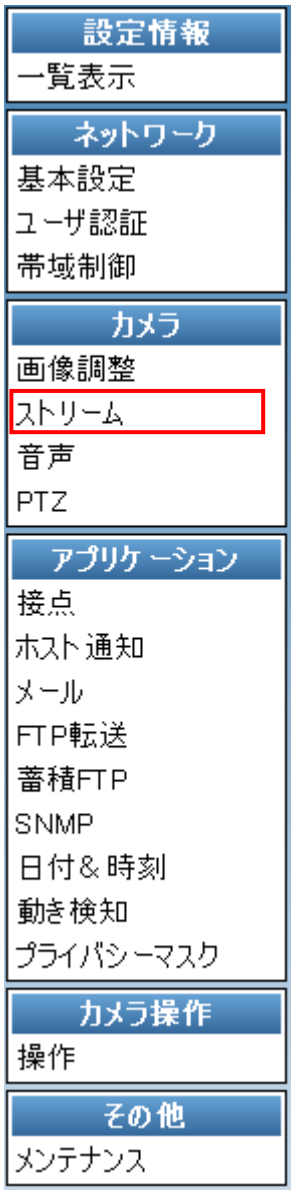
お知らせ

- オートパンやオートチルト、ツアーなどのオート動作中に設定すると、動作が停止します。

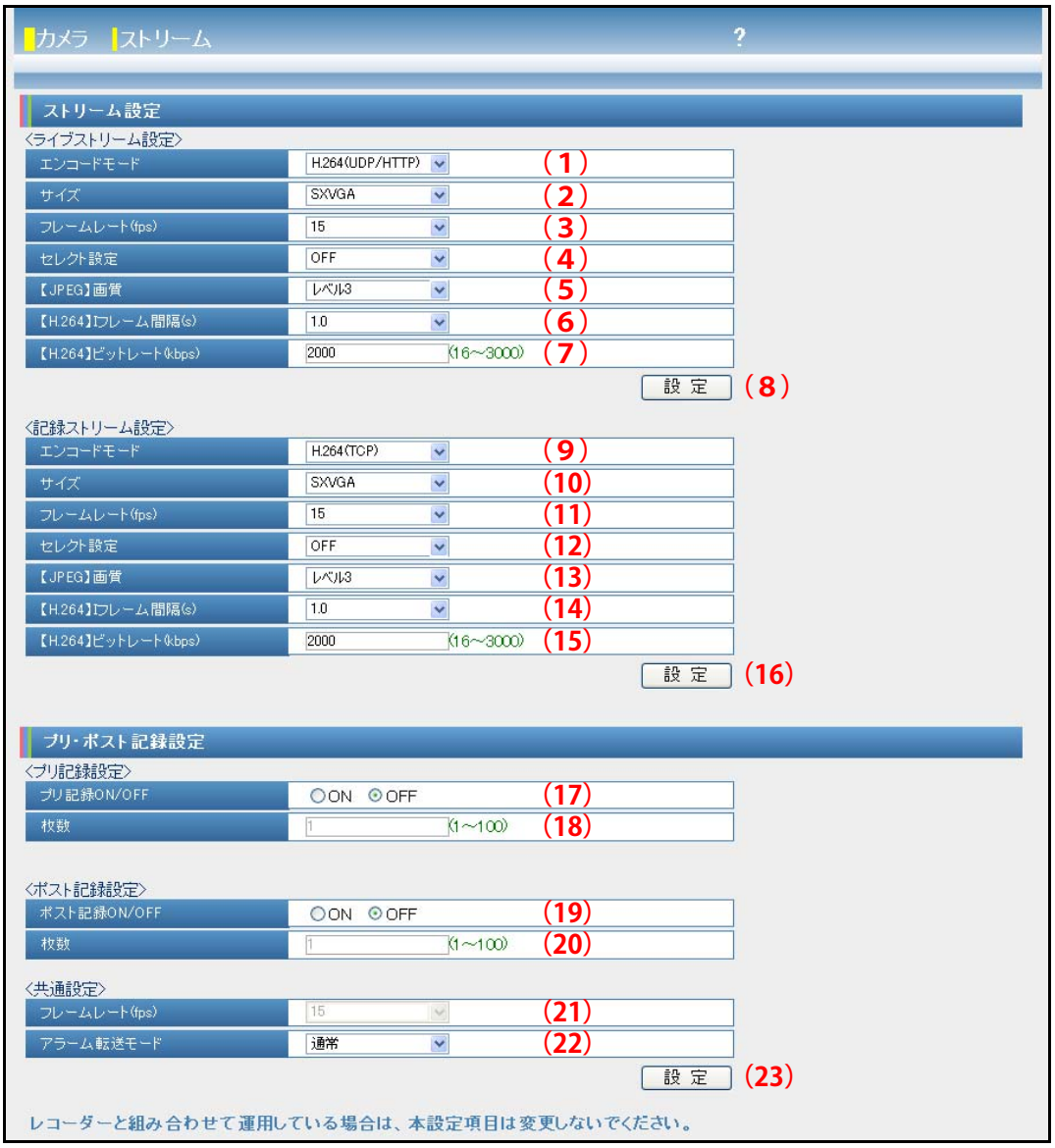
映像配信を設定する

操作

「カメラ」の「ストリーム」メニューをクリックすると、PTZカメラから配信される映像ストリームの設定をすることができます。



設定項目



■ご注意■

- **PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせて使用する場合には、本設定項目は変更しないでください。**
- **日立ハイブリッドレコーダー以外の機器と接続して使用する場合には､本設定項目は保持されません。PTZカメラの電源を切ったり、再起動した場合には、各設定項目を確認してからご使用ください。**
- **エンコードモード／サイズ／フレームレートなどを、データ量が大きく高画質な配信条件に設定すると、PTZカメラの操作性などが極端に悪くなることがあります。**

「ストリーム」メニューでは、以下の項目を設定できます。

1．ストリーム設定（➔P.49）

2．プリ・ポスト記録設定（➔P.53）

1．ストリーム設定

ライブストリーム設定

（1）エンコードモード

設定値：H.264（UDP／HTTP）（初期値）／JPEG（HTTP）

配信する映像の圧縮方式を選択できます。

H.264は少ないデータ量で動画を効率よく伝送できる動画圧縮規格です。情報量の多いメガピクセル対応カメラの映像を配信する場合や、動きの少ない動画を配信する場合に適しています。

JPEGは静止画圧縮規格です。静止画像の画質を重視する場合や、動きの多い動画を配信する場合に適しています。

（2）サイズ

設定値：SXVGA（初期値）／D1／H-D1／VGA／H-VGA／Q-VGA／SIF

・SXVGA：1280×960
・D1：704×480
・H-D1：704×240
・VGA：640×480
・H-VGA：640×240
・Q-VGA：320×240
・SIF：352×240

配信する圧縮映像の解像度を選択できます。

解像度が大きいほど、鮮明な映像を配信できますが、その分データ量が多くなります。

解像度が小さいほど、データ量が少ない映像を配信できますが、その分映像は粗くなります。

（3）フレームレート（fps）

設定値：0.1／0.2／0.5／0.8／1／1.5／2／3／4／5／6／7／7.5／8／10／12／15（初期値）

配信する圧縮映像のフレームレートを選択できます。フレームレートは、1秒間に何枚の映像を配信するかを指します。たとえば、「0.1」は10秒に1枚の映像を配信し、「15」は1秒に15枚の映像を配信します。

数字が小さいほど映像の1枚1枚の間隔は長くなり、大きいほど間隔は短くなります。

お知らせ

- **「（1）エンコードモード」が「H.264」のときは、0.1／0.2は選択できません。**

（4）セレクト設定

設定値：OFF（初期値）／1～10

「**OFF**」の場合：【H.264】ビットレートおよび【H.264】Iフレーム間隔、【JPEG】画質を個別に設定します。

「**1～10**」の場合：セレクト設定値が大きいほど高画質の設定となります。

① 「（1）エンコードモード」が**H.264**のとき：
【H.264】ビットレートおよび【H.264】Iフレーム間隔が、サイズ／フレームレート／セレクト設定の値により適切なプリセット値に設定されます。

② 「（1）エンコードモード」が**JPEG**のとき：
【JPEG】画質がセレクト設定の値より適切なプリセット値に設定されます。

お知らせ

- 「（4）セレクト設定」で設定された値を個別に変更することもできます。
- 【H.264】ビットレート、【H.264】Iフレーム間隔、【JPEG】画質を個別に変更すると、セレクト設定は「OFF」になります。また、他の画面に移動して再びストリーム画面を開いた場合もセレクト設定は「OFF」になります。

（5）【JPEG】画質

設定値：レベル1／レベル2／レベル3（初期値）／レベル4／レベル5

配信する圧縮映像の画質を選択できます。

レベルが大きいほど、高画質な映像を配信できますが、その分データ量が多くなります。

レベルが小さいほど、データ量が少ない映像を配信できますが、その分低画質な映像になります。

お知らせ

- 「（1）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。

（6）【H.264】Iフレーム間隔（s）

設定値：0.5／1.0（初期値）／2.0／3.0／4.0／5.0

配信する圧縮映像のIフレーム間隔を選択できます。

間隔が短いほど、動きの多い映像を鮮明に配信できますが、その分データ量は多くなります。

間隔が長いほど、データ量は少なくなりますが、その分動きの多い映像は粗くなります。

お知らせ

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- H.264はIフレーム（1枚でも伸張可能でデータ量は多い映像）と、Pフレーム（Iフレームとの差分のため、1枚では伸張不可能でデータ量は少ない映像）という2種類のデータで構成されています。このIフレームがどれくらいの間隔で出現するかを設定します。

（7）【H.264】ビットレート（kbps）

設定値：16～2000（初期値）～3000
配信する圧縮映像のビットレートを選択できます。
数字が大きいほど、映像は鮮明になりますが、その分データ量は多くなります。
数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分映像は粗くなります。

お知らせ

- 「（1）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- ビットレートは、1秒間のデータ量を示します。1秒間のデータ量がこの設定値に収まるように制御します。

（8）［設定］ボタン

（1）～（7）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

記録ストリーム設定

（9）エンコードモード

設定値：H.264（TCP）（初期値）／JPEG（HTTP）
配信する映像の圧縮方式を選択できます。
「H.264」は少ないデータ量で動画を効率よく伝送できる動画圧縮規格です。情報量の多いメガピクセル対応カメラの映像を配信する場合や、動きの少ない動画を配信する場合に適しています。
「JPEG」は静止画圧縮規格です。静止画像の画質を重視する場合や、動きの多い動画を配信する場合に適しています。

（10）サイズ

設定値：SXVGA（初期値）／D1／H-D1／VGA／H-VGA／Q-VGA／SIF
・SXVGA：1280×960
・D1　　：704×480
・H-D1　：704×240
・VGA　　：640×480
・H-VGA　：640×240
・Q-VGA　：320×240
・SIF　　：352×240
配信する圧縮映像の解像度を選択できます。
解像度が大きいほど、鮮明な映像を配信できますが、その分データ量が多くなります。
解像度が小さいほど、データ量が少ない映像を配信できますが、その分映像は粗くなります。

（11）フレームレート（fps）

設定値：0.1／0.2／0.5／0.8／1／1.5／2／3／4／5／6／7／7.5／8／10／12／15（初期値）
配信する圧縮映像のフレームレートを選択できます。フレームレートは、1秒間に何枚の映像を配信するかを指します。たとえば、「0.1」は10秒に1枚の映像を配信し、「15」は1秒に15枚の映像を配信します。
数字が小さいほど映像の1枚1枚の間隔は長くなり、大きいほど間隔は短くなります。

お知らせ

- 「（9）エンコードモード」が「H.264」のときは、0.1／0.2は選択できません。

（12）セレクト設定

設定値：OFF（初期値）／1～10
「**OFF**」の場合：【H.264】ビットレートおよび【H.264】Iフレーム間隔、【JPEG】画質を個別に設定します。
「**1**」～「**10**」の場合：セレクト設定値が大きいほど高画質の設定となります。

① 「（9）エンコードモード」が**H.264**のとき：
【H.264】ビットレートおよび【H.264】Iフレーム間隔が、サイズ／フレームレート／セレクト設定の値により適切なプリセット値に設定されます。

② 「（9）エンコードモード」が**JPEG**のとき：
【JPEG】画質がセレクト設定の値より適切なプリセット値に設定されます。

お知らせ

- 「（12）セレクト設定」で設定された値を個別に変更することもできます。
- 【H.264】ビットレート、【H.264】Iフレーム間隔、【JPEG】画質を個別に変更すると、セレクト設定は「OFF」になります。また、他の画面に移動して再びストリーム画面を開いた場合もセレクト設定は「OFF」になります。

（13）【JPEG】画質

設定値：レベル1／レベル2／レベル3（初期値）／レベル4／レベル5
配信する圧縮映像の画質を選択できます。
レベルが大きいほど、高画質な映像を配信できますが、その分データ量が多くなります。
レベルが小さいほど、データ量が少ない映像を配信できますが、その分低画質な映像になります。

（14）【H.264】Iフレーム間隔（s）

設定値：0.5／1.0（初期値）／2.0／3.0／4.0／5.0
配信する圧縮映像のIフレーム間隔を選択できます。
間隔が短いほど、動きの多い映像を鮮明に配信できますが、その分データ量は多くなります。
間隔が長いほど、データ量は少なくなりますが、その分動きの多い映像は粗くなります。

お知らせ

- 「（9）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- H.264はIフレーム（1枚でも伸張可能でデータ量は多い映像）と、Pフレーム（Iフレームとの差分のため、1枚では伸張不可能でデータ量は少ない映像）という2種類のデータで構成されています。このIフレームがどれくらいの間隔で出現するかを設定します。

（15）【H.264】ビットレート（kbps）

設定値：16～2000（初期値）～3000

配信する圧縮映像のビットレートを選択できます。

数字が大きいほど、映像は鮮明になりますが、その分データ量は多くなります。

数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分映像は粗くなります。

お知らせ

- 「（9）エンコードモード」が「H.264」のとき有効な設定です。
- ビットレートは、1秒間のデータ量を示します。1秒間のデータ量がこの設定値に収まるように制御します。

（16）［設定］ボタン

（9）～（15）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

2．プリ・ポスト記録設定

プリ記録設定

（17）プリ記録 ON/OFF

設定値：ON／OFF（初期値）

プリアラーム用の圧縮映像を内部メモリに保存するかどうかを選択できます。

お知らせ

- 「（9）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。
- 本項目が「ON」の場合のみ、以降の「（18）枚数」の設定ができます。

（18）枚数

設定値：1（初期値）～100

プリアラーム用の圧縮映像の最大保存枚数を設定できます。

お知らせ

- 「（9）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。
- 「記録ストリーム設定」（➔P.51）で、データ量が大きく高画質となる配信条件が設定されている場合、指定した枚数をすべて転送できないことがあります。

ポスト記録設定

（19）ポスト記録 ON/OFF

設定値：ON／OFF（初期値）

ポストアラーム用の圧縮映像を内部メモリに保存するかどうかを選択できます。

お知らせ

- 「（9）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。
- 本項目が「ON」の場合のみ、以降の「（20）枚数」の設定ができます。

（20）枚数

設定値： 1（初期値）～100

ポストアラーム用の圧縮映像の最大保存枚数を設定できます。

お知らせ

- 「（9）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。

共通設定

（21）フレームレート（fps）

設定値：0.1／0.2／0.5／1／2／3／5／6／10／15（初期値）

圧縮映像のフレームレートを選択できます。この映像は「プリ記録設定」や「ポスト記録設定」の「枚数」で設定した枚数分が内部メモリに記録され、アラーム発生時に接続機器に転送されます。

お知らせ

- 「（9）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。
- 「記録ストリーム設定」の「（11）フレームレート」（➔P.52）より大きいフレームレートは設定できません。

（22）アラーム転送モード

設定値： 通常（初期値）／マニュアル／延長

「通常」は、アラーム発生時にプリ記録設定／ポスト記録設定で指定した枚数分の画像を転送します。

「マニュアル」は、アラーム発生期間中の画像を指定フレームレートで転送します。

「延長」は、アラーム発生期間中の画像を指定フレームレートで記録し、アラームが終了した後にポスト記録枚数分転送します。

お知らせ

- 「（9）エンコードモード」が「JPEG」のとき有効な設定です。

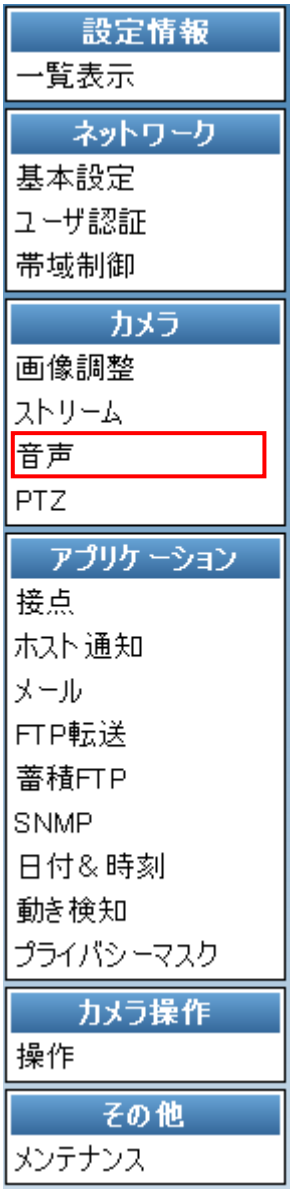
（23）［設定］ボタン

（17）～（22）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

音声配信を設定する

操作

「カメラ」の「音声」メニューをクリックすると、PTZカメラから配信される音声ストリームの設定ができます。



設定項目

■ご注意■

- **PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせて使用する場合には、本設定項目は変更しないでください。**
- **日立ハイブリッドレコーダー以外の機器と接続して使用する場合には、本設定項目は保持されません。PTZカメラの電源を切ったり、再起動した場合には、各設定項目を確認してからご使用ください。**

音声設定

（1）音声圧縮モード

設定値：MP_MODE（初期値）／G726_MODE
MP_MODE：MP2（MPEG Audio Layer-2）
G726_MODE：G.726
配信する音声の圧縮方式を選択できます。
MP2は高音質で音声を配信できますが、その分データ量が多くなります。
G.726は少ないデータ量で音声を配信できますが、その分音質は低くなります。

（2）音声入力音量

設定値：LOW／MID／HIGH（初期値）
入力する音声の音量を選択します。
「LOW」は、入力する音声信号をそのまま圧縮します。「MID」、「HIGH」の順で、入力する音声信号を増幅してから圧縮します。

（3）【G726】音声ビットレート（kbps）

設定値：16／24／32（初期値）

配信する圧縮音声のビットレートを選択できます。

数字が大きいほど、高音質な音声を配信できますが、その分データ量は多くなります。

数字が小さいほど、データ量は少なくなりますが、その分音質は低くなります。

お知らせ

- **「（1）音声圧縮モード」が「G726_MODE」のとき有効な設定です。**

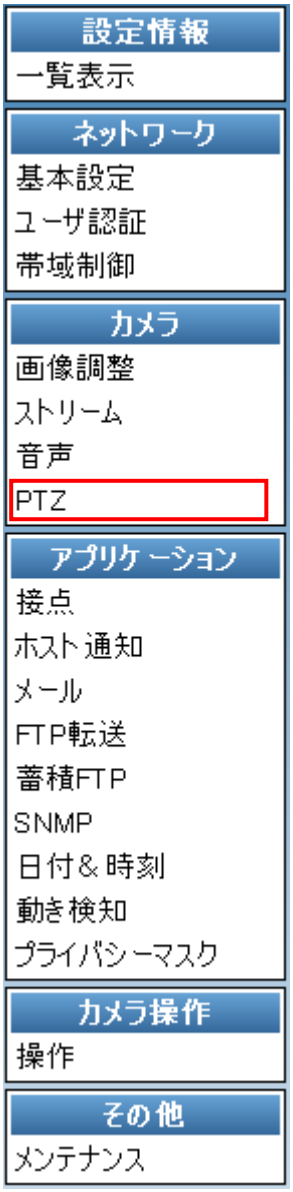
（4）［設定］ボタン

（1）～（3）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

PTZ（パン・チルト・ズーム）を設定する

操作

「カメラ」の「PTZ」をクリックすると、PTZ（パン・チルト・ズーム）の設定ができます。



お知らせ

- パンとは、カメラが左右方向に旋回する機能です。
- チルトは、カメラが上下方向に旋回する機能です。
- ズームは、カメラの倍率を変更する機能です。光学ズームおよび電子デジタルズームの倍率設定ができます。

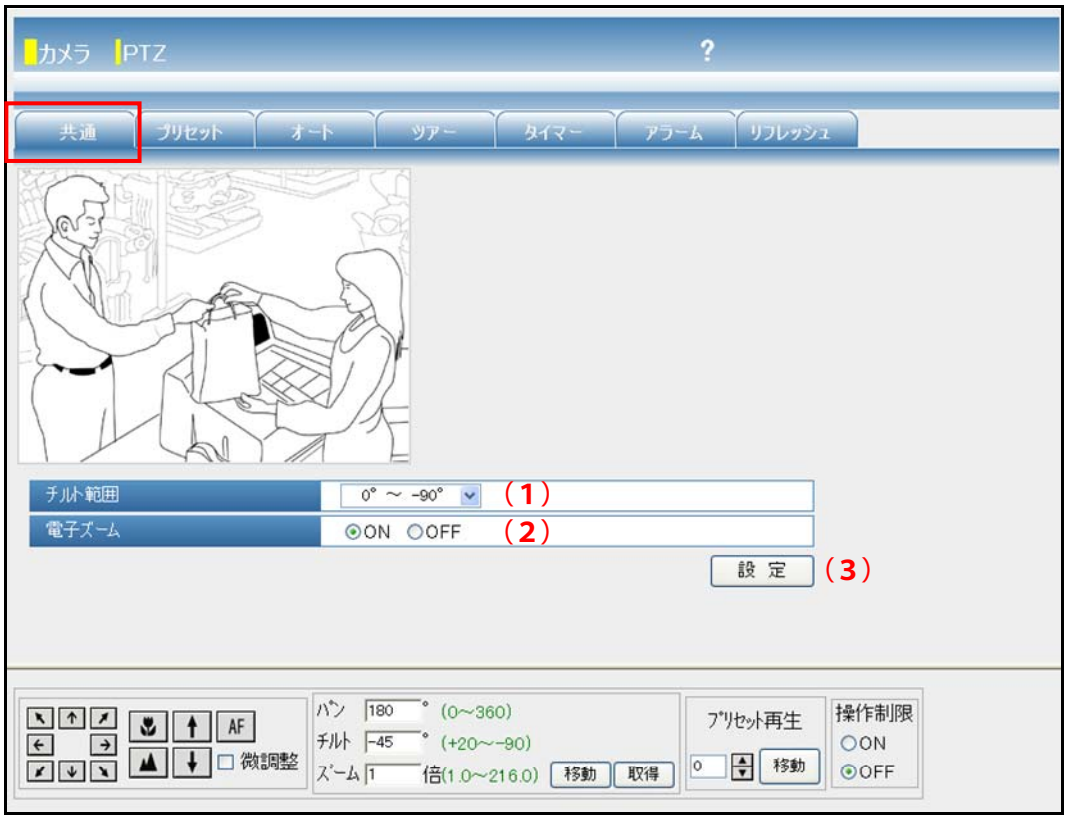
設定項目

「PTZ」メニューには、機能ごとに７種類のタブがあります。
タブを切り換えて、以下の項目を設定できます。

お知らせ

- 「PTZ」メニューでの操作中、カメラの位置や角度などを確認するには、各タブの最下部に表示されるライブ映像操作パネルを使用してください。操作方法については、「**3．ライブ映像操作パネル**」（➔P.15）をご覧ください。

1．［共通］



（1）チルト範囲

設定値：+20°～-90°（初期値）／0°～-90°／+20°～-200°／0°～-180°

カメラのチルト（縦）方向の旋回角度限界を設定します。

ケラレ（傷害物などによる映像の欠け）が発生する場合は、チルト範囲を「0°～-90°」、または「0°～-180°」に設定してください。

お知らせ

- **チルト範囲を設定するときに現在の位置などを確認するには、ライブ映像操作パネル（➔P.15）を使用してください。**
- **チルトが可能な角度は、ここで設定した範囲内となります。**
- **現在の角度が範囲外となるチルト範囲を設定した場合、設定範囲に収まるまでは、設定範囲の方向にのみ角度を変えることができます。**

  例： 現在のチルト角度が「-180°」で、「+20°～-90°」に設定した場合

  ・-180°よりも小さい方向（-200°）への角度変更はできません。

  ・-180°よりも大きい方向への角度変更はできます。
  ただし、たとえば160°に変更後は、-160°よりも小さい方向へは戻せません。設定範囲（この例では+20°～-90°）に収まるまで同様の動作となります。
- **プライバシーマスク（➔P.107）を設定すると、チルト範囲は自動的に「0°～-90°」に変更され、「0°～-90°」以外を設定できなくなります。**

（2）電子ズーム

設定値：ON（初期値）／OFF

カメラの電子ズーム機能を使用するかどうかを設定します。

「OFF」に設定すると、電子ズームが動作しなくなります。

お知らせ

- **電子ズームが設定されている状態で「OFF」に切り換えると、電子ズームが無効状態となり、光学18倍の位置に補正されます。再度「ON」に切り換えても元の状態には戻りません。**

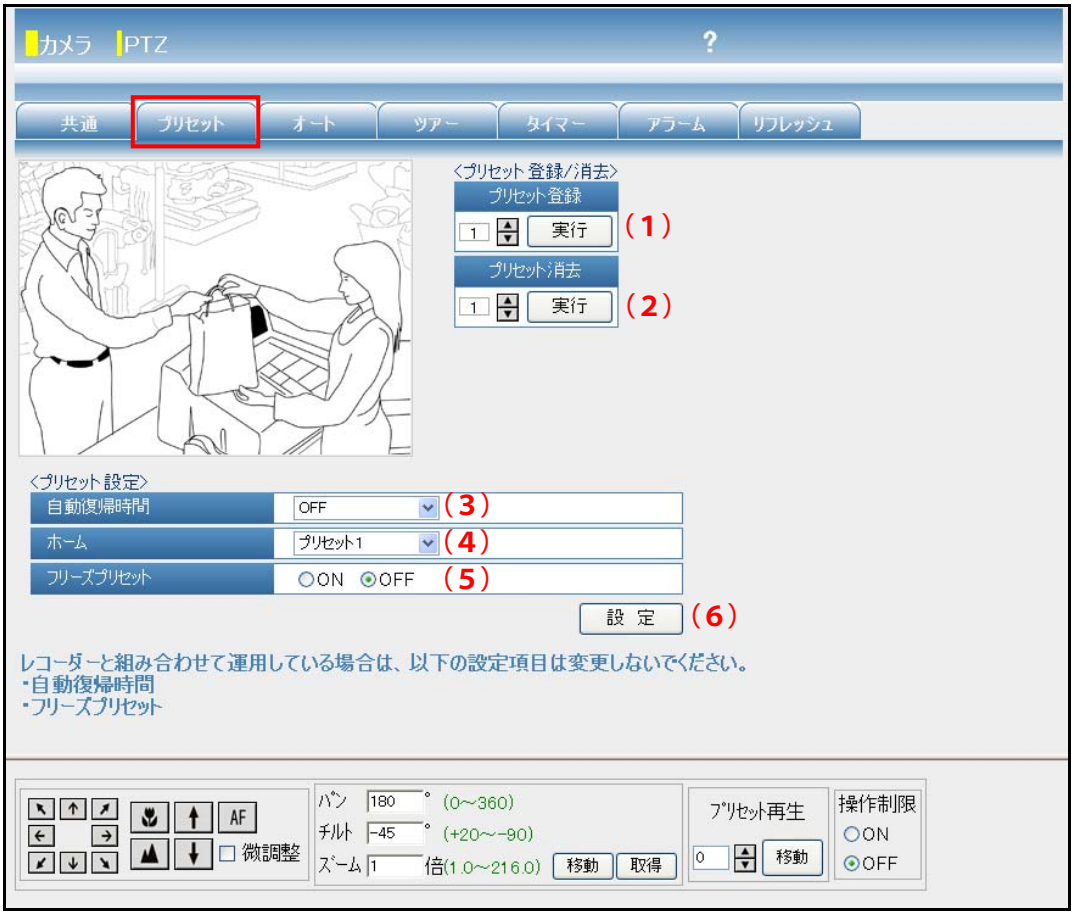
（3）［設定］ボタン

（1）～（2）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

お知らせ

- **オートパンやオートチルト、ツアーなどのオート動作中に設定すると、動作が停止します。**

2．［プリセット］



■ご注意■

PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせてご使用されている場合には、以下の設定項目は変更しないでください。

自動復帰時間／フリーズプリセット

プリセット登録/消去

お知らせ

- プリセットは、任意のカメラ位置（パン・チルト・ズーム）を登録する機能です。最大64まで登録することができます。
- 登録したプリセットの動作を確認するには、下部のライブ映像操作パネルで、プリセット番号を指定してプリセット再生（➔P.17）をしてください。
- 画面の「プリセット登録」欄でプリセット番号を指定して［実行］をクリックすると、現在のカメラ位置（パン・チルト・ズーム、フォーカスの状態）が指定した番号で登録されます。
- カメラ位置を変更するには、ライブ映像操作パネル（➔P.15）を使用してください。

（1）プリセット登録

設定値：1（初期値）～64

プリセット番号を指定して［実行］をクリックすると、現在のカメラ位置が指定したプリセット番号に登録されます。

お知らせ

- 電子ズーム位置（18倍～216倍）でプリセットを登録すると、光学ズーム位置の望遠端（18倍）に設定されます。

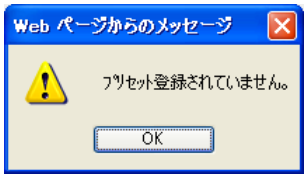
（2）プリセット消去

設定値：1（初期値）～64

登録されているプリセット番号のみ削除できます。プリセット番号を指定して［実行］をクリックします。

お知らせ

- 未登録番号選択時にはエラーとなり、「プリセット登録されていません。」とメッセージが表示されます。



プリセット設定

（3）自動復帰時間

設定値：OFF（初期値）／10秒／20秒／30秒／40秒／50秒／60秒／70秒／80秒／90秒

カメラの自動復帰時間を設定します。

設定した自動復帰時間内にカメラの操作が行われなかった場合、「（4）ホーム」で指定した位置にPTZカメラが戻ります。

お知らせ

- 各種設定を変更する場合は、自動復帰時間を「OFF」にしてください。

（4）ホーム

設定値：プリセット1（初期値）／プリセット2／オートパン／ツアー1／オートチルト／タイマースタンバイ／アラームスタンバイ

PTZカメラのホーム設定を行います。

プリセット再生（➔P.17）でポジション番号「0」を指定した場合／自動復帰時間経過時／電源投入時に行う動作を選択します。

お知らせ

- 「プリセット1」「プリセット2」を設定する場合は、プリセットを登録してください。プリセットが登録されていないと、PTZカメラのホーム設定が無効となり、動作しません。

（5）フリーズプリセット

設定値：ON／OFF（初期値）

カメラのフリーズプリセットの有効／無効を設定します。

「ON」は、フリーズプリセットが有効になります。フリーズプリセットが有効になると、プリセット移動中のカメラの映像が、移動前の映像のままフリーズした状態となります。

お知らせ

- フリーズプリセットは、プリセット再生中およびツアー動作中の映像は表示せず、移動前の映像をそのまま表示する機能です。
- フリーズプリセットは、プリセット再生中およびツアー動作中のみです。ライブ映像操作パネル（➔P.15）によって手動でカメラを移動しているときは無効となります。

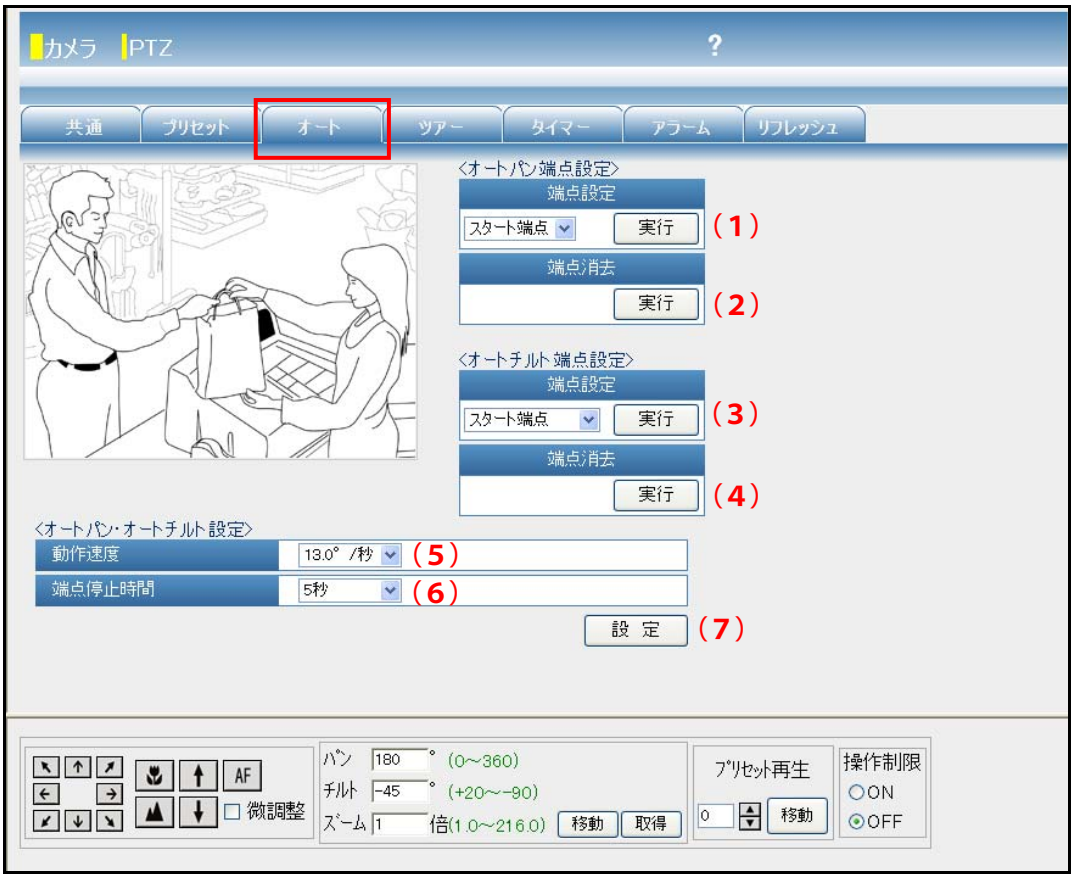
（6）［設定］ボタン

（3）～（5）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

お知らせ

- オートパンやオートチルト、ツアーなどのオート動作中に設定すると、動作が停止します。

3．［オート］



オートパン端点設定

お知らせ

- パンは、カメラが左右方向に旋回する機能です。オートパンは、開始位置と終了位置の間をカメラが往復します。

（1）端点設定

設定値：スタート端点／エンド端点

PTZカメラのオートパン端点位置を設定します。

「スタート端点」は、カメラの現在位置をオートパン端点の開始位置として設定します。

「エンド端点」は、カメラの現在位置をオートパン端点の終了位置として設定します。

お知らせ

- スタート端点／エンド端点に同じ位置を設定すると動作しません。
- 電子ズーム（➔P. 60）の状態で端点を設定すると、電子ズームが無効になり、設定した位置が登録されます。
- チルト位置は、スタート端点／エンド端点共通で、後から設定された位置に従います。
- ズーム位置は、スタート端点／エンド端点共通で、後から設定された位置に従います。

（2）端点消去

設定済みのオートパン端点を消去します。

お知らせ

- オートパン端点を消去すると、端点設定はデフォルト値（スタート：135°／エンド：225°／チルト：-45°）に戻ります。
- 消去対象となる端点は、「スタート端点」「エンド端点」の両端点となります。

オートチルト端点設定

お知らせ

- チルトは、カメラが上下方向に旋回する機能です。オートチルトは、スタート端点とエンド端点の間を制御時ズーム点で指定したズーム倍率でPTZカメラが往復します。

（3）端点設定

設定値：スタート端点／制御時ズーム点／エンド端点

PTZカメラのオートチルト端点位置を設定します。

「スタート端点」は、カメラの現在位置をオートチルト端点の開始位置として設定します。

「エンド端点」は、カメラの現在位置をオートチルト端点の終了位置として設定します。

「制御時ズーム点」は、カメラの現在のズーム倍率をオートチルト実行時のズーム倍率として設定します。

お知らせ

- スタート端点／エンド端点に同じ位置を設定すると動作しません。
- 電子ズーム（➔P. 60）の状態で端点を設定すると、電子ズームが無効になり、設定した位置が登録されます。
- パン位置は、スタート端点／エンド端点共通で、後から設定された位置に従います。
- ズーム位置は、スタート端点／制御時ズーム点／エンド端点のそれぞれについて設定します。

（4）端点消去

設定済みのオートチルト端点を消去します。

お知らせ

- オートチルト端点を消去すると、端点設定はデフォルト値（スタート：0°／エンド：45°／パン：180°）に戻ります。
- 消去対象となる端点は、「スタート端点」「制御時ズーム点」「エンド端点」の端点となります。

オートパン・オートチルト設定

（5）動作速度

設定値：3.5°/秒／6.5°/秒／9.0°/秒／13.0°/秒（初期値）／15.5°/秒／18.0°/秒／23.0°/秒
カメラのオートパン／オートチルト時の動作速度（ズームが 1 倍のときの大よその速度）を設定します。
実際の速度は、オートパン／オートチルト時のズーム倍率によって変わります。ズーム倍率が大きいほど、遅くなります。

お知らせ

- 動作速度は、オートパン／オートチルトで共通の設定となります。個別に設定はできません。
- PTZカメラの動作音が気になる場合は、3.5°/秒でお使いください。

（6）端点停止時間

設定値：5秒（初期値）／10秒／20秒／30秒／40秒／50秒／60秒／70秒／80秒／90秒
カメラのオートパン／オートチルトの端点停止時間を設定します。

お知らせ

- 端点停止時間は、オートパン／オートチルトで共通の設定となります。個別に設定はできません。

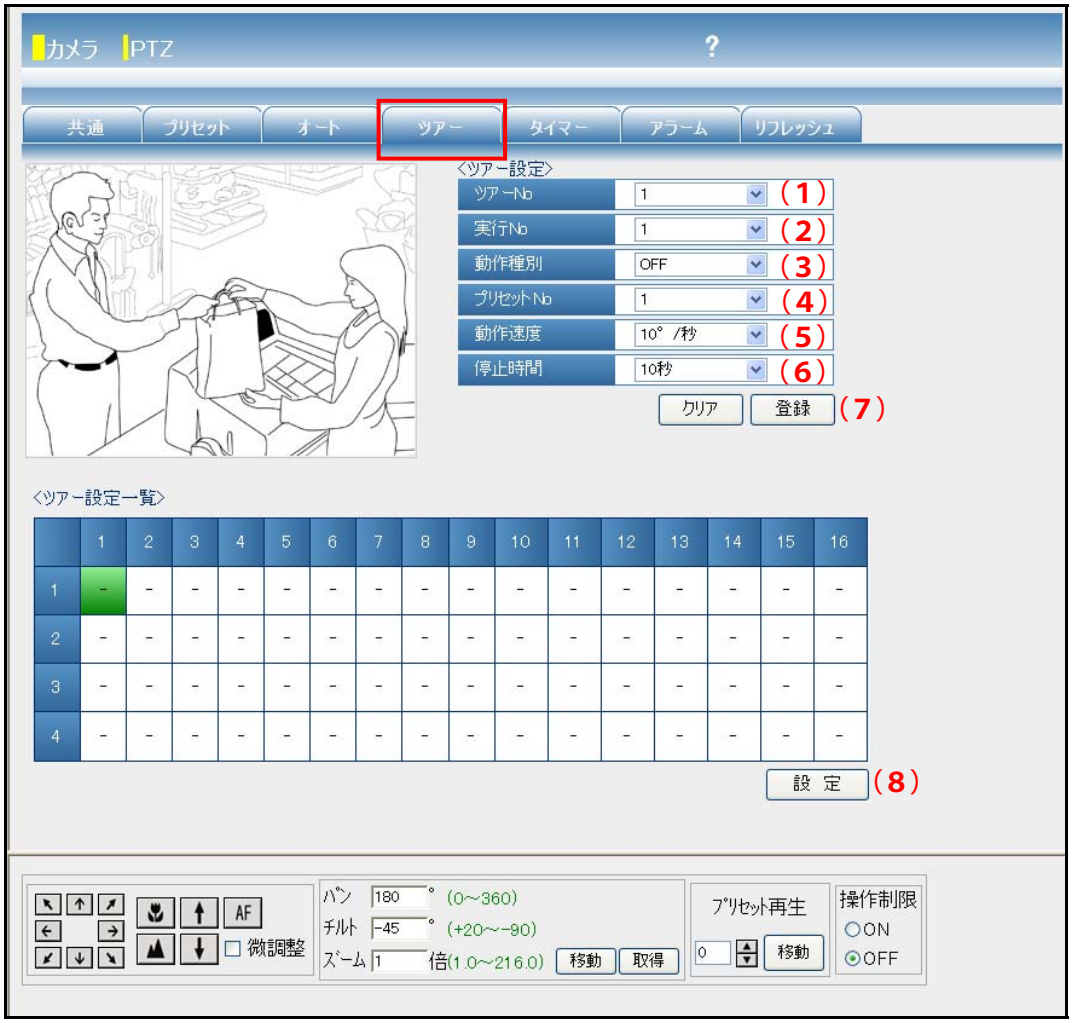
（7）［設定］ボタン

（5）～（6）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

お知らせ

- オートパンやオートチルト、ツアーなどのオート動作中に設定すると、動作が停止します。

4．［ツアー］



お知らせ

- ツアーは、プリセット番号を任意の順番に登録しておき、動作開始時に自動でプリセット再生を行う機能です。ツアー動作時の動作速度・停止時間を設定することができます。
- ツアー動作はループします。

  例：プリセット1⇒プリセット2⇒プリセット3の順番に登録したツアーを開始すると、

  プリセット1位置にカメラ移動 ⇒ プリセット2位置にカメラ移動 ⇒ プリセット3位置にカメラ移動 ⇒ プリセット1位置にカメラ移動 ⇒ ･･･

  という動作となります。

ツアー設定

（1）ツアーNo

設定値：1～4

設定を行うツアーの番号を選択します。

ツアーの番号ごとに、「（2）実行No.」を設定することができます。

（2）実行 No

設定値：1～16

設定を行う実行番号を選択します。

実行番号ごとに、「（3）動作種別」「（4）プリセット番号」「（5）動作速度」「（6）停止時間」を設定することができます。

お知らせ

- **ツアーの登録状況（ツアーNo.／実行No.）は、ツアー設定一覧に表示されます。**

（3）動作種別

設定値：OFF（初期値）／プリセット

プリセットを選択して［登録］ボタンをクリックすると、一覧にプリセット番号が表示されます。

（4）プリセット No

設定値：1～64

ツアー実行時のプリセット番号を設定します。

ツアー実行時、プリセット番号に設定された順番にプリセット再生を行います。

お知らせ

- **登録されていないプリセット番号を選択しても、ツアー実行時にはスキップされます。**
- **プリセットの登録状況を確認するには、下部のライブ映像操作パネルで、プリセット番号を指定してプリセット再生（➔P.17）をしてください。登録されていないプリセット番号の場合は、「プリセット登録されていません」と表示されます。**

（5）動作速度

設定値：10°/秒（初期値）／20°/秒／30°/秒／40°/秒／50°/秒／60°/秒／70°/秒／80°/秒／90°/秒／100°/秒／110°/秒／120°/秒／130°/秒／140°/秒／150°/秒

ツアー実行時の各プリセット再生の動作速度を設定します。

お知らせ

- **ツアーによるプリセット再生時の速度は可変（設定値に従う）ですが、通常のプリセット再生時は固定（最大150°/秒）となります。**
- **PTZカメラの動作音が気になる場合は、「10°/秒」でお使いください。**

（6）停止時間

設定値：10秒（初期値）／20秒／30秒／40秒／50秒／60秒／70秒／80秒／90秒

ツアー実行時の各プリセット再生の停止時間を設定します。

（7）［登録］／［クリア］ボタン

［登録］ボタンをクリックすると、ツアー設定が登録されます。登録したツアー設定は一覧に表示されます。

［クリア］ボタンをクリックすると、ツアー設定の設定値がクリアされます。クリア後に［登録］をクリックすると、内容が消去されます。

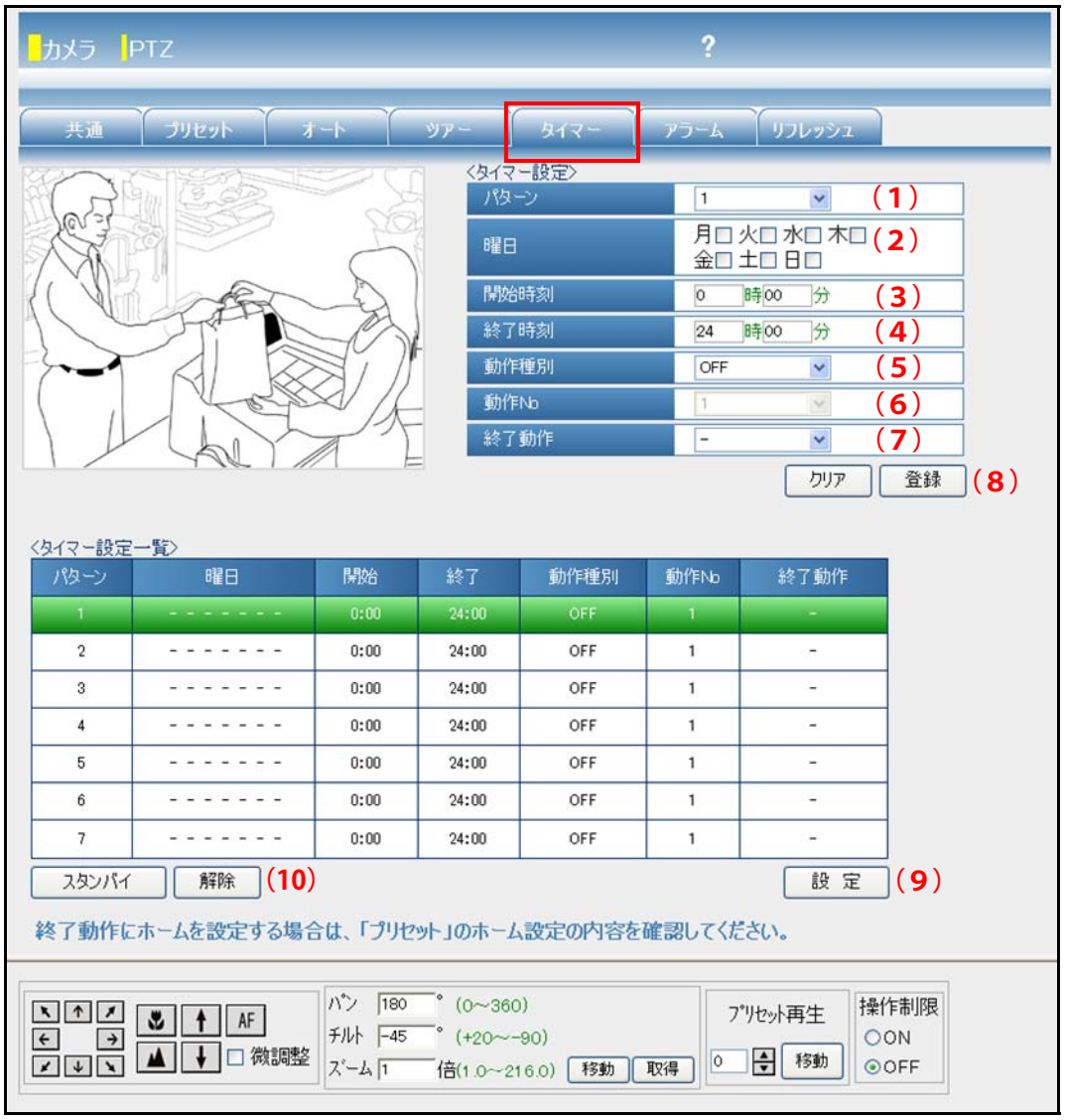
（8）［設定］ボタン

一覧に登録された設定内容がPTZカメラに設定されます。

お知らせ

- オートパンやオートチルト、ツアーなどのオート動作中に設定すると、動作が停止します。

5．［タイマー］


カメラ PTZ
?
共通
プリセット
オート
ツアー
タイマー
アラーム
リフレッシュ
〈タイマー設定〉
パターン 1 （1）
曜日 月□ 火□ 水□ 木□ 金□ 土□ 日□ （2）
開始時刻 0 時 00 分 （3）
終了時刻 24 時 00 分 （4）
動作種別 OFF （5）
動作No 1 （6）
終了動作 - （7）
クリア
登録 （8）
〈タイマー設定一覧〉
パターン 曜日 開始 終了 動作種別 動作No 終了動作
1 - - - - - - - 0:00 24:00 OFF 1 -
2 - - - - - - - 0:00 24:00 OFF 1 -
3 - - - - - - - 0:00 24:00 OFF 1 -
4 - - - - - - - 0:00 24:00 OFF 1 -
5 - - - - - - - 0:00 24:00 OFF 1 -
6 - - - - - - - 0:00 24:00 OFF 1 -
7 - - - - - - - 0:00 24:00 OFF 1 -
スタンバイ
解除 (10)
設 定 （9）
終了動作にホームを設定する場合は、「プリセット」のホーム設定の内容を確認してください。
AF
微調整
パン 180 ° (0~360)
チルト -45 ° (+20~-90)
ズーム 1 倍(1.0~216.0) 移動 取得
プリセット再生
0 移動
操作制限
ON
OFF

■ご注意■

「（7）終了動作」に「ホーム」を設定する場合は、ホームの動作設定（➔P. 62）を確認してください。無効なホーム動作が設定されている場合、終了時刻になってもカメラはホーム位置に戻りません。

お知らせ

- タイマーは、開始・終了時間および動作種別を設定し、カメラを自動的に制御する機能です。

タイマー設定

（1）パターン

設定値：1～7
タイマー設定対象のパターン番号を選択します。
パターンごとに「（2）曜日」「（3）開始時刻」「（4）終了時刻」「（5）動作種別」「（6）動作No」「（7）終了動作」を設定することができます。

（2）曜日

設定値：チェックなし（初期値）／チェックあり
タイマー機能を動作させる曜日にチェックを付けます。
チェックを付けた曜日はタイマー機能が有効になり、チェックを付けていない曜日はタイマー機能が無効になります。

（3）開始時刻

設定値（時）：0（初期値）～23
設定値（分）：00（初期値）～59
タイマー機能を開始させる時刻を設定します。

お知らせ

- ［リフレッシュ］の「（2）補正時刻」（➔P. 76）と同じ時刻を設定することはできません。

（4）終了時刻

設定値（時）：0～24（初期値）
設定値（分）：00（初期値）～59
タイマー機能を終了させる時刻を設定します。

お知らせ

- 「24時00分」以降（例：24時50分）は設定できません。
- 「（3）開始時刻」より前の時刻を設定すると、動作しません。
- ［リフレッシュ］の「（2）補正時刻」（➔P. 76）と同じ時刻を設定することはできません。

（5）動作種別

設定値：OFF（初期値）／プリセット／ツアー／オートパン／オートチルト
カメラの現在時刻が「開始時刻」になったときの動作を設定します。

お知らせ

- タイマー機能を使用する場合は「OFF」以外の値を設定してください。「OFF」では、開始時刻を経過してもカメラは動作しません。

（6）動作 No

設定値：1～64

「（5）動作種別」の設定に合わせて、各種番号を設定します。

動作種別に「プリセット」を選択している場合、プリセット番号を設定します。設定できる範囲は、1～64となります。

動作種別に「ツアー」を選択している場合、ツアー番号を設定します。設定できる範囲は、1～4となります。

お知らせ

- **「（5）動作種別」で「プリセット」または「ツアー」を選択している場合のみ、動作No.を設定します。**

（7）終了動作

設定値：—（初期値）／開始時刻位置／ホーム

カメラの現在時刻が「（4）終了時刻」になったときの動作を設定します。

「—」は、終了時刻になってもカメラが移動しません。

「開始時刻位置」は、開始時刻にカメラを動かす前の位置を復元します（カメラが元の位置に戻ります）。

「ホーム」は、設定済みのホーム位置にPTZカメラが移動します。

お知らせ

- **終了動作に「ホーム」を設定する場合は、ホームの動作設定（➔P. 62）を確認してください。無効なホーム動作が設定されている場合、終了時刻になってもカメラはホーム位置に戻りません。**
- **連続するタイマー動作（パターン）を設定した場合、前のパターンの終了動作が無視されることがあります。**

（8）［登録］／［クリア］ボタン

［登録］ボタンをクリックすると、タイマー設定が登録されます。登録したタイマー設定は一覧に表示されます。

［クリア］ボタンをクリックすると、タイマー設定の設定値がクリアされます。クリア後に［登録］をクリックすると、内容が消去されます。

（9）［設定］ボタン

一覧に登録された設定内容がPTZカメラに設定されます。

お知らせ

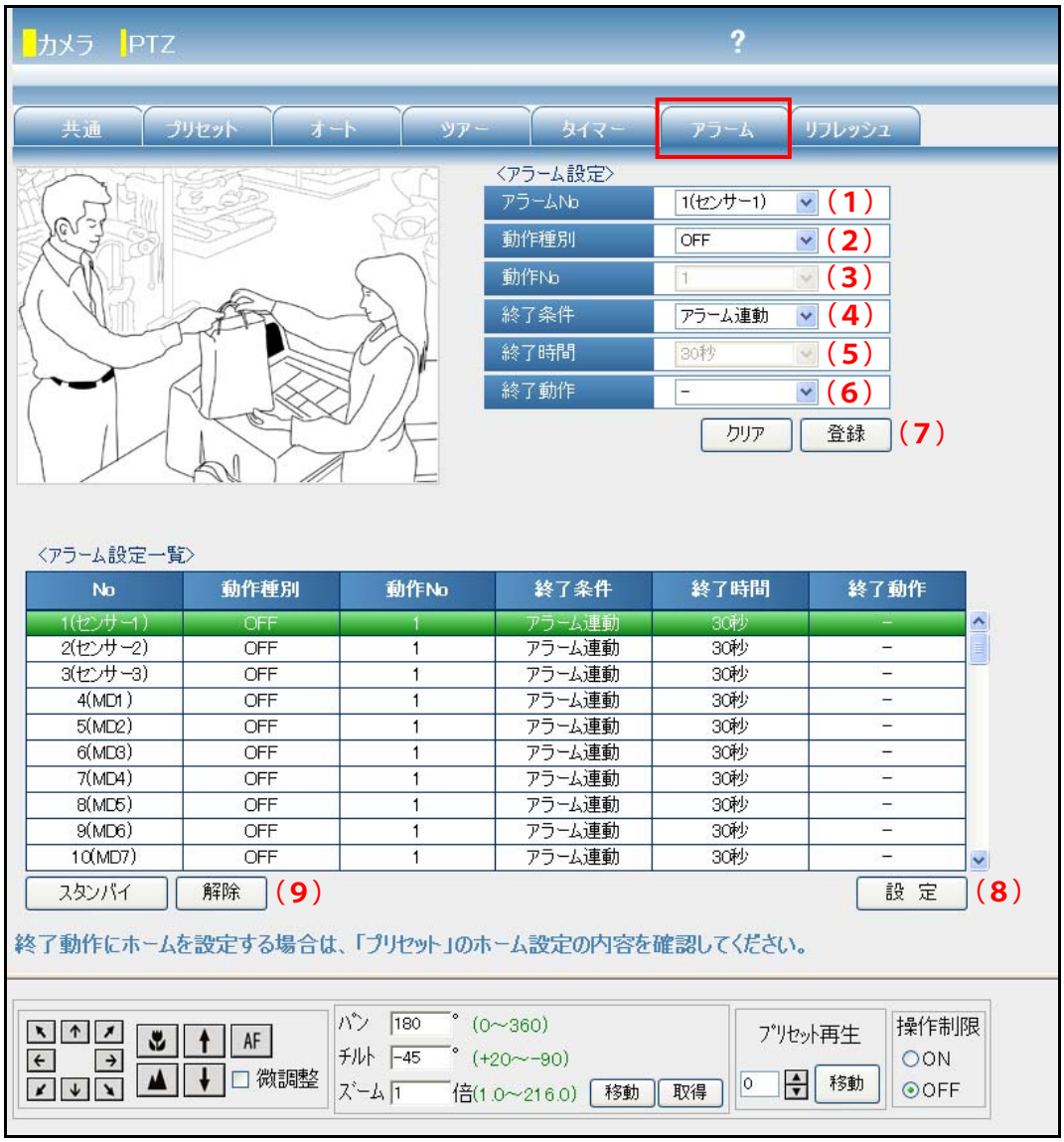
- **オートパンやオートチルト、ツアーなどのオート動作中に設定すると、動作が停止します。**

（10）［スタンバイ］／［解除］ボタン

［スタンバイ］ボタンをクリックすると、タイマー設定が有効になりタイマースタンバイ状態になります。

［解除］ボタンをクリックすると、タイマースタンバイ状態が解除され、タイマー設定が無効になります。

6．[アラーム]



■ご注意■

「(6) 終了動作」に「ホーム」を設定する場合は、ホームの動作設定（➔P.62）を確認してください。無効なホーム動作が設定されている場合、終了時刻になってもカメラはホーム位置に戻りません。

お知らせ

- アラームは、本体の外部センサー（➔P.77 「アラーム端子を設定する」）や動き検知機能（➔P.100 「動き検知を設定する」）に連動して、指定動作（プリセット再生など）を行う機能です。

アラーム設定

（1）アラーム No

設定値：1～67

アラーム設定対象のアラーム番号を選択します。

アラーム番号ごとに「（2）動作種別」「（3）動作No」「（4）終了条件」「（5）終了時刻」「（6）終了動作」を設定することができます。

アラーム入力1（センサー1）の設定を行う場合は、「1」を選択します。（設定「1」～「3」はアラーム入力1～3）

動き検知（MD1）の設定を行う場合は、「4」を選択します。（設定「4」～「67」は動き検知（MD1～64）

（2）動作種別

設定値：OFF（初期値）／プリセット／ツアー／オートパン／オートチルト

アラーム入力や動き検知を検出した際の動作を設定します。

「OFF」を設定すると、アラームや動き検知を検出してもPTZカメラは動作しません。

お知らせ

- **アラーム機能を使用する場合は、「OFF」以外の値を設定してください。**
- **プリセット／ツアー／オートパン／オートチルト（「OFF」以外の動作）を設定するとときは、前もって動作内容を設定してください。（➔P.61 「2．［プリセット］」／P.67 「4．［ツアー］」／P.64 「3．［オート］」）**

（3）動作 No

設定値：1（初期値）～64

「（2）動作種別」の設定に応じた各種番号を設定します。

動作種別に「プリセット」を選択している場合、プリセット番号を設定します。設定できる範囲は、1～64となります。

動作種別に「ツアー」を選択している場合、ツアー番号を設定します。設定できる範囲は、1～4となります。

お知らせ

- **動作種別に「OFF」「オートパン」「オートチルト」を選択している場合、動作番号の設定は不要です。**

（4）終了条件

設定値：アラーム連動（初期値）／時間

アラーム機能を終了する条件を設定します。

「アラーム連動」は、アラーム入力が復旧した時点で、アラーム機能が終了します。

「時間」は、アラーム入力後、「（5）終了時間」に設定された時間が経過すると、アラーム機能が終了します。

（5）終了時間

設定値：30秒（初期値）／1分／2分／3分／4分／5分

「（4）終了条件」に「時間」を設定した場合に、終了までの時間を設定します。

（6）終了動作

設定値：―（初期値）／前回位置／ホーム

アラーム機能終了時の動作を設定します。

「―」は、終了時刻になってもPTZカメラが移動しません。

「前回位置」は、アラームが入力されPTZカメラを動かす前の位置を復元します。（PTZカメラが元の位置に戻ります。）「ホーム」は、設定済みのホーム位置にPTZカメラが移動します。

お知らせ

- **終了動作に「ホーム」を設定する場合は、ホームの動作設定（➔P. 62）を確認してください。ホーム動作として無効な設定がしてある場合、終了時刻になってもカメラはホーム位置に戻りません。**

（7）［登録］／［クリア］ボタン

［登録］ボタンをクリックすると、アラーム設定が登録されます。登録したアラーム設定は一覧に表示されます。

［クリア］ボタンをクリックすると、アラーム設定の設定値がクリアされます。クリア後に［登録］をクリックすると、内容が消去されます。

（8）［設定］ボタン

一覧に登録された設定内容がPTZカメラに設定されます。

お知らせ

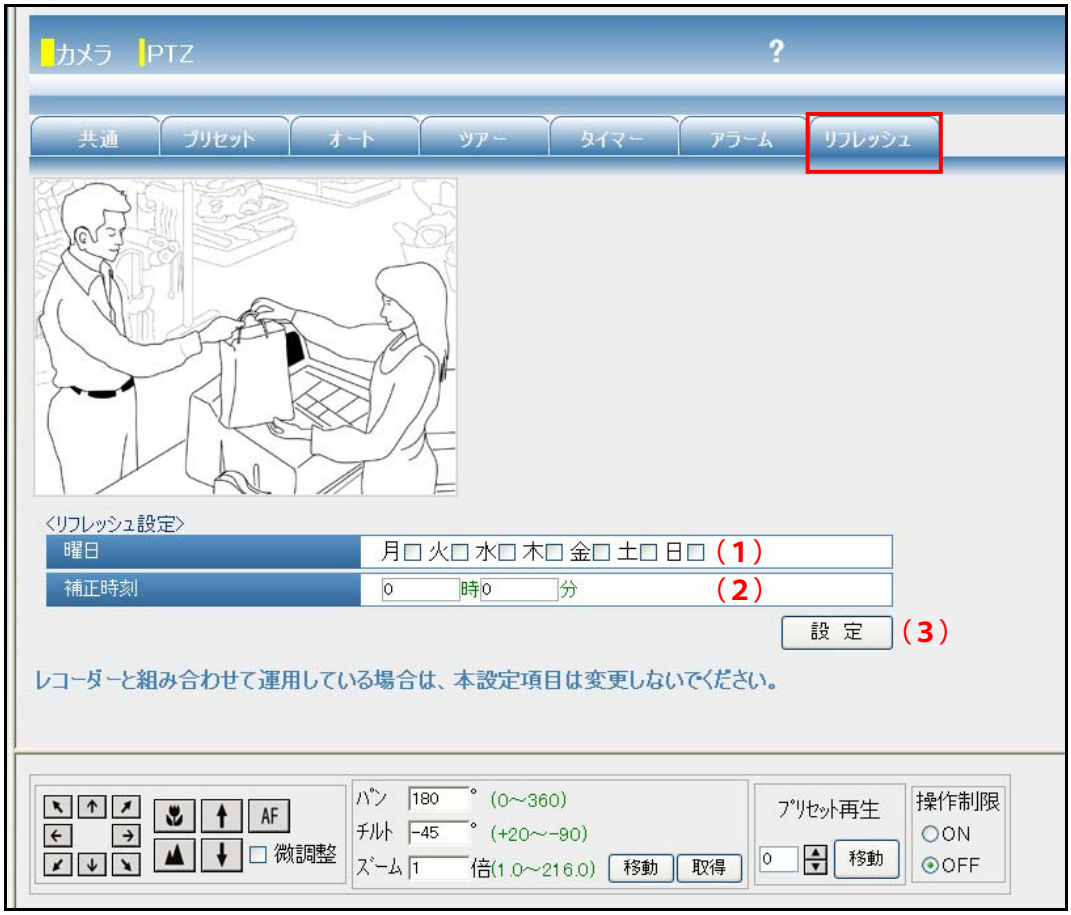
- **オートパンやオートチルト、ツアーなどのオート動作中に設定すると、動作が停止します。**

（9）［スタンバイ］／［解除］ボタン

［スタンバイ］ボタンをクリックすると、アラーム設定が有効になりアラームスタンバイ状態になります。

［解除］ボタンをクリックすると、アラームスタンバイ状態が解除され、アラーム設定が無効になります。

7．［リフレッシュ］



■ご注意■

- **PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせてご使用されている場合には、本設定項目は変更しないでください。**

お知らせ

- リフレッシュは、定期的にポジション補正（イニシャライズ）を実行する機能です。

リフレッシュ設定

（1）曜日

設定値：チェックなし（初期値）／チェックあり

リフレッシュ機能を動作させる曜日にチェックを付けます。

チェックを付けた曜日はリフレッシュ機能が有効になり、チェックを付けていない曜日はリフレッシュ機能が無効になります。

（2）補正時刻

設定値（時）：0（初期値）～23
設定値（分）：00（初期値）～59
リフレッシュ機能を動作させる時刻を設定します。

お知らせ

- **補正時刻に［タイマー］の「（3）開始時刻」／「（4）終了時刻」（➔P. 70）と同じ時刻を設定することはできません。**
- **補正時刻に［タイマー］の「（3）開始時刻」から「（4）終了時刻」までの範囲内の時刻を設定した場合、タイマー機能が停止してしまいます。ただし、次の［タイマー］の「（3）開始時刻」になると、タイマー機能は開始されます。タイマー機能を停止させたくない場合は、［タイマー］と補正時刻を重複しないように設定してください。**

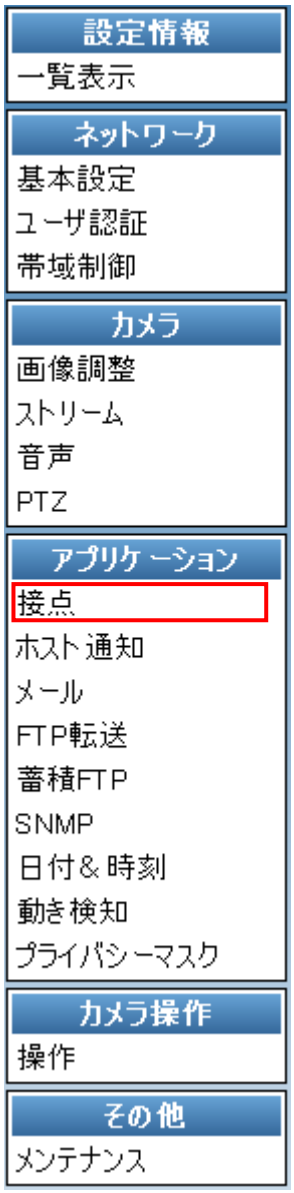
（3）［設定］ボタン

設定内容がPTZカメラに設定されます。

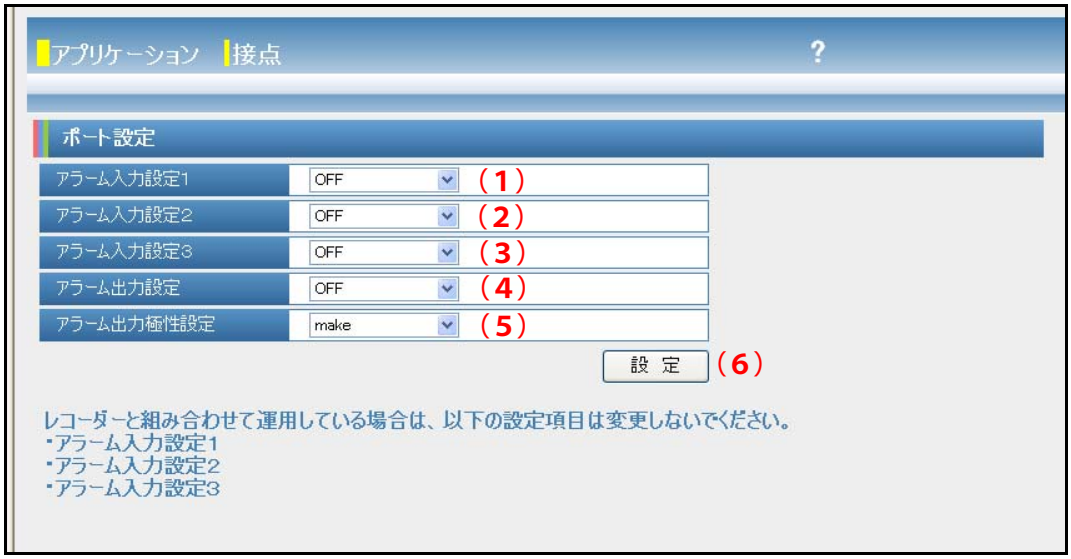
アラーム端子を設定する

操作

「アプリケーション」の「接点」メニューをクリックすると、PTZカメラのアラーム端子の設定ができます。



設定項目



■ご注意■

PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせてご使用されている場合には、以下の設定項目は変更しないでください。

アラーム入力設定１／アラーム入力設定２／アラーム入力設定３

ポート設定

（1）アラーム入力設定１

設定値：OFF（初期値）／make／break

アラーム入力1（接点IN1）の設定を行います。

「OFF」は、端子IN1の状態にかかわらず、アラーム入力として検知しません。

「make」は、端子IN1とGNDが短絡したときに、アラーム入力として検出します。

「break」は、端子IN1とGNDが開放したときに、アラーム入力として検出します。

（2）アラーム入力設定２

設定値：OFF（初期値）／make／break

アラーム入力2（接点IN2）の設定を行います。

「OFF」は、端子IN2の状態にかかわらず、アラーム入力として検知しません。

「make」は、端子IN2とGNDが短絡したときに、アラーム入力として検出します。

「break」は、端子IN2とGNDが開放したときに、アラーム入力として検出します。

（3）アラーム入力設定３

設定値：OFF（初期値）／make／break

アラーム入力3（接点IN3）の設定を行います。

「OFF」は、端子IN3の状態にかかわらず、アラーム入力として検知しません。

「make」は、端子IN3とGNDが短絡したときに、アラーム入力として検出します。

「break」は、端子IN3とGNDが開放したときに、アラーム入力として検出します。

（4）アラーム出力設定

設定値：OFF（初期値）／ON／アラーム入力連動
PTZカメラの接点出力の動作を選択できます。
「OFF」は、状態にかかわらず出力しません。
「ON」は、状態にかかわらず出力します。
「アラーム入力連動」は、アラーム入力が有の場合、出力します。

（5）アラーム出力極性設定

設定値：make（初期値）／break
PTZカメラの接点出力の極性を選択できます。

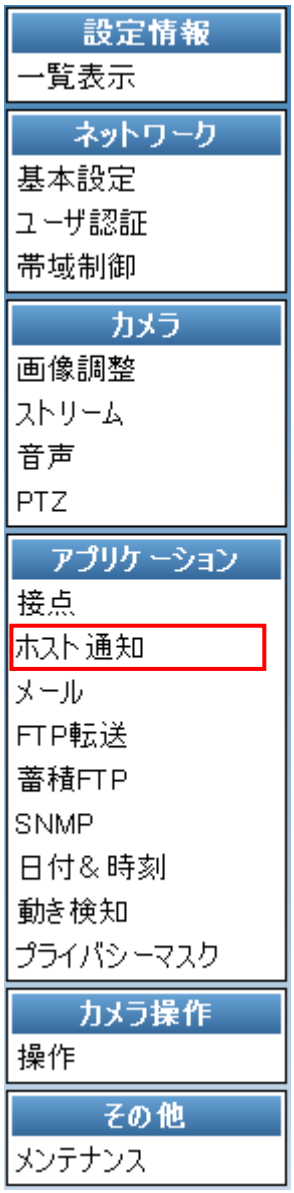
（6）［設定］ボタン

設定内容がPTZカメラに設定されます。

アラーム通知を設定する

操作

「アプリケーション」の「ホスト通知」メニューをクリックすると、PTZカメラからのアラーム通知の設定ができます。



設定項目

■ご注意■

PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせてご使用されている場合には、本設定項目は変更しないでください。

ホスト通知設定

（1）ホスト番号

設定値：1（初期値）～5

PTZカメラのホスト番号を選択できます。

選択したホスト番号ごとに、アラーム通知先の情報を設定できます。

（2）IP アドレス

設定値：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255

PTZカメラのアラーム通知先のIPアドレスを設定できます。

（3）ポート番号

設定値：0～80（初期値）～65535

PTZカメラのアラーム通知先のポート番号を設定できます。

通常は「80」でご使用ください。

（4）アラームリセット

設定値：必要（モーダル）／不要（モードレス）（初期値）

PTZカメラのアラームリセットの要否を選択できます。

「不要」は、アラームを通知したときに、通知先がアラーム通知を受けたかどうかに関わらず、アラームを検知するたびに、通知先にアラームを通知します。

「必要」は、アラームを通知したときに、通知先からアラームリセットを受けるまでの間のアラームを検知しても、通知先にアラームを通知しません。

（5）通知対象

設定値：PC（初期値）／ネットワークデジタルレコーダ

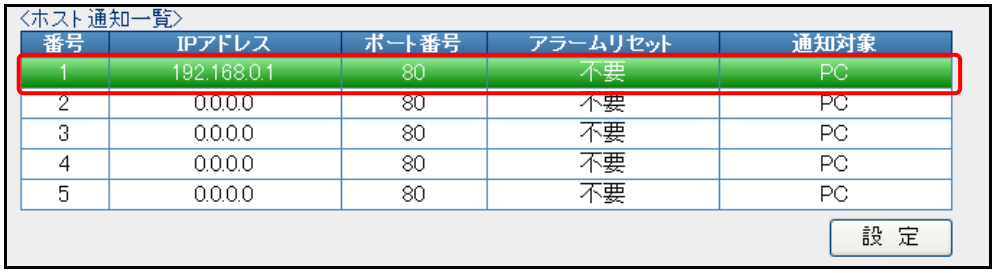
PTZカメラのアラーム通知対象を選択できます。

「PC」は、パソコンや日立ハイブリッドレコーダーに対して、アラームを通知するときに使用します。

「ネットワークデジタルレコーダ」は、日立国際電気製ネットワークデジタルレコーダーに対して、アラームを通知するときに使用します。

（6）［一覧へ登録］ボタン

上記の（1）～（5）を設定後、［一覧へ登録］ボタンをクリックすると、次のように「ホスト通知一覧」に登録されます。



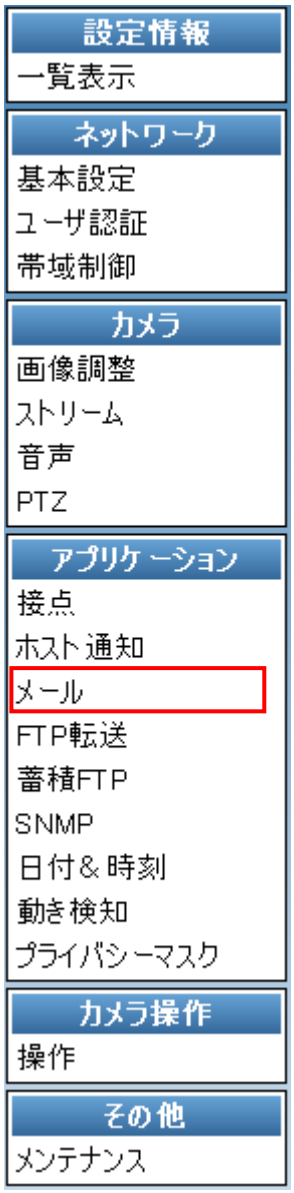
（7）［設定］ボタン

一覧に登録された設定内容がPTZカメラに設定されます。

メール送信を設定する

操作

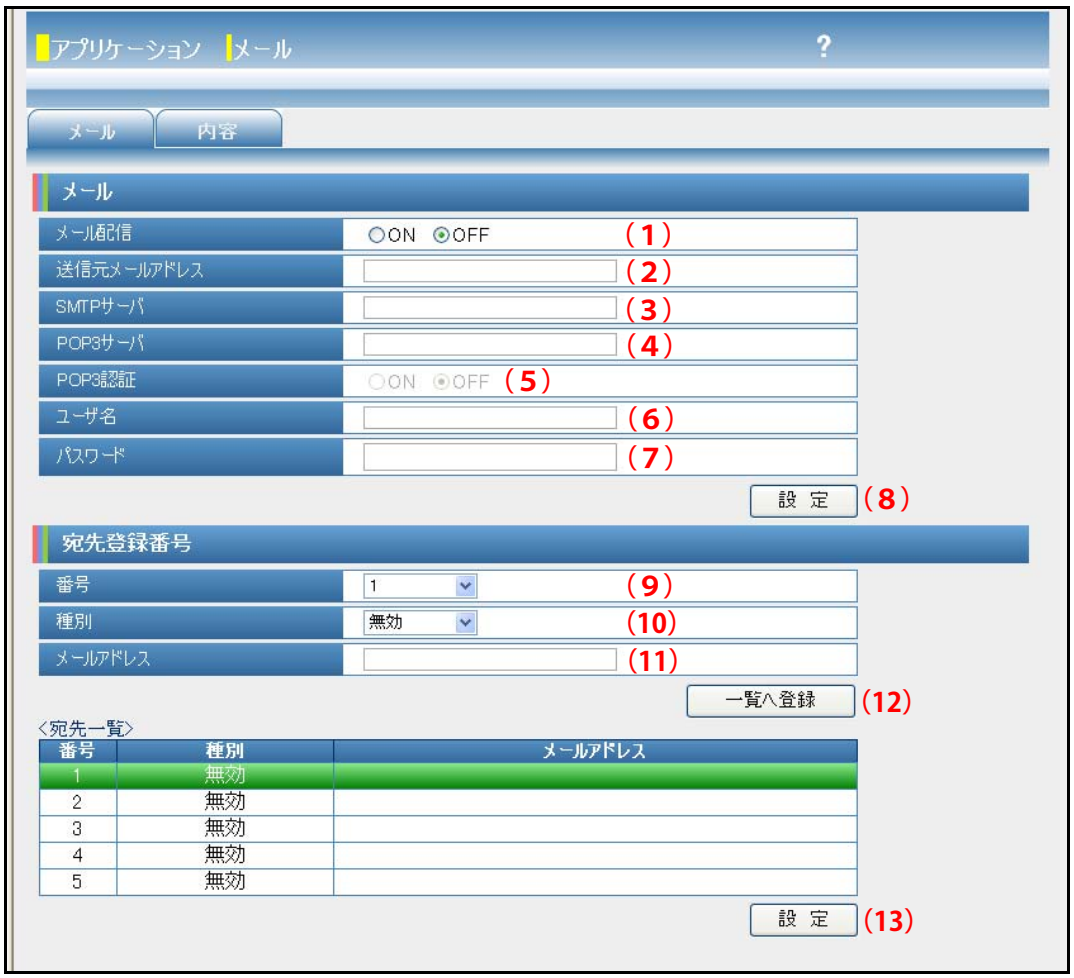
「アプリケーション」の「メール」メニューをクリックすると、PTZカメラのメール送信の設定ができます。



設定項目

「メール」メニューには、［メール］と［内容］の2つのタブがあります。
タブを切り換えて、以下の項目を設定できます。

1．［メール］



メール

（1）メール配信

設定値：ON／OFF（初期値）
PTZカメラからのメール送信の有無を選択できます。

お知らせ

- **本項目が「ON」の場合にのみ以下の項目の設定が可能となります。**

（2）送信元メールアドレス

設定値：半角127文字以内／空白（初期値）
PTZカメラの送信元メールアドレスを設定できます。

（3）SMTP サーバ

設定値：半角200文字以内／空白（初期値）
PTZカメラのSMTPサーバを設定できます。サーバのIPアドレス、またはドメインネームを設定してください。

お知らせ

- SMTPサーバは、メールを送信するためのサーバです。

（4）POP3 サーバ

設定値：半角200文字以内／空白（初期値）
PTZカメラのPOP3サーバを設定できます。
POP3サーバのIPアドレス、またはドメインネームを設定してください。

お知らせ

- POP3サーバは、メールを受信するためのサーバで、メール送信時の認証にも利用されます。PTZカメラでは、メールを送信するときの認証に使用します。

（5）POP3 認証

設定値：ON／OFF（初期値）
PTZカメラのPOP3認証を選択できます。
「ON」は、「（4）POP3サーバ」で設定したPOP3サーバを使用し、認証を行ってからメールを送信します。
「OFF」は、認証を行わずにメールを送信します。

お知らせ

- 「ON」にした場合にのみ、「ユーザ名」、「パスワード」の入力が可能となります。

（6）ユーザ名

設定値：半角文字1～15文字以内／空白（初期値）
PTZカメラのPOP3認証に使用するユーザ名を設定できます。

お知らせ

- 半角スペースのみの場合にはエラーとなります。
- 「（3）POP3認証」が「ON」のとき有効な設定です。
- PTZカメラに設定されている値は表示されません。

（7）パスワード

設定値：半角文字０～15文字以内／空白（初期値）
PTZカメラのPOP3認証に使用するパスワードを設定できます。

お知らせ

- 半角スペースのみの入力もできます。
- 「（3）POP3認証」が「ON」のとき有効な設定です。
- PTZカメラに設定されている値は表示されません。

（8）［設定］ボタン

（1）～（7）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

宛先登録番号

（9）番号

設定値：1（初期値）～5

PTZカメラのメール送信宛先番号を選択できます。

選択した番号ごとに、「（10）種別」「（11）メールアドレス」を設定できます。

（10）種別

設定値：無効（初期値）／有効

PTZカメラからのメールを送信するかどうか（有効／無効）を選択できます。

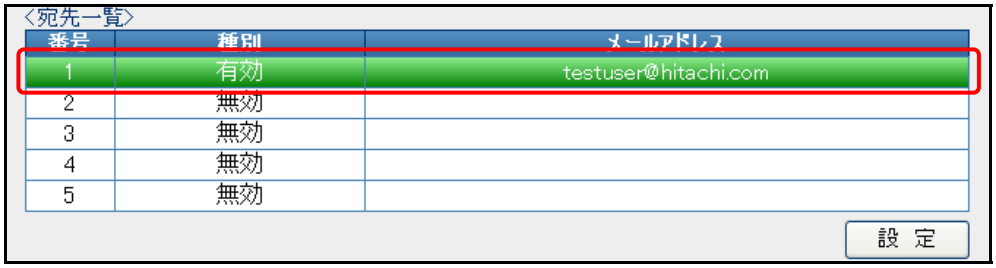
（11）メールアドレス

設定値：半角127文字以内／空白（初期値）

PTZカメラの送信先メールアドレスを設定できます。

（12）［一覧へ登録］ボタン

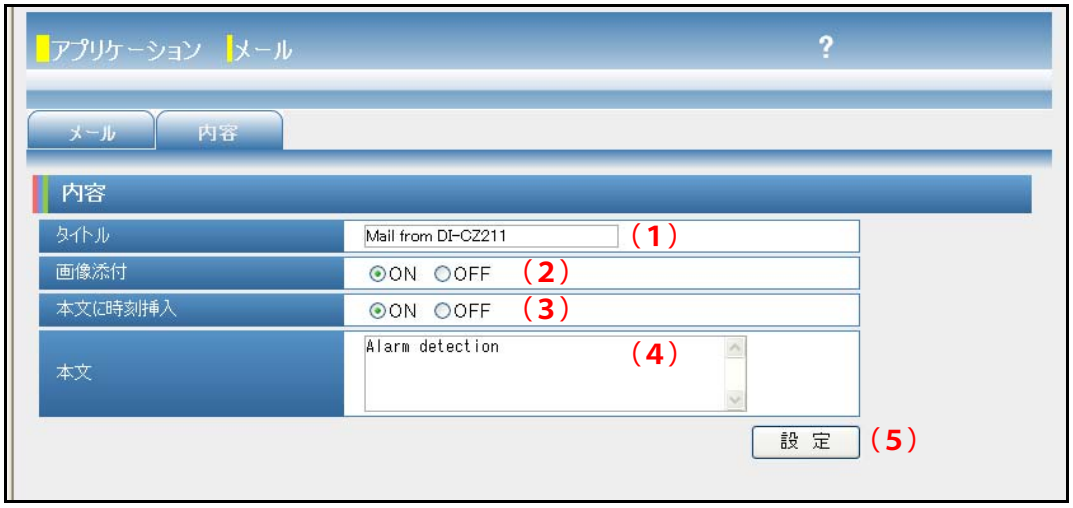
（9）～（11）を設定後、［一覧へ登録］ボタンをクリックすると、次のように「宛先一覧」に登録されます。



（13）［設定］ボタン

一覧に登録された設定内容がPTZカメラに設定されます。

2．［内容］



（1）タイトル

設定値：半角63文字以内／Mail from DI-CZ211（初期値）
PTZカメラから送信されるメールのタイトルを設定できます。

（2）画像添付

設定値：ON（初期値）／OFF
PTZカメラから送信されるメールに、アラーム発生時の画像（JPEG）を添付するかどうかを選択できます。

お知らせ

- 添付画像のフォーマットはJPEGになります。
- ファームウェアのアップデート中など、画像が添付されない場合もあります。

（3）本文に時刻挿入

設定値：ON（初期値）／OFF
PTZカメラから送信されるメール本文に時刻を挿入するかどうかを選択できます。

（4）本文

設定値：全角・半角42バイト以内／Alarm detection（初期値）
PTZカメラから送信されるメール本文を設定できます。

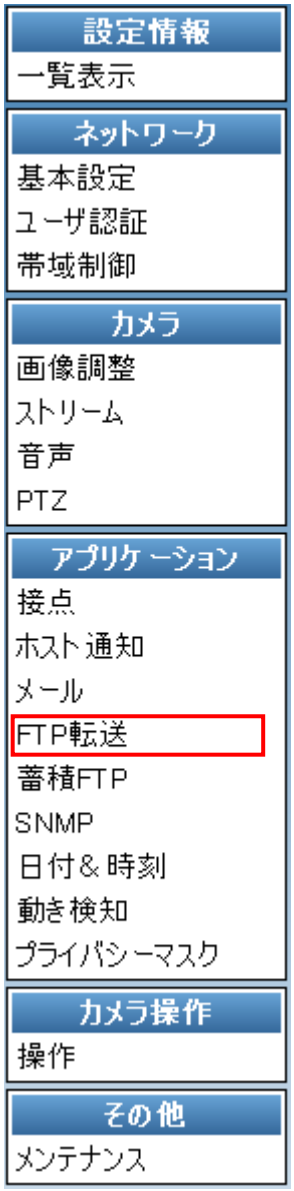
（5）［設定］ボタン

設定内容がPTZカメラに設定されます。

FTPサーバ転送を設定する

操作

「アプリケーション」の「FTP転送」メニューをクリックすると、アラーム検知時にPTZカメラからFTPサーバに画像を転送する際の設定ができます。



設定項目

■ご注意■

PTZカメラの画像をFTP転送するには、「ストリーム」メニューで、「記録ストリーム」のエンコードモードを「JPEG（HTTP）」に設定してください。（➔P.47 「映像配信を設定する」）

1．FTP転送

（1）ON／OFF

設定値：ON／OFF（初期値）

PTZカメラからFTPサーバに画像を転送するかどうかを選択できます。

「ON」を選択すると、設定したFTPサーバにJPEG画像を転送します。

お知らせ

- **本項目が「ON」の場合にのみ、以降の「（2）転送間隔」「（3）開始時刻」「（4）終了時刻」を設定できます。**

（2）転送間隔

設定値（時）：0（初期値）～23
設定値（分）：0～5（初期値）～59
設定値（秒）：0（初期値）～59
PTZカメラからFTPサーバへの転送間隔を設定できます。転送間隔の最小値は10秒です。

（3）開始時刻

設定値（時）：0（初期値）～23
設定値（分）：0（初期値）～59
設定値（秒）：0（初期値）～59
PTZカメラからFTPサーバへの転送開始時刻を設定できます。
開始時刻と終了時刻の間、FTPサーバに転送します。

（4）終了時刻

設定値（時）：0～23（初期値）
設定値（分）：0～59（初期値）
設定値（秒）：0～59（初期値）
PTZカメラからFTPサーバへの転送終了時刻を設定できます。
開始時刻と終了時刻の間、FTPサーバに転送します。

（5）［設定］ボタン

（1）～（4）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

2．転送先FTPサーバ

（6）IP アドレス

設定値：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255
PTZカメラからの転送先FTPサーバのIPアドレスを設定できます。

（7）ユーザ名

設定値：半角15文字以内／空白（初期値）
PTZカメラから転送先FTPサーバにログインするときのユーザIDを設定できます。

（8）パスワード

設定値：半角15文字以内／空白（初期値）
PTZカメラから転送先FTPサーバにログインするときのパスワードを設定できます。

（9）ディレクトリ

設定値：半角英数字、半角「_ - ()」で15文字以内／空白（初期値）
PTZカメラから転送先FTPサーバにアップロードするディレクトリ（場所）を設定できます。
前もってFTPサーバ上にディレクトリを作成しておく必要があります。

（10）ファイル名

設定値：日付（初期値）／指定／日付＋指定

PTZカメラから転送先FTPサーバにアップロードするときのファイル名を選択できます。

「日付」は、転送するときの日時をファイル名にして転送します。

日時は「（13）CHECK」で選択した項目がファイル名となります。

例： ID1＝1／ ID2＝2／2010年3月4日12時34分56秒789／「（13）CHECK」で全選択時
ファイル名：00010220100304123456789.JPG

「指定」は、「（14）指定ファイル名」で指定したファイル名で転送します。

「日付＋指定」は、「日付」のファイルと「指定」のファイルを転送します。

（11）ID1

設定値：1（初期値）～9999

PTZカメラから転送先FTPサーバにアップロードするファイル名に識別情報を設定できます。

お知らせ

- **「1」を設定した場合は、「0001」として認識されます。**

（12）ID2

設定値：1（初期値）～99

PTZカメラから転送先FTPサーバにアップロードするファイル名に識別情報を設定できます。

お知らせ

- **「1」を設定した場合は、「01」として認識されます。**

（13）CHECK

設定値：ID1／ID2／年／月／日／時／分／秒

PTZカメラから転送先FTPサーバにアップロードするファイル名に付加する情報を選択できます。

（14）指定ファイル名

設定値：8文字以内+拡張子半角3文字／IMAGE.JPG（初期値）

PTZカメラから転送先FTPサーバにアップロードするファイル名を設定できます。

お知らせ

- **「.jpg」のように、ドット+3文字の入力もできます。ただし、ドット以降はドット以外の半角文字3文字が必須となります。**

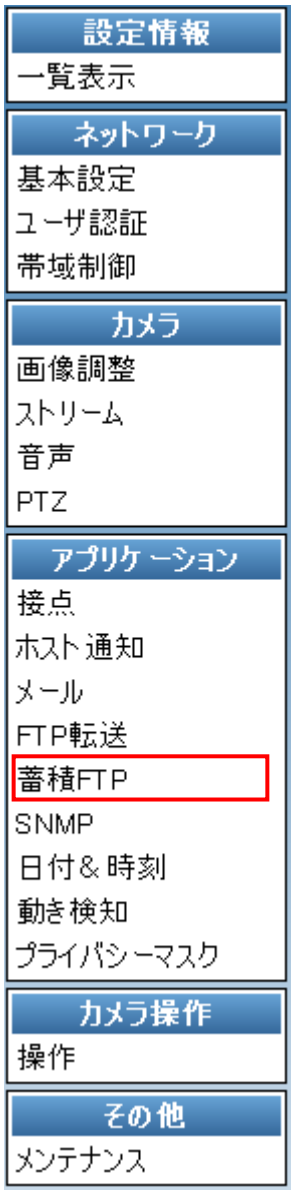
（15）［設定］ボタン

（6）～（14）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

アラーム蓄積・FTP転送を設定する

操作

「アプリケーション」の「蓄積・FTP」メニューをクリックすると、PTZカメラのアラーム蓄積・FTP転送の設定ができます。



設定項目

蓄積・FTP

（1）モード

設定値：通常モード（初期値）／NDRモード

PTZカメラのプリ記録方法を選択できます。

「NDRモード」は、PTZカメラを日立国際電気製ネットワークデジタルレコーダーと接続するときに使用します。

（2）アラーム転送

設定値：ON／OFF（初期値）

PTZカメラがアラームを検知したときにFTPサーバに転送するかどうかを選択できます。

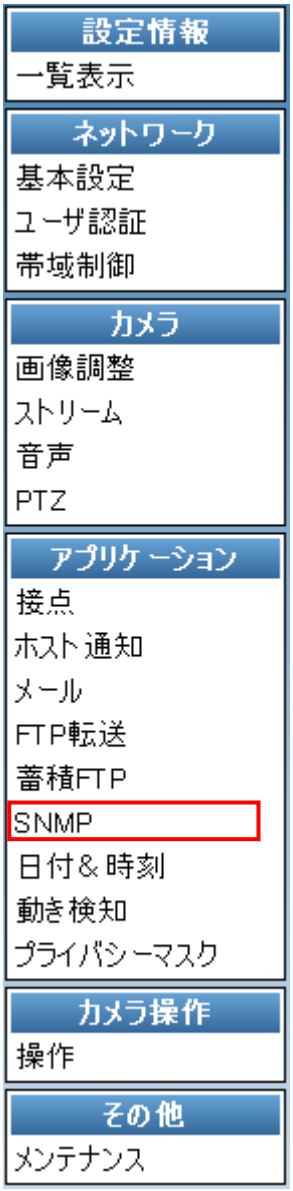
（3）［設定］ボタン

（1）～（2）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

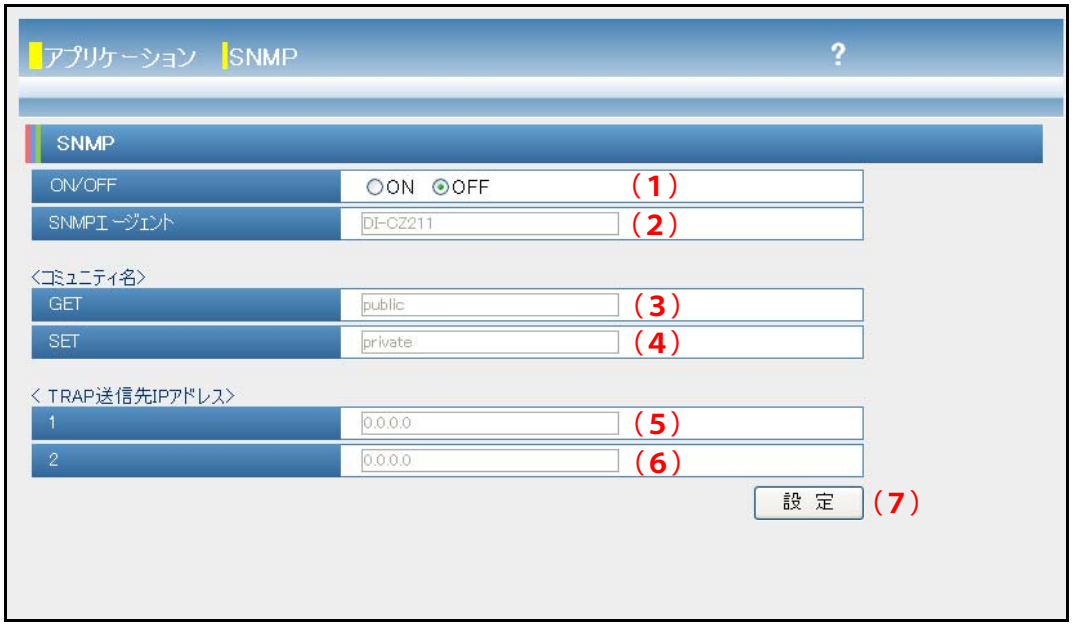
SNMPを設定する

操作

「アプリケーション」の「SNMP」メニューをクリックすると、PTZカメラのSNMP（(ネットワーク監視）の設定ができます。



設定項目



SNMP

（1）ON/OFF

設定値：ON／OFF（初期値）
PTZカメラのSNMP（ネットワーク監視）の動作を選択できます。

お知らせ

- **本項目が「ON」の場合のみ、以降の（2）～（4）の項目を設定できます。**

（2）SNMP エージェント

設定値：半角30文字以内／DI-CZ211（初期値）
PTZカメラのSNMPエージェント名を設定できます。

（3）コミュニティ名　GET

設定値：半角30文字以内／public（初期値）
PTZカメラのSNMPでGETコマンド、およびTRAPコマンドのコミュニティ名を設定できます。

（4）コミュニティ名　SET

設定値：半角30文字以内／private（初期値）
PTZカメラのSNMPでSETコマンドのコミュニティ名を設定できます。

（5）TRAP 送信先 IP アドレス　1

設定値：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255
PTZカメラのSNMPでTRAP送信先のIPアドレスを設定できます。

（6）TRAP 送信先 IP アドレス　2

設定値：0.0.0.0（初期値）～255.255.255.255
PTZカメラのSNMPでTRAP送信先のIPアドレスを設定できます。

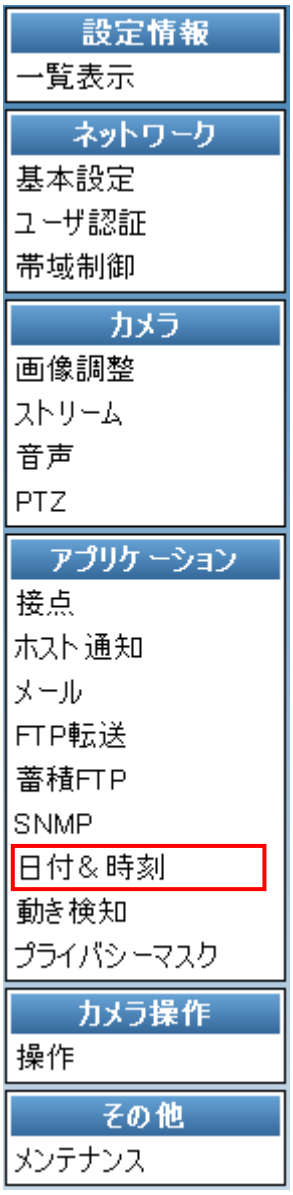
（7）［設定］ボタン

（1）～（6）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

日時を設定する

操作

「アプリケーション」の「日付＆時刻」メニューをクリックすると、PTZカメラの日時を設定できます。



設定項目

■ご注意■

PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせてご使用されている場合には、本設定項目は変更しないでください。

時刻設定

（1）NTP モード／手動設定

設定値：**NTP設定**（チェックなし）／**手動設定**（チェックあり）（初期値）

PTZカメラの時刻設定方法を選択できます。

「手動設定」にチェックを付けると、「ー年ー月ー日」「ー時ー分」で設定した時刻を設定します。

「NTPモード」にチェックを付けると「NTPサーバ」でIPアドレスを設定したNTPサーバに接続し、取得した時刻を設定します。NTPサーバから時刻を取得する間隔は 1 時間間隔です。

（2）NTP サーバ

設定値：半角255文字以内／空白（初期値）

PTZカメラが時刻を取得するNTPサーバを設定できます。

NTPサーバのIPアドレス、またはドメインネームを設定してください。

お知らせ

- 「（1）NTPモード／手動設定」で「NTPモード」にチェックを付けたとき有効な設定です。

（3）－年－月－日

設定値（年）：2000～2099
設定値（月）：1～12
設定値（日）：1～31
PTZカメラの時刻（年月日）を設定できます。

お知らせ

- 「（1）NTPモード／手動設定」で「手動設定」にチェックを付けたとき有効な設定です。

（4）－時－分

設定値（時）：0～23
設定値（分）：0～59
PTZカメラの時刻（時分）を設定できます。

お知らせ

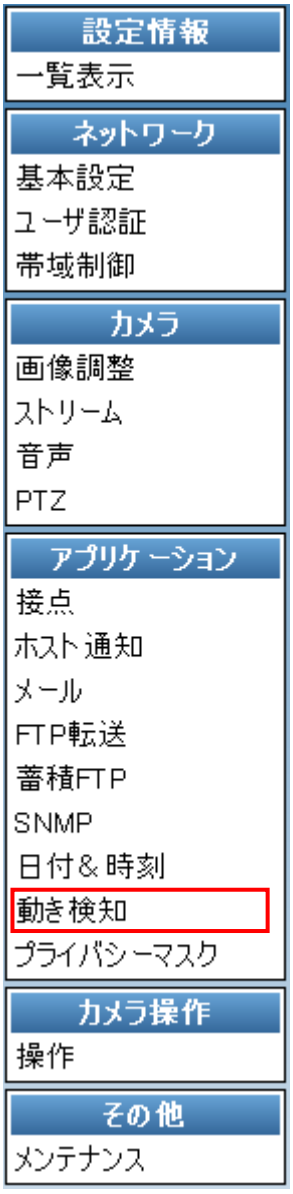
- 「（1）NTPモード／手動設定」で「手動設定」にチェックを付けたのとき有効な設定です。

（5）［設定］ボタン

（1）～（4）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

操作

「アプリケーション」の「動き検知」をクリックすると、PTZカメラの動き検知の設定ができます。



設定項目

「動き検知」メニューには、［領域］と［詳細］の2つのタブがあります。
タブを切り換えて、以下の項目を設定できます。

■ご注意■

- **PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせてご使用されている場合には、本設定項目は変更しないでください。**
- **プリセットが登録されていないときは、「プリセットが登録されていないため、設定できません。」と表示されます。［OK］をクリックし、「PTZ（パン・チルト・ズーム）を設定する」の［プリセット］（➔P.61）で、プリセットの登録をしてください。**

お知らせ

- 動き検知は、人物などの動きを検知する機能です。動きの有無／停止状態／移動方向／映像の異常／PTZカメラへのいたずらなどを検知することができます。動き検知と連動して指定動作（プリセット再生など）を行うアラーム機能もご利用になれます。（➔P. 72 「6．［アラーム］」）

1．［領域］

領域	開始水平	終了水平	開始垂直	終了垂直	感度
A	0	1	0	1	OFF
B	0	1	0	1	OFF
C	0	1	0	1	OFF
D	0	1	0	1	OFF
E	0	1	0	1	OFF
F	0	1	0	1	OFF
G	0	1	0	1	OFF
H	0	1	0	1	OFF
領域外	-	-	-	-	OFF

（1）プリセット

設定値：1（初期値）～64

動き検知設定を行うプリセット番号を選択します。［選択］をクリックすると、プリセット位置にPTZカメラが移動します。PTZカメラの移動が完了するまでお待ちください。

お知らせ

- 動き検知設定は、プリセット位置ごとに設定します。プリセット登録をしていない場合は、「PTZ（パン・チルト・ズーム）を設定する」の［プリセット］（➔P.61）で、プリセットの登録をしてください。
- プリセット選択後に、グレーで表示されている「領域」などの項目が設定できるようになります。

（2）領域

設定値：A（初期値）／B／C／D／E／F／G／H／領域外

「プリセット」で選択したプリセット番号に対して、PTZカメラの動き検知領域を選択できます。選択した領域ごとに、「開始水平位置設定」「開始垂直位置設定」「終了水平位置設定」「終了垂直位置設定」「領域感度設定」を設定できます。

「領域外」は、A～H以外の全領域を指します。

お知らせ

マウスで領域を設定するには：

- 領域選択後に、ライブ映像画面上でマウスを操作することで、領域を設定することができます。設定したい領域の始点で左ボタンを押し、終点までドラッグしてマウスボタンを離します。
- 領域感度設定に関わらず、重複した領域を設定することはできません。

（3）開始水平位置

設定値：0（初期値）～62

PTZカメラの動き検知領域の開始水平位置を設定できます。

（4）終了水平位置

設定値：1（初期値）～63

PTZカメラの動き検知領域の終了水平位置を設定できます。

（5）開始垂直位置

設定値：0（初期値）～40

PTZカメラの動き検知領域の開始垂直位置を設定できます。

（6）終了垂直位置

設定値：1（初期値）～41
PTZカメラの動き検知領域の終了垂直位置を設定できます。

（7）感度

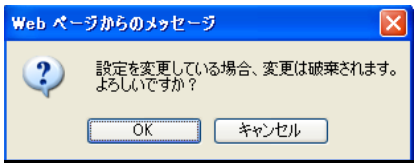
設定値：OFF（初期値）／低感度／標準／高感度／滞留 低感度／滞留 標準／滞留 高感度
PTZカメラの動き検知領域の領域感度設定を設定できます。

（8）［登録］ボタン／［クリア］ボタン

プリセットを選択し、領域設定の各項目を設定後［登録］ボタンをクリックすると、サンプル画面、および設定一覧に登録されます。
［クリア］ボタンをクリックすると、動き検知の設定値がクリアされます。クリア後に［登録］をクリックすると、内容が消去されます。

お知らせ

- ［登録］ボタンをクリックして領域を設定後に、プリセット番号を変更した場合には、PTZカメラへの設定を促す次のメッセージが表示されます。設定しないで変更する場合は、［OK］をクリックしてください。



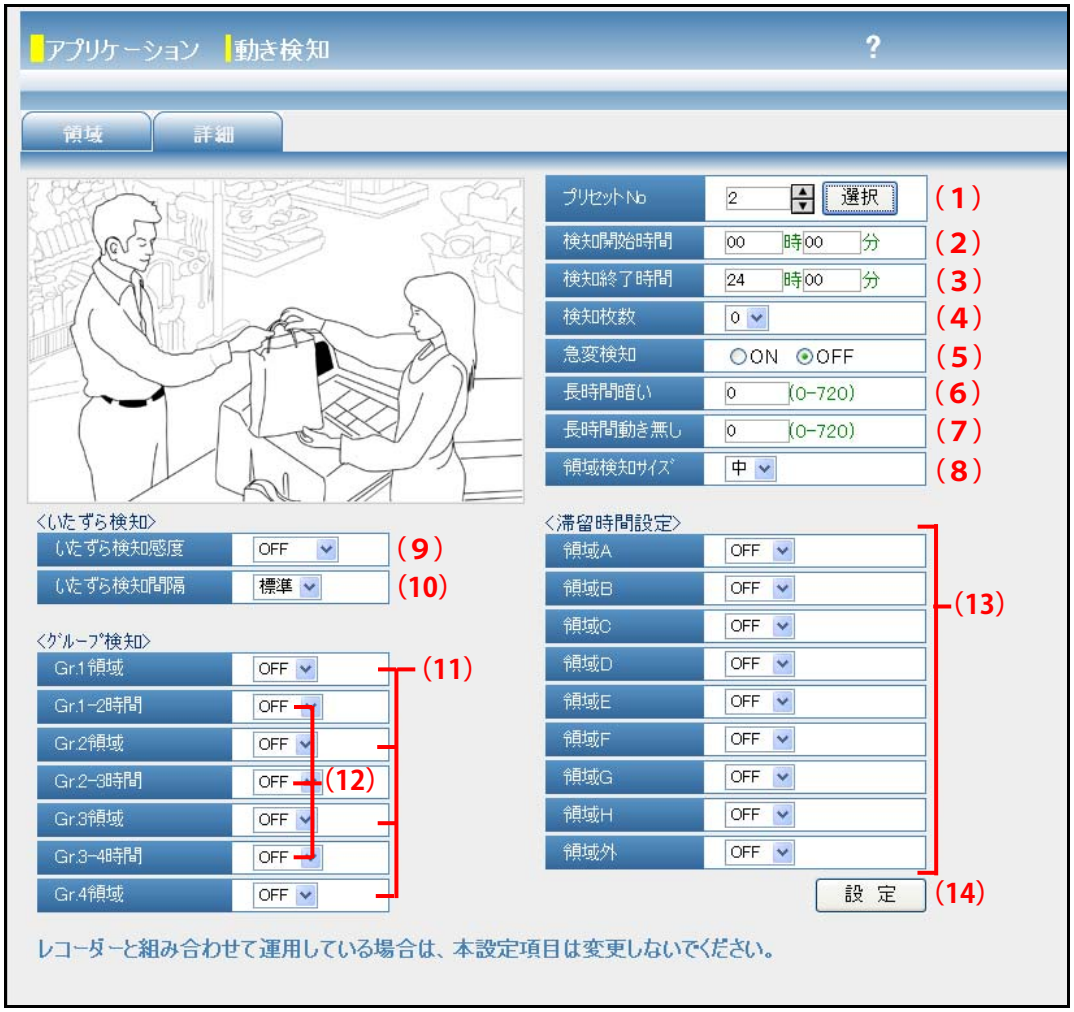
（9）［設定］ボタン

一覧に登録された設定内容がPTZカメラに設定されます。

お知らせ

- プリセット番号ごとに複数の動き検知の設定ができます。「（1）プリセット」で選択したプリセット番号ごとに、（2）～（9）で設定してください。

2．［詳細］



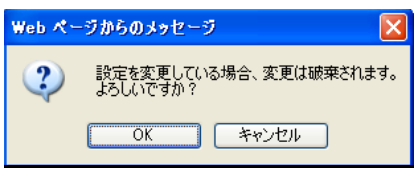
（1）プリセット No.

設定値：1～64

動き検知設定を行うプリセット番号を選択します。［選択］をクリックすると、プリセット位置にPTZカメラが移動します。PTZカメラの移動が完了するまでお待ちください。

お知らせ

- 動き検知設定は、プリセット位置ごとに設定します。プリセット登録をしていない場合は、「PTZ（パン・チルト・ズーム）を設定する」の［プリセット］（➔P.61）で、プリセットの登録をしてください。
- プリセット選択後に、グレーで表示されている「（2）検知開始時間」～「（11）グループ検知領域」などの項目が設定できるようになります。
- 設定中（［設定］をクリックする前）にプリセット番号を変更した場合は、PTZカメラへの設定を促す次のメッセージが表示されます。設定しないで変更する場合は、［OK］をクリックしてください。



（2）検知開始時間

設定値（時）：0（初期値）～23
設定値（分）：0（初期値）～59
PTZカメラの動き検知開始時間を設定できます。
検知開始時間と検知終了時間の間は、動き検知機能が動作します。

（3）検知終了時間

設定値（時）：0～24（初期値）
設定値（分）：0（初期値）～59
PTZカメラの動き検知終了時間を設定できます。
検知開始時間と検知終了時間の間は、動き検知機能が動作します。

（4）検知枚数

設定値：0（初期値）／1／2／4／8
PTZカメラの動き検知枚数を設定できます。
「1／2／4／8」は、1秒間に動き検知する画像枚数を示します。「0」は、動き検知機能が動作しません。

（5）急変検知

設定値：ON／OFF（初期値）
PTZカメラの急変検知機能を動作させるかどうかを選択できます。
「ON」にすると、映像に急激な変化があったときに検知します。

（6）長時間暗い

設定値：0（初期値）～720
入力画像が暗いまま変化がない場合に、カメラの異常として検知するまでの時間（hours）を設定します。

（7）長時間動き無し

設定値：0（初期値）～720
動きがある場所を撮影しているにも関わらず、動きが検知されない状態が続いた場合に、カメラの異常として検知するまでの時間（hours）を設定します。

（8）領域検知サイズ

設定値：小／中（初期値）／大
PTZカメラの動き検知するサイズを選択できます。

（9）いたずら検知感度

設定値：OFF（初期値）／低感度／標準／高感度
PTZカメラのいたずら検知感度を選択できます。
「OFF」は、いたずら検知機能が動作しません。

（10）いたずら検知間隔

設定値：短い／標準（初期値）／長い
PTZカメラのいたずら検知間隔を選択できます。

（11）グループ検知領域（Gr.1 領域／Gr.2 領域／Gr.3 領域／Gr.4 領域）

設定値：OFF（初期値）／A／B／C／D／E／F／G／H

PTZカメラのグループ検知する領域を選択できます。

お知らせ

- 「（12）グループ検知時差」に時間が設定されているとき有効な設定です。

（12）グループ検知時差（Gr.1－2 時間／Gr.2－3 時間／Gr.3－4 時間）

設定値：OFF（初期値）／同時／1秒～10分

「（11）グループ検知時差」で設定された領域間でグループ検知する時差を設定できます。

「OFF」：グループ検知機能が動作しません。

「同時」：「（11）グループ検知領域」で設定された領域間で、時差がないときに検知します。

お知らせ

- 「（11）グループ検知領域」に領域が設定されているとき有効な設定です。

（13）滞留時間（領域 A～H、領域外）

設定値：OFF（初期値）／5秒／10秒／30秒／1分／2分／3分／5分

PTZカメラの動き検知領域ごとに、滞留検知機能を動作させるかどうかを選択できます。

「OFF」は、滞留検知機能が動作しません。

（14）［設定］ボタン

（1）～（13）の設定内容がPTZカメラに設定されます。

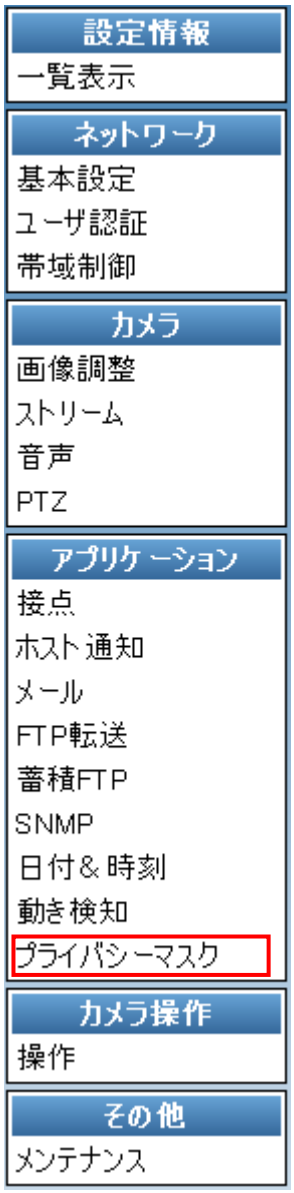
お知らせ

- プリセット番号ごとに複数の動き検知の設定ができます。「（1）プリセットNo.」で選択したプリセット番号ごとに、（2）～（14）で設定してください。

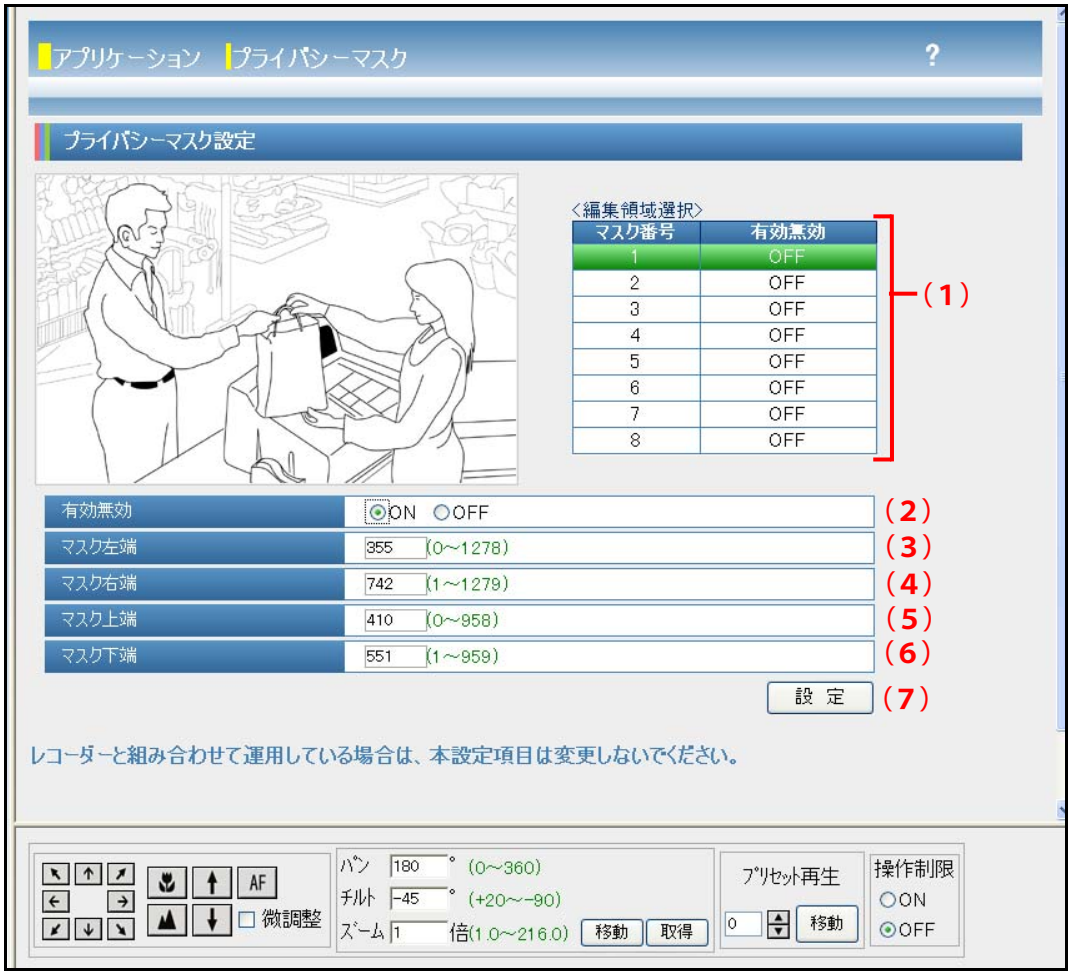
プライバシーマスクを設定する

操作

「アプリケーション」の「プライバシーマスク」メニューをクリックすると、PTZカメラのプライバシーマスクを設定することができます。



設定項目



■ご注意■

- **PTZカメラを日立ハイブリッドレコーダーと組み合わせてご使用されている場合には、本設定項目は変更しないでください。**
- **「編集領域選択」のマスク番号をクリックし、マスク番号ごとにPTZカメラ位置を調整して設定してください。**
- **プライバシーマスク設定画面を開くと、PTZカメラがプライバシーマスク時の初期位置に移動します。**
- **プライバシーマスク設定では、マスク設定可能な範囲でのみPTZカメラを動かすことができます。**
- **プライバシーマスク画面でWEB設定ツール（IE）を閉じると、約３分間は操作ができなくなります。**
- **プライバシーマスク設定画面を開くと「設定に失敗しました。」とエラーメッセージが表示されることがあります。詳細に関しては、保守員にお問い合わせください。**

お知らせ

- プライバシーマスクは、監視（撮影）プライバシー保護の目的で、画面中の指定した領域を塗りつぶす機能です。
- 設定できるマスク領域は、左右（パン方向）の規定角度内に最大４領域、全体で最大８領域です。
- 左右（パン方向）の規定角度は、上下（チルト方向）の角度によって変わります。規定角度の目安は、上下の角度が0°の場合は62°／上下の角度が45°の場合は114°となります。ただし、マスク領域の位置関係によっては、規定角度以上離れていても、マスク領域の設定ができないことがあります。
- マスク領域を削除して設定しなおす場合、画面外の他のマスク領域との位置関係により、一度設定できた位置であっても設定できないことがあります。その場合、画面外のマスク領域を画面範囲に近いものから削除して設定しなおしてください（➔「（２）マスク有効無効設定」）。
- プライバシーマスクの領域は、PTZカメラの位置・ズームの変更に連動して、自動的に移動します。
- PTZカメラが移動したときにマスクも追従しますが、旋回速度などによりマスクが外れてしまうことがあります。そのため、マスク領域は、対象物の縦横２倍程度を目安に設定してください。
- マスク領域を設定すると、チルト範囲（➔P.60）は自動的に「0°～-90°」に変更されます。
- 指定したプライバシーマスクの領域と実際のマスク位置には、多少の誤差（ズレ）が生じることがあります。

プライバシーマスク設定

（１）マスク番号（編集領域選択）

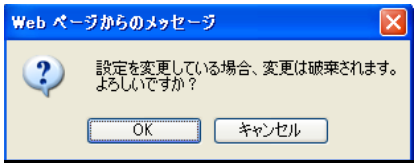
設定値：1（初期値）～8

マスク番号をクリックし、設定したいプライバシーマスク番号を選択します。

選択した番号ごとに、以降の「有効無効」「マスク左端」「マスク右端」「マスク上端」「マスク下端」を設定できます。

お知らせ

- マスク番号を選択すると、設定位置にPTZカメラが移動します。未設定のマスク番号の場合は移動しません。
- 領域設定中（［設定］をクリックする前）に別のマスク番号を選択すると、変更を破棄するかの警告画面が表示されます。設定を破棄し別のマスク番号を設定するときは［OK］をクリックします。



マウスでマスク領域を設定するには：

- 領域選択後に、ライブ映像画面上でマウスを操作することで、領域を設定することができます。設定したい領域の始点で左ボタンを押し、終点までドラッグしてマウスボタンを離します。

（２）マスク有効無効設定

設定値：ON／OFF（初期値）

プライバシーマスク機能を使用するかどうかを選択できます。

お知らせ

- マスクを「ON」から「OFF」に切り換えると、マスクが無効になり、設定済みの座標がクリアされます。再度「ON」に切り換えても元の座標は復元されません。

（3）マスク左端位置

設定値：0（初期値）～1278

プライバシーマスク左端位置を設定できます。

（4）マスク右端位置

設定値：1（初期値）～1279

プライバシーマスク右端位置を設定できます。

（5）マスク上端位置

設定値：0（初期値）～958

プライバシーマスク上端位置を設定できます。

（6）マスク下端位置

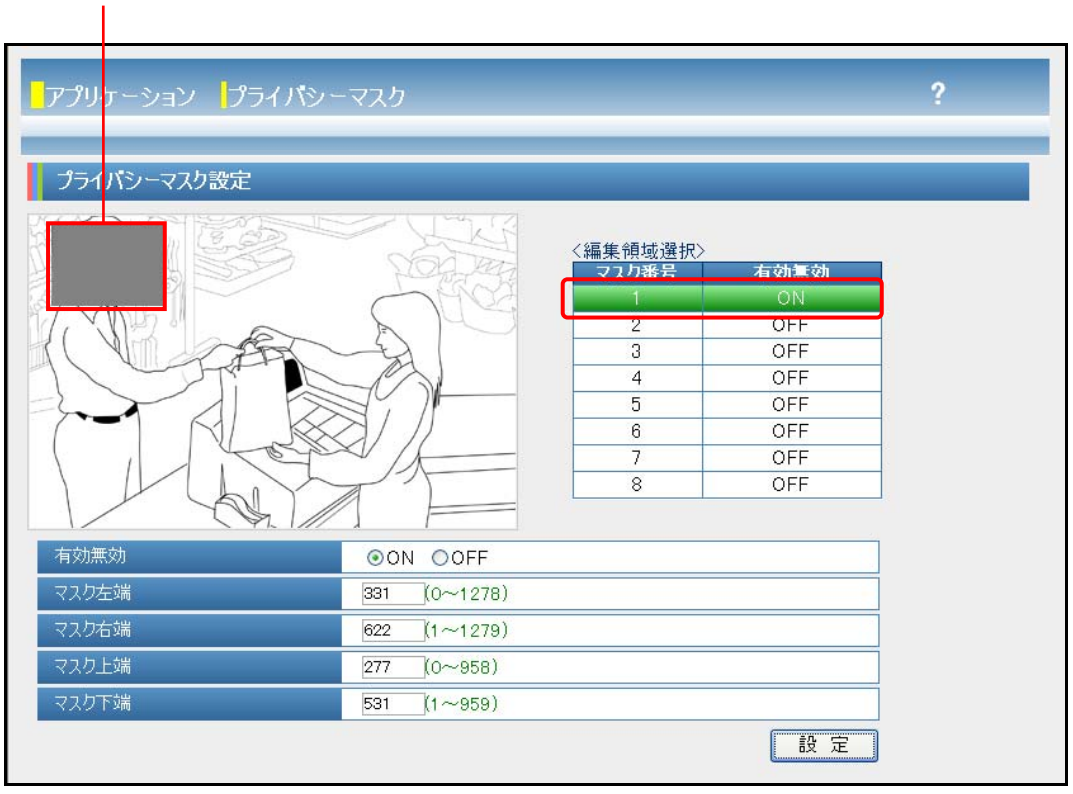
設定値：1（初期値）～959

プライバシーマスク下端位置を設定できます。

（7）［設定］ボタン

（1）～（6）で登録した設定内容がPTZカメラに設定されます。

設定されたプライバシーマスク



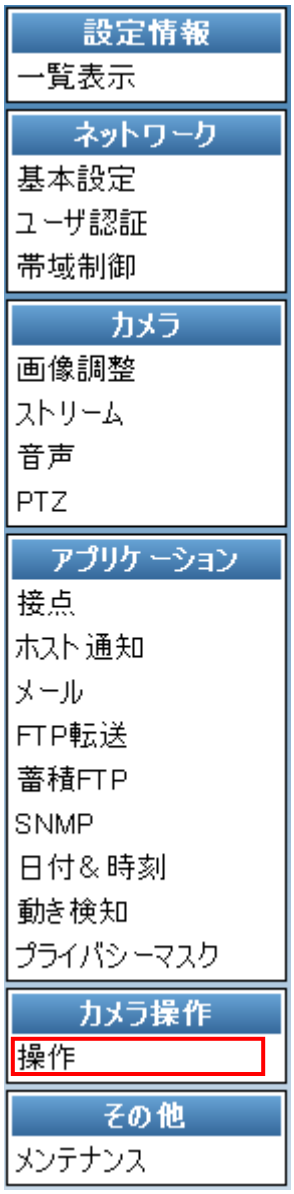
お知らせ

- マスク番号ごとに複数のマスク領域の設定ができます。「（1）マスク番号」で選択したマスク番号ごとに、（2）～（7）で設定してください。

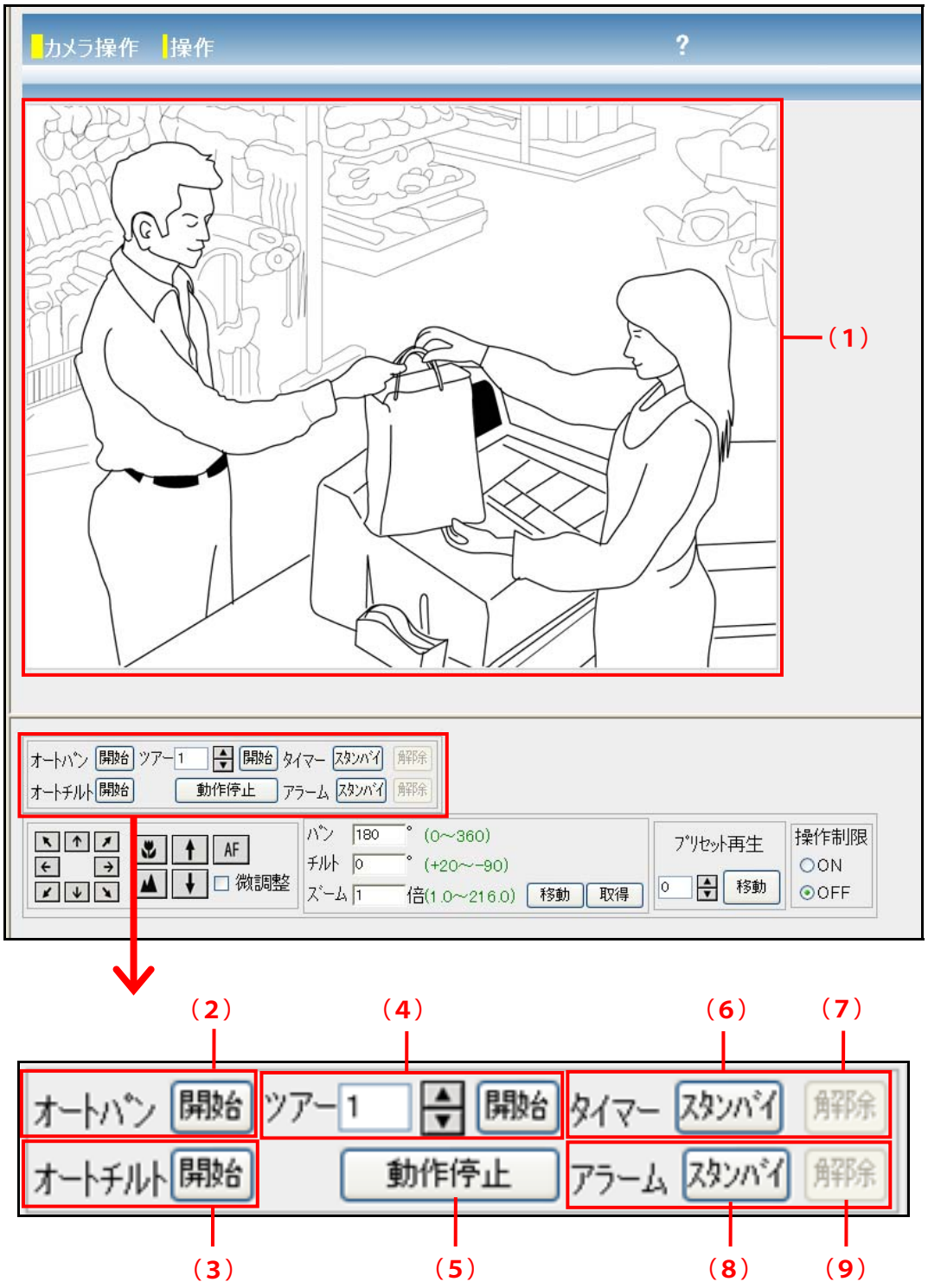
PTZカメラを操作する

操作

「カメラ操作」の「操作」メニューをクリックすると、PTZカメラのポジション変更など、PTZカメラをリモートで操作することができます。



設定項目



「操作」メニューでは、PTZカメラに対して以下のリモート操作ができます。

お知らせ

- 最下部のライブ映像操作パネルについては、「**3．ライブ映像操作パネル**」（➔P.15）をご覧ください。
- 現在実行中の［開始］／［スタンバイ］ボタンは、赤色で表示されます。このとき、PTZカメラからの情報を1秒周期で取得しているため、クリックと赤色表示とのタイミングが少しだけずれることがあります。
- パン／チルト／ズーム動作の停止後に、1度だけフォーカスを合わせます（ストップAF機能）。

（1）ライブ映像

PTZカメラのライブ映像が表示されます。
IEの画面サイズを変更すると、ライブ映像のサイズも変わります。ライブ映像の最大／最小サイズは次のとおりです。

- 最大サイズ（幅 × 高さ）：656 × 492ピクセル
- 最小サイズ（幅 × 高さ）：328 × 246ピクセル

（2）オートパン［開始］ボタン

［開始］ボタンをクリックすると、オートパンを開始します。

お知らせ

- **オートパン／オートチルト／ツアーのいずれかのみ実行できます。たとえばツアー実行中にオートパンを実行する場合は、ツアー動作は終了することになります。**

（3）オートチルト［開始］ボタン

［開始］ボタンをクリックすると、オートチルトを開始します。

お知らせ

- **オートパン／オートチルト／ツアーのいずれかのみ実行できます。たとえばツアー実行中にオートチルトを実行する場合は、ツアー動作は終了することになります。**

（4）ツアー番号／［開始］ボタン

設定値：1～4
ツアー番号を選択して［開始］ボタンをクリックすると、選択した番号のツアーを開始します。

お知らせ

- **ツアーが未設定の場合は動作しません。ツアー設定（➔P.67 「4．［ツアー］」）を確認してください。**
- **オートパン／オートチルト／ツアーのいずれかのみ実行できます。たとえばオートパン実行中にツアーを実行する場合は、オートパン動作は終了することになります。**
- **「タイマースタンバイ」「アラームスタンバイ」状態のときは、動作しません。スタンバイ状態の場合は、スタンバイを解除してから［開始］ボタンをクリックしてください。**

（5）［動作停止］ボタン

PTZカメラの動作を停止させます。
オートパン／オートチルト／ツアーの動作中に［動作停止］ボタンをクリックすると、各動作が停止します。

（6）タイマー［スタンバイ］ボタン

タイマー［スタンバイ］ボタンをクリックすると、PTZカメラのタイマー機能が動作し、スタンバイ状態になります。

タイマースタンバイ状態では、オートパン［開始］ボタンやマニュアル操作などの各種操作が無効となります。

お知らせ

- **本画面でPTZカメラを操作する場合は、タイマースタンバイを解除した状態で運用してください。**
- **アラームスタンバイ状態、およびタイマーが設定されていない状態では、タイマースタンバイ状態にはなりません。**

（7）タイマー［解除］ボタン

タイマー［解除］ボタンをクリックすると、スタンバイ状態のタイマー機能を解除します。

（8）アラーム［スタンバイ］ボタン

アラーム［スタンバイ］ボタンをクリックすると、PTZカメラのアラーム機能が動作し、スタンバイ状態になります。

アラームスタンバイ状態では、オートパン［開始］ボタンやマニュアル操作などの各種操作は無効となります。

お知らせ

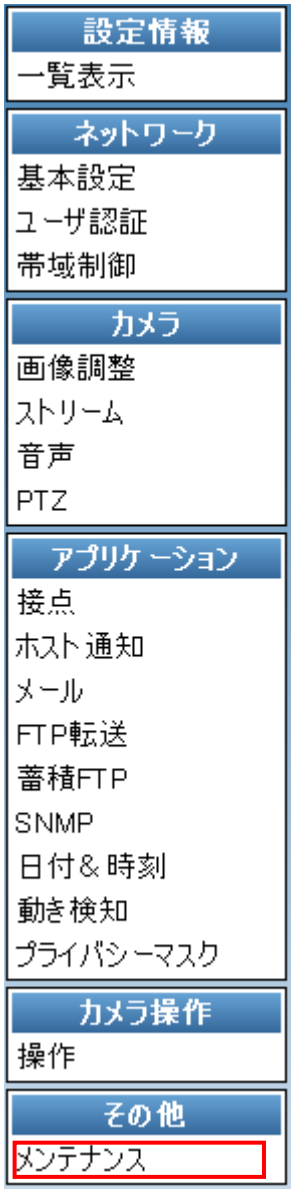
- **本画面でPTZカメラを操作する場合は、アラームスタンバイを解除した状態で運用してください。**
- **タイマースタンバイ状態、およびアラームが設定されていない状態では、アラームスタンバイ状態にはなりません。**

（9）アラーム［解除］ボタン

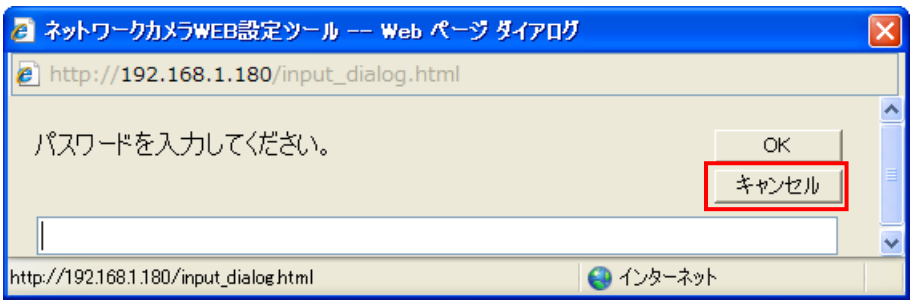
アラーム［解除］ボタンをクリックすると、スタンバイ状態のアラーム機能を解除します。

メンテナンス

本メニューは、保守員がメンテナンスを行うために使用するメニューです。使用しないでください。



誤って「メンテナンス」メニューをクリックすると、次のパスワード入力画面が表示されます。**[キャンセル]ボタンをクリック**し、WEB設定ツール画面に戻ってください。



主なエラーメッセージ

主なエラーメッセージには、次のものがあります。

ActiveXコンポーネントがインストールされていない場合

同梱のCD-ROMからライブ映像表示用ActiveXコンポーネントをインストールしてください。（➔P.6）

映像描画用のActiveXがインストールされていません。

ブラウザが対応していない場合

Internet Explorer 32bit版のバージョン７／８／９でログインしてください。

32ビットInternetExplorer以外のブラウザは未対応です。

情報取得に失敗した場合

再度、メニューや項目・ボタンを操作してください。

情報取得に失敗しました。

お知らせ

- ブラウザの［進む］ボタンや［戻る］ボタンで画面を切り換えた場合、このメッセージが表示されることがあります。

メンテナンス用パスワードを誤って入力／キャンセルした場合

「メンテナンス」以外のメニューを選択してください。

パスワードが不正もしくはキャンセルが入力されました。再度メニューより設定項目を選択してください。

その他ダイアログボックスのメッセージ

上記以外にも、各種の操作中にダイアログボックスが表示されることがあります。以下の説明をご覧ください。

エラーメッセージ	対応
プライバシーマスク設定状態です。プライバシーマスク設定が終了するまで待ってください。	プライバシーマスクの設定を終了（または別のメニューを選択してキャンセル）してください。 ➔P.107 「プライバシーマスクを設定する」
タイマー/アラームがスタンバイ状態のため、設定（／スタンバイ／プリセット選択／領域呼び出し／操作／停止／変更／実行）できません。	設定（／スタンバイ／プリセット選択／領域呼び出し／操作／停止／変更／実行）する場合は、スタンバイ状態を解除してください。 ➔P.71 「タイマー設定 （10） ［スタンバイ］／［解除］ボタン」 ➔P.74 「アラーム設定 （9） ［スタンバイ］／［解除］ボタン」
タイマー/アラームがスタンバイ状態のため、スタンバイできません。	タイマー／アラームを同時にスタンバイ状態にすることはできません。スタンバイ状態にする場合は、他のスタンバイ状態を解除してください。 ➔P.71 「タイマー設定 （10） ［スタンバイ］／［解除］ボタン」 ➔P.74 「アラーム設定 （9） ［スタンバイ］／［解除］ボタン」
プライバシーマスクの設定が開始されていません。	プライバシーマスク設定画面を再表示してください。 ➔P.107 「プライバシーマスクを設定する」
指定の範囲には、プライバシーマスクを設定することができません。	プライバシーマスクの設定位置を変更してください。画面外の他のマスクとの位置関係により、一度設定できた場所であっても再設定できないことがあります。その場合は、画面外のマスク領域を画面範囲に近いものから削除して再設定をしてください。 ➔P.107 「プライバシーマスクを設定する」 ➔P.109 「（2）マスク有効無効設定」
重複した時間帯を設定することはできません。	各種時刻・時間帯の設定で重複しない時間帯を設定してください。
開始時刻よりも前に、終了時刻を設定することはできません。	終了時刻を開始時刻より後にしてください。

エラーメッセージ	対応
リフレッシュの補正時刻とタイマーの開始時刻または終了時刻に同じ時間は設定できません。	リフレッシュの補正時刻とタイマーの開始時刻または終了時刻には異なる時間を設定してください。 ➔P. 76 「リフレッシュ設定 （2）補正時刻」 ➔P. 70 「タイマー設定 （3）開始時刻／（4）終了時刻」
設定が無効なため、スタンバイ状態にできません。	タイマー／アラームの設定を行ってください。 ➔P. 69 「5．［タイマー］」 ➔P. 72 「6．［アラーム］」
プライバシーマスクが設定してあるため、チルト範囲は変更することができません。	チルト角度を変更する場合は、プライバシーマスクを解除してください。 ➔P.107 「プライバシーマスクを設定する」 ➔P.109 「（2）マスク有効無効設定」
チルト角度に、-91°～-200°は指定できません。	設定可能なチルト角度を設定してください。 ➔P. 16 「（6）パン・チルト・ズーム指定／位置［移動］ボタン／位置［取得］ボタン」 ➔P. 60 「（1）チルト範囲」
シャッター速度またはナイトモード設定を変更してください。	ナイトモードをAUTOに設定する場合は、シャッター速度をAEに設定してください。 ➔P. 44 「（7）シャッター速度」 ➔ P.44 「（8）ナイトモード 」
操作制限中のため、設定（／登録／削除／スタンバイ／解除／消去／登録／プリセット選択／領域呼び出し／実行／情報取得）**に失敗しました。**	他の機器がPTZカメラを操作中です。他の機器を操作しない状態でしばらく（3分以上）待ってから操作してください。
操作制限中のため、操作（／解除／停止／変更）**できません。**	
設定（／登録／削除／スタンバイ／解除／消去／プリセット選択／領域呼び出し／実行／情報取得）**に失敗しました。**	詳細に関しては、保守員にお問い合わせください。
操作（／解除／停止／変更）**できません。**	